

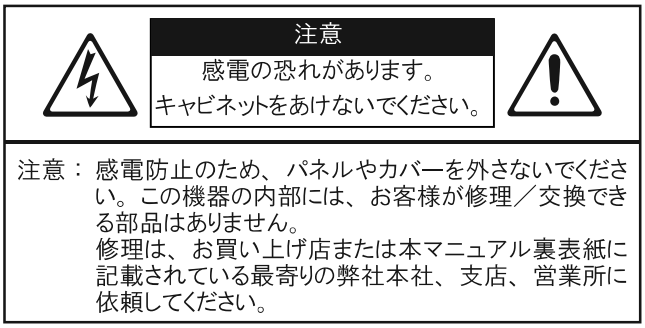
ver 1.2.70

USHIO

安全上のご注意

マークについて

この機器に表示されているマークには、次のような意味があります。



注意：感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。この機器の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。
修理は、お買い上げ店または本マニュアル裏表紙に記載されている最寄りの弊社本社、支店、営業所に依頼してください。



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表わしています。

火災・感電・傷害を防止するには

⚠警告と⚠注意の意味について

⚠警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
⚠注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。 ※物的損害とは、家屋・家財及び家畜・別途にかかわる拡大損害を表しています。

図記号の例

	▲は、注意（危険、警告を含む）を表わしています。 具体的な注意内容は、▲の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表わしています。
	⃠は、禁止（してはいけないこと）を表わしています。 具体的な禁止内容は、⃠の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表わしています。
	● は、強制（必ずすること）を表わしています。 具体的な強制内容は、● の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表わしています。

以下の指示を必ず守ってください

⚠警告

● この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。



● この機器を分解したり、改造したりしないでください。



● 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店または本マニュアル裏表紙に記載されている最寄りの弊社本社、支店、営業所に相談してください。



⚠警告

● 次のような場所に設置しないでください。
○ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
○ 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
○ 湯気や油煙が当たる場所
○ 塩害の恐れがある場所
○ 雨に濡れる場所
○ ほこりや砂ぼこりの多い場所
○ 振動や揺れの多い場所



● この機器を、ぐらつく台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。



⚠ 警告

● 100Vで使用する場合は、電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。

● 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がつき、ショートや断線の結果、火災や感電の恐れがあります。

● この機器に、異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)や液体(水、ジュースなど)を絶対に入れないでください。

● 次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから外し、お買い上げ店または本マニュアル裏表紙に記載されている最寄りの弊社本社、支店、営業所に修理を依頼してください。

〇電源コードやプラグが破損したとき
〇煙がでたらい、異臭がしたとき
〇異物が内部にはいったらい、液体がこぼれたりしたとき
〇機器が(雨などで)濡れた時
〇機器に異常や故障が生じたとき

● この機器を落としたり、この器機に強い衝撃を与えないでください

● 電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの内量(ワット/アンペア)を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。

● 外国で使用する場合は、お買い上げ店または本マニュアル裏表紙に記載されている最寄りの弊社本社、支店、営業所に相談してください。

● 電源コードのアースを確実に取り付けてください。感電の恐れがあります。

● 本機の上に水の入った容器(花びんなど)、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

⚠ 注意

● この器機は、風通しのよい、正常な通気が保たれている場所に設置して、使用してください。

● 電源コードを器機本体やコンセントに抜き差しするときは、必ずプラグを持ってください。

● 定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを抜き取ってください。また、長時間使用しない時は、電源プラグをコンセントから外してください。
電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、絶縁不良を起こして火災の原因になります。

● 接続したコードやケーブル類は、繁雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。

● この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。

● 濡れた手で電源コードのプラグを持って、機器本体やコンセントに抜き差ししないでください。

● この機器を移動する時は、電源プラグをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。

● お手入れをするには、電源を切って電源プラグをコンセントから外してください。

● 落雷の恐れがある時は、早めに電源プラグをコンセントから外してください。

● 付属のユーロブロック・コネクターやゴム足、カード・プロテクターの取付ネジは、小さなお子様が誤って飲み込んだりすることのないようお子様の手の届かないところへ保管してください。

使用上のご注意

電源について

● 本機を冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなどのインバーター制御を使った電気製品が接続されているコンセントと同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズにより本機が誤動作したり、雑音が発生する恐れがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。

● 接続するときは、誤動作を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってください。

● 電源スイッチを切った後、本機上のLCDやLEDなどは消えてますが、これは主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に電源を切る必要がある時は、この機器の電源スイッチを切った後、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、この機器にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。

設置について

● テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。

● 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、これらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。変形、変色することがあります。

●直射日光の当たる場所や、発熱する機器の近く、閉じ切った車内などに放置しないでください。変形、変色することがあります。

● 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴がつく(結露)ことがあります。このまま使用すると故障の原因になりますので、数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。

●設置条件(設置面の材質、温度など)によっては本機のゴム足が、設置した台などの表面を変色または、変質させることがあります。ゴム足の下にフォルトなどの布を敷くと、安心してお使いいただけます。この場合、本機が滑って動いたりしないことを確認してからお使いください。

お手入れについて

● 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れが激しい時は、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。

● 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないでください。

修理について

● お客様がこの器機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。

● 当社では、この製品の修理用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能性の場合がありますので、お買い上げ店、または本マニュアル裏表紙に記載されている最寄りの弊社本社、支店、営業所にご相談ください。

その他の修理について

● メモリー・カードの失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦お願いします。

● 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。

● デェズプレイを強く押したり、ショートや断線を防ぐため、プラグを持ってください。

● ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐため、プラグを持ってください。

● この機器は多少発熱することがありますが、故障ではありません。

● 運送や引っ越しするときは、この機器が入っていた段ボール箱や緩衝剤、または同等品で梱包してください。

● この機器が入っていた梱包箱や緩衝剤を破棄する場合は、各市町村のゴミの分別基準に従って行ってください。

● 接続ケーブルには抵抗が入ったものがあります。本機との接続には、抵抗入りのケーブルを使用しないでください。BPM機能が正常に動作しなくなる場合があります。抵抗の入ったケーブルの仕様につきましては、ケーブルのメーカにお問い合わせください。

●3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
(点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・落下などに至る場合があります。)

＜主な仕様＞ 1
＜各部の名称・機能＞ 2
□フロントパネル 2
□リアパネル 2
＜本体外形寸法＞ 3
＜接続構成例＞ 4
□スタンドアローン 4
□オプション接続 4
□複数台連動接続 5
□複数台同期接続 5
□外部信号接続（無電圧接点回路） 6
□外部信号接続（MIDI 信号） 6
□外部信号接続（DMX 信号） 7
□外部信号接続（LTC 信号） 7
□外部信号接続（SERIAL 信号） 8
□外部信号接続（GPS 信号） 8
□外部信号接続（WiFi 経由での時刻補正：オプション） 8
＜ラックへの設置(放熱に対するご注意)＞ 9
＜ご使用の前に＞ 10
＜DMX file について＞ 10
＜基本操作手順＞ 11
□電源 ON 11
□新規データ作成(新規 DMXFile 作成) 11
□修正・上書き 15
□DMX File 手動 PLAY 手順 16
□【STOP】時の DMX 信号出力モード設定 17
□その他再生手順 19
□Pause 19
□Jog Shuttle 19
□Time Left/Time elapsed 20
＜File management 設定手順＞ 20
□DMX file 名前の変更 20
□Xfade Time の設定 22
□Delay time の設定 23
□Play speed の変更 24
□Repeat 再生の設定変更 25
□Duration time: 27
□MIDI NoteOn: 28
□ Write Protect 機能 30
□ [COPY] 31
□Renumber(Move) 31
□[Delete] 32
＜PlayList 説明＞ 34
□PlayList の各項目説明 34
□PlayList の新規作成 35
□PlayList 手動再生手順 37
□PlayList の Repeat 設定 38
□PlayList の Random 設定 40
□PlayList の MIDI NoteOn 設定 41
□PlayList の Copy 41
□PlayList の Renumber(Move)設定 42

□PlayList の[DELETE]設定 43
〈Scheduler 機能〉 44
□Scheduler 機能設定手順 45
※スケジュール設定オプションの意味 46
※スケジュール設定の詳細説明(事例) 46
□Group 機能(期間限定再生)の設定 47
□Scheduler の削除 48
□Sort 機能 49
＜Contact Trigger＞ 50
□Contact Trigger の設定手順 50
□Contact Trigger の削除 51
＜DMX Trigger＞ 53
□DMX Trigger 設定手順 53
□設定の削除 54
＜MIDI Trigger＞ 56
□MIDI Trigger 設定手順 56
□MIDI Trigger 設定削除手順 57
＜Time Code Trigger＞ 58
□外部タイムコードとの接続手順 59
□タイムコード受信の確認 59
□事前設定手順 59
□TIMECODE 設定手順 60
□再生手順 61
＜Player Config＞ 62
□Player Config 名称の意味 62
□AUTO 設定手順 63
□AUTO Restart 設定手順 64
□Backup 設定手順 64
□BackupTime 設定手順 65
□Xfade Time の設定手順 66
□In/Out の設定手順 66
□Port Duplicate の設定手順 67
□Master Level 設定手順(全 FILE の FADE 機能) 67
□Xfade mask 設定手順 68
＜Trigger Config＞ 69
＜Advanced Config＞ 71
□Clock 71
□Time Zone 72
□Name 73
□Serial Baud 74
□MIDI Thru 74
□MIDI LINK 75
□MIDI Device ID： 76
□LTC FrameRate 76
□Backlight(本体液晶ライト) 76
□Operation Lock 77
□Internal memory(内部記録機能) 78
□Firmware version 79
□Reset Config 80
＜データバックアップ＞ 82
推奨メモリーカード： 82

＜UDMR2 ユーティティーソフト＞ 82
＜Serial Command：RS232＞ 83
＜色々な設定の優先順位＞ 84
＜エラーメッセージとその対処＞ 85
＜TEST モードについて＞ 86
□TEST モードに入る手順 86
□TEST モード各画面説明 86
(1)Button 86
(2)DMX(1~4Port) 86
(3)INPUT 87
(4)MIDI 87
(5)LTC 88
(6)MTC 88
(7)GPS 88
(8)Clock 89
(9)SR/SS/DW/DS 時間確認 89
(10)Firmware 89
＜よくある質問＞ 90

＜主な仕様＞

メモリー：

DMX file 999（DMX 記録ファイル数）
PlayList 999（既存 DMX 記録ファイルの組合わせ設定数）

記録時間：

最短 220 時間（16GB メモリーカード使用にて）
1DMX file 最短 55 時間 （4GB）まで
74MB/60 分 最短目安
記録する DMX ポート数、DMX チャンネル数、レベル変化状態により記録時間が異なります。

MEMORY CARD：

最大 16GB（SDHC）、FormatFAT32
4GB 付属

信号：

DMX-512 信号 x4 ポート （2048ch）の記録と再生
DMX-512 信号受信による記録データトリガー再生
MIDI Note 信号受信による記録データ毎に設定出力
MIDI Note Velocity 信号受信による記録データトリガー再生
無電圧接点信号受信による記録データトリガー再生
シリアル信号受信による本体リモート制御
LTC、MTC 信号受信による記録データ同期再生
本体内蔵時計との記録データ同期再生

I/O ポート：

DMX OUTPUT x4 ポート
DMX INPUT x4 ポート
MIDI INPUT x1 ポート
MIDI OUTPUT x1 ポート
LTC IN x1 ポート
CONTACT INPUT x ポート（COM+1～10 回路）
SERIAL x1 ポート
ANTENNA x1 ポート（付属 GPS アンテナ接続）
AC100-240V x1 ポート

電源：

AC100～240V 50/60Hz 3W

仕様周囲温度

0℃～40℃

仕様周囲湿度

0%～80%(ただし結露無きこと)

重量：

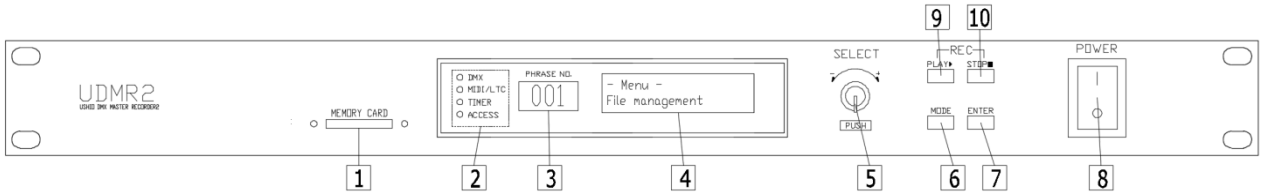
約 2kg

寸法：

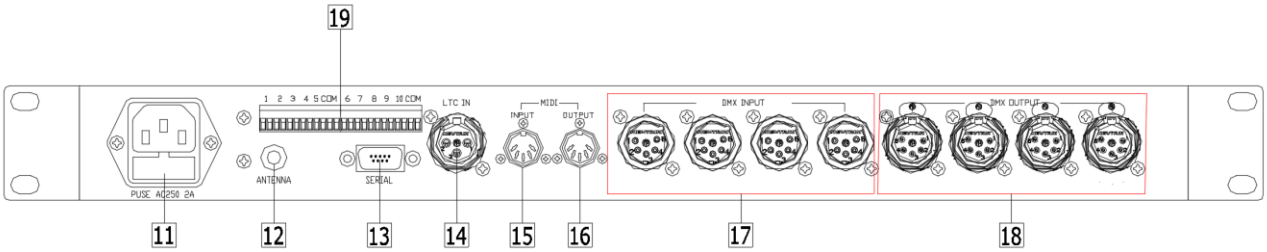
W481 x H44 x D148
※最低必要背面寸法 D400mm

＜各部の名称・機能＞

□フロントパネル

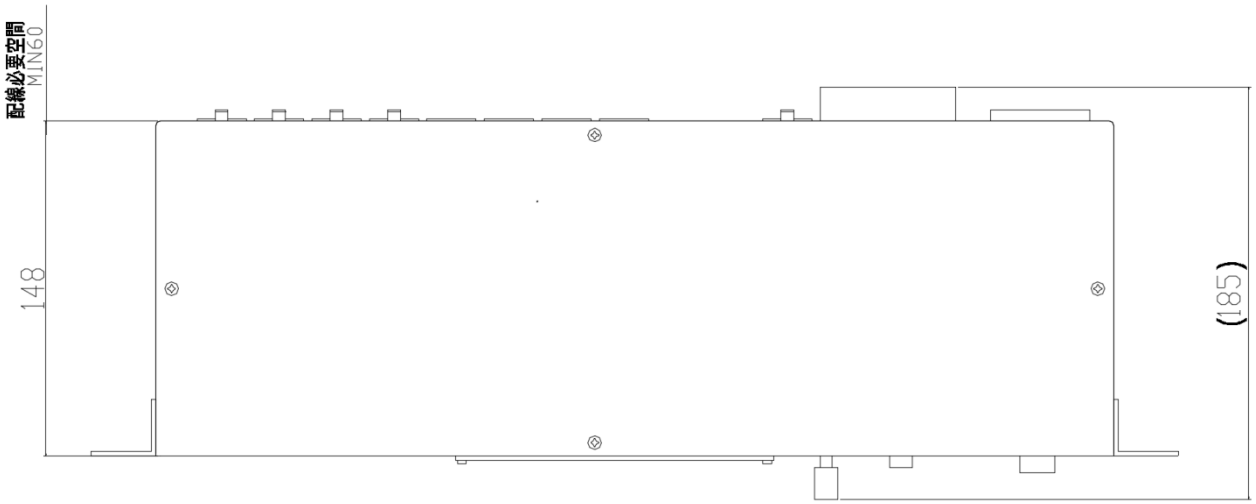


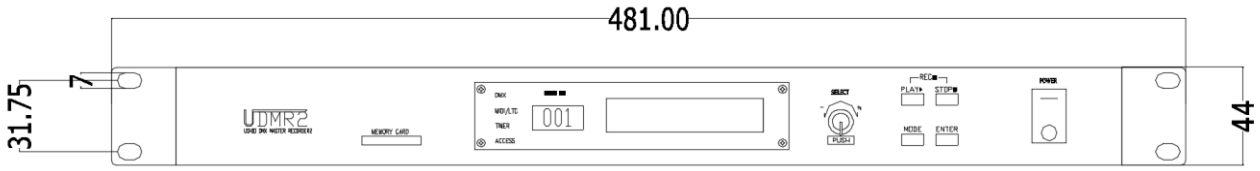
□リアパネル



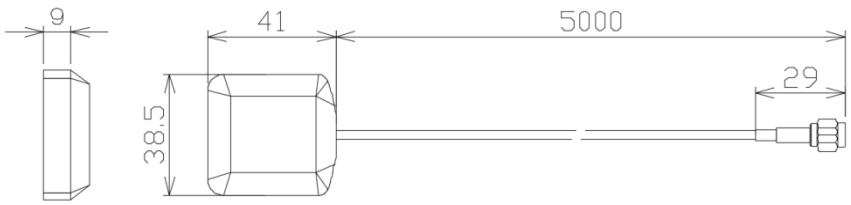
No	名称	機能
1	メモリースロット	メモリーカード装入口
2	DMX インジケーター	DMX 信号 受信時：橙、記録時：緑点滅、PLAY 時：赤点灯/緑点滅（DMX 信号受信時）
	MIDI/LTC インジケーター	緑点灯
	TIMER インジケーター	緑点灯
	ACCESS インジケーター	メモリーカードアクセス時：緑点灯
3	7 セグディスプレイ	DMX file、PlayList、各種設定項目番号の表示
4	LCD	通常画面：時計表示、各種設定操作の表示
5	SELECT	項目選択（回す）、確定（押す）
6	MODE	通常画面・Menu 画面の切替
7	ENTER	設定確定、DMX file 再生カウンタ表示の切替（経過・残時間）
8	電源スイッチ	本体電源の ON、OFF
9	PLAY	DMX file、PLayList の再生（PLAY）、一時停止（Pause）
10	STOP	PLAY の停止、設定内容のクリア
11	電源ソケット	付属の電源コードの接続
12	GPS 端子	付属の GPS アンテナの接続
13	SERIAL 端子	外部シリアル通信機器との接続（パソコン、PLC）、10 シーンパネル（オプション）
14	LTC IN	外部 LTC（SMPTE）信号の接続による同期再生
15	MIDI IN	外部 MIDI 信号の接続によるトリガー再生、外部 MTC 信号の接続による同期再生
16	MIDI OUT	外部 MIDI 機器の接続によるリモート制御（オーディオレコーダー）、UDMR2 リンク増設
17	DMX INPUT	外部 DMX 機器の接続による DMX 信号の記録（4 ポート）
18	DMX OUTPUT	記録した DMX 信号の再生による DMX 信号の出力（4 ポート）
19	無電圧接点ターミナル	外部の無電圧接点を受けシーンんを再生します。

＜本体外形寸法＞



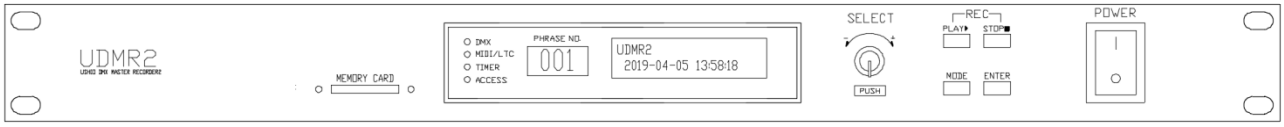


■付属部品（ＧＰＳアンテナ）



＜接続構成例＞

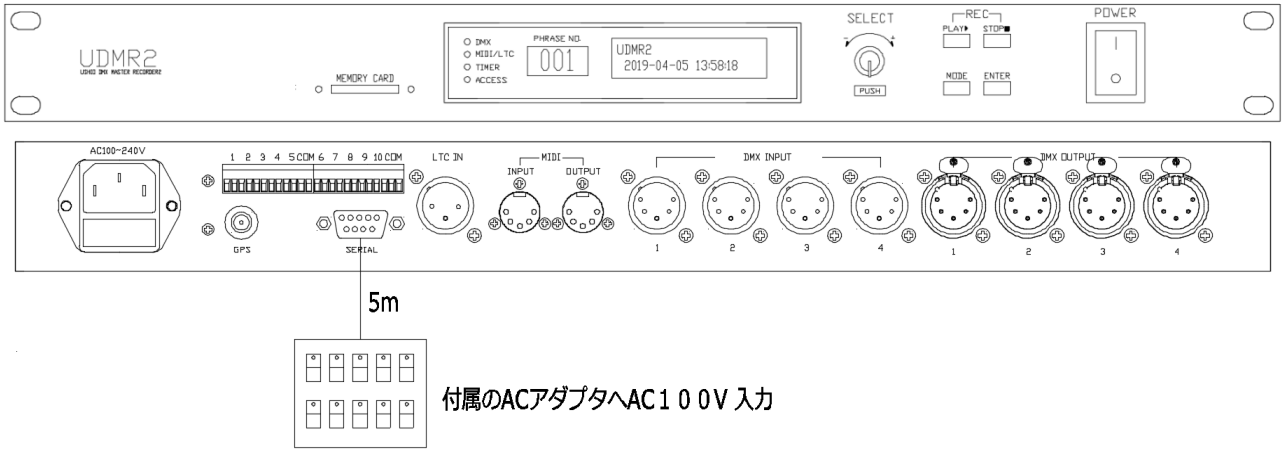
□スタンドアローン
・本体単体での使用の場合



〈UDMR2 の初期画面〉

※【SELECT】ボタンを操作し DMX file あるいは PlayList を選択後【PLAY】を押してください。
※【PLAY】ボタンを押すと、PHRASE NO.に表示されている番号の演出が再生されます。

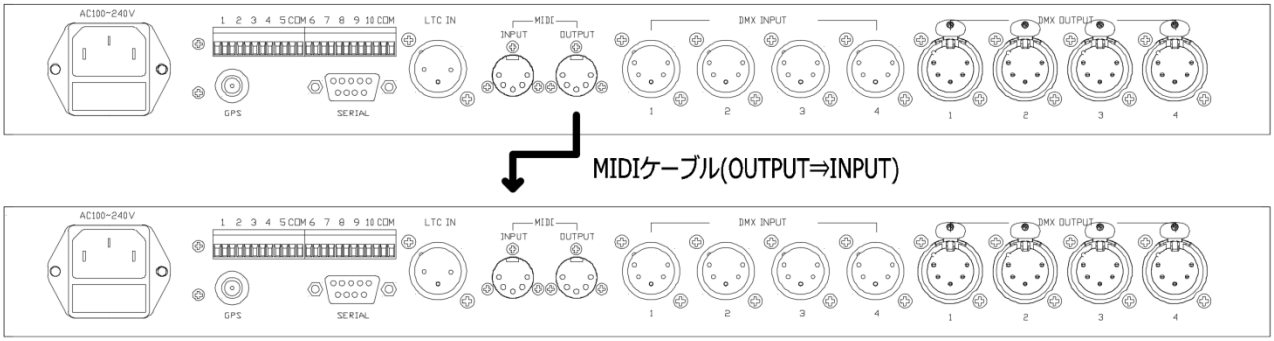
□オプション接続
・本体にはオプションで【10 シーンパネル】を接続できます。



頻繁に演出を手動で変更したい場合オプションの【10 シーンパネル】の追加で簡単に操作。
※出荷時に 10 個ボタンの操作内容をプログラム登録する必要があります。
　発注時指定ください。（プログラム登録はユーザ側では行えません）

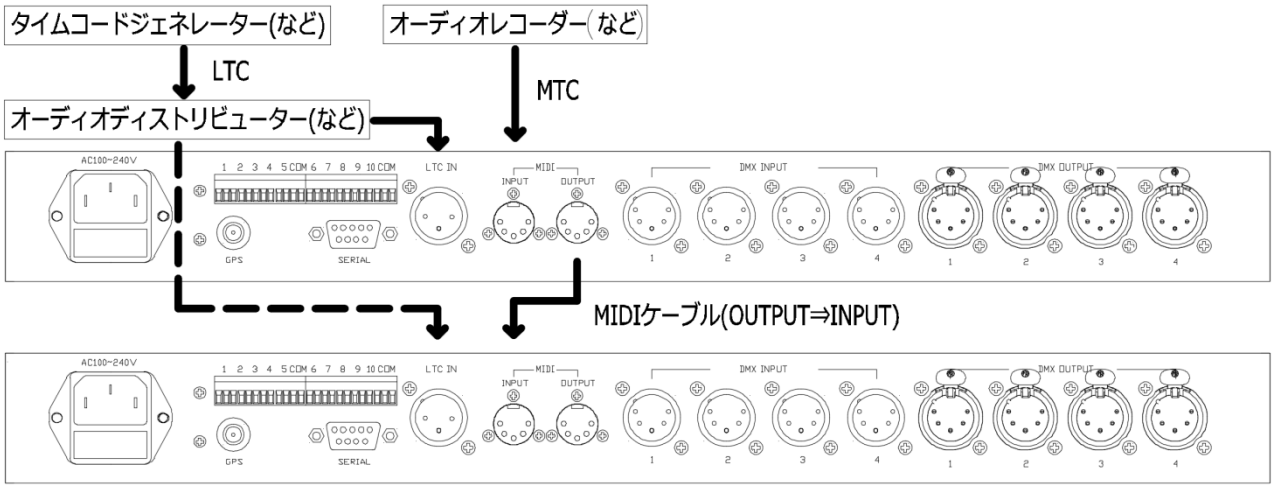
付属の GPS アンテナの接続にて本体内蔵時計により年間スケジュール制御が可能です。
本体電源 ON にて設定の DMX file あるいは PlayList の自動 PLAY が可能です。（Auto 再生機能）
※Auto 再生機能は、PlayConfig の説明をご参考ください。

□複数台連動接続
・DMX4 ポート以上必要な場合本体を増設接続します。
・本体間の PLAY リンクには MIDI 信号を使用します。



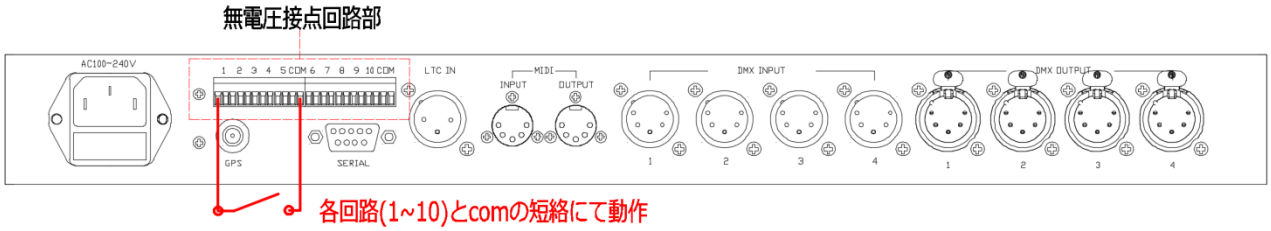
接続には市販の MIDI ケーブルを使用してください。
参）MIDI ケーブル：サンワサプライ KB-MID01-18K（1.8m）

□複数台同期接続
・高精度な同期 PLAY が必要な場合
・高精度な同期 PLAY をするには別置外部に LTC あるいは MTC 発生機器を設ける必要があります。



参）タイムコードジェネレーター：ROSENDAHL MF4
オーディオディストリビューター：DRAWMER DA6
オーディオレコーダー：Roland AR3000SD

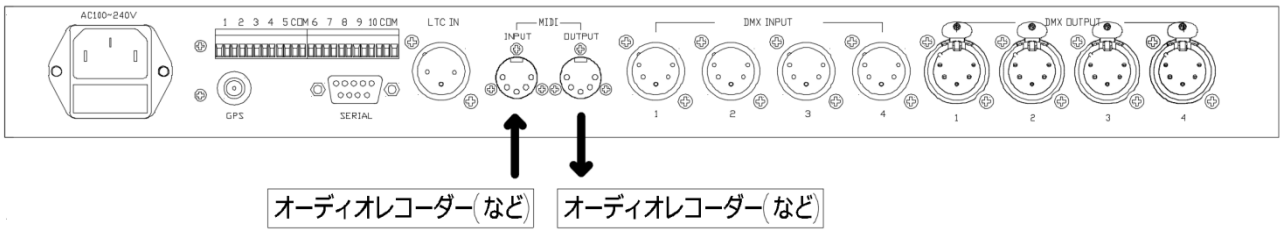
□外部信号接続（無電圧接点回路）
・外部無電圧接点信号にて指定した本体記録データを PLAY します。



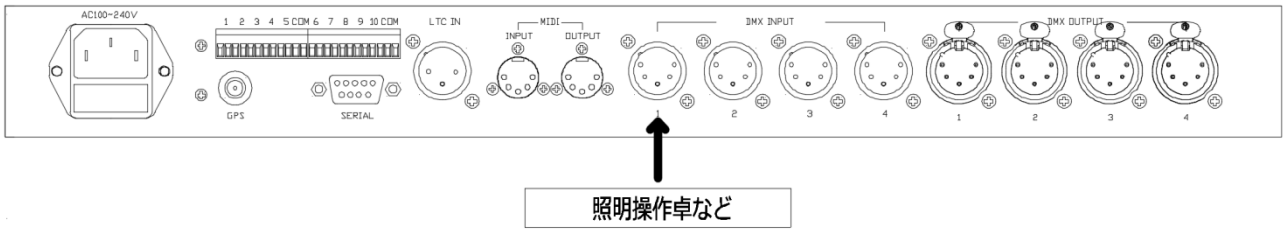
・回路 1～10＋com との短絡にて動作します。
・Contact Binary 設定時、回路 10+com との短絡にて指定 DMX file【PLAY】として機能します。
・Contact Binary 【DRCT】設定時、回路 1～10 を用いたバイナリー(2 進数)指定にて DMX file が直接【PLAY】します。（回路 10+com 機能は使用しません。）

※Contact Binary が【ON】に設定されている場合は無電圧接点回路の Contact Trigger は動作しません。

□外部信号接続（MIDI 信号）
・外部 MIDI Note 信号にて指定した本体記録データを PLAY します。
・また、本体の PLAY により MIDI 信号を外部機器へ出力します。

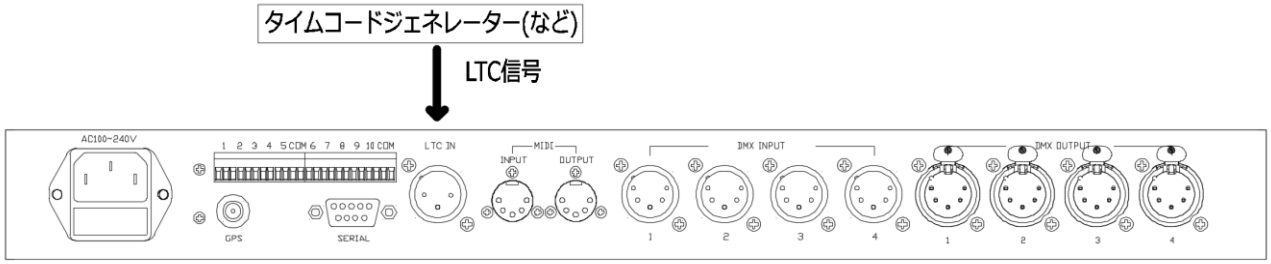


□外部信号接続（DMX 信号）
・外部 DMX 信号にて指定した本体記録データを PLAY します。



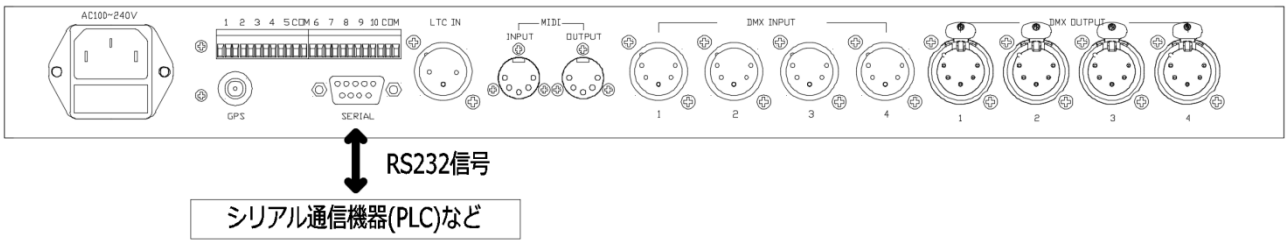
※DMX 信号レベル 50%以上にて本体が反応します。

□外部信号接続（LTC 信号）
・外部の LTC（SMPTE）信号に同期 PLAY します。

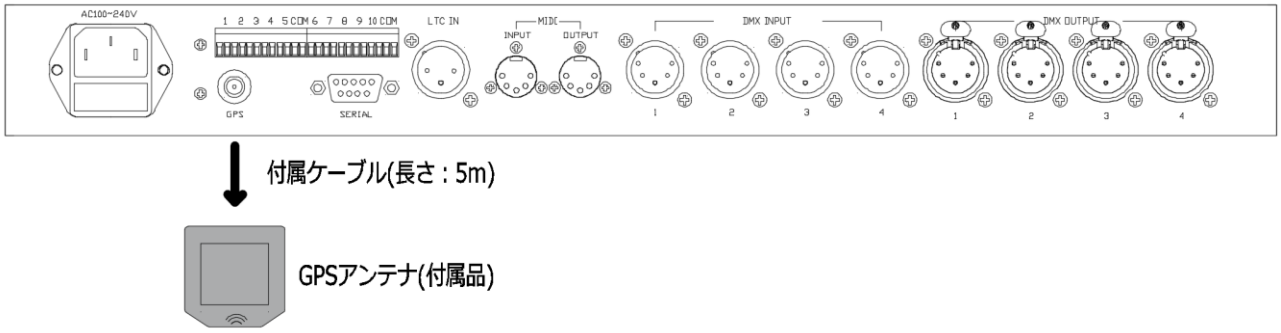


・LTC フレームレイト：24fps、25fps、29fps、30fps より選択
・LTC IN 端子：2 番ホット

□外部信号接続（SERIAL 信号）
・外部のシリアル通信機器との接続により本体の各種リモート制御が可能。
・また、本体から外部機器へステイタス送信コマンドにも対応

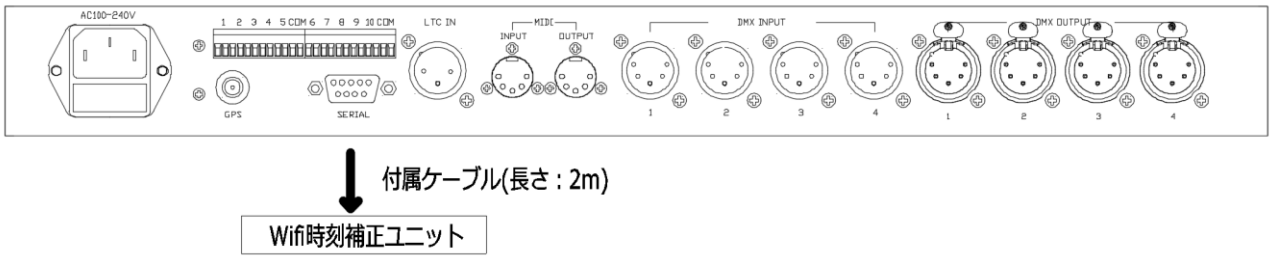


□外部信号接続（GPS 信号）
・本体内蔵時計を付属の GPS アンテナを接続することで常に正確な時刻補正が行われます。



・付属ケーブル 5m で不足の場合別途ケーブル【カナレ電気 L-5DFB】を購入していただき、
中継接続し延長してください。
・GPS アンテナは金属製のケース内などへ設置しないでください。
（GPS 電波受信できなくなります。）
・建築内の中心部など窓のない場所へ設置しないでください。
（GPS 電波を受信できなくなります。）
・できるだけ窓側近傍へ設置するようにしてください。
・屋外には設置しないでください。

□外部信号接続（WiFi 経由での時刻補正：オプション）
・本体設置場所にて GPS 信号受信できない場合オプションの【WiFi 時刻補正ユニット】の追加で
インターネット経由で時刻補正できます。



・インターネット接続可能なエリアで使用できます。

＜ラックへの設置(放熱に対するご注意)＞

本機をラック等へマウントする場合は、効率の良い冷却をするため下記の点にご注意ください。

・通気性の良い場所に設置してご使用ください。

・密閉タイプのラックへのマウントは避けてください。ラック内の暖まった空気を排出できないため、本体の温度が上昇する恐れがあります。

・多段マウント時は、特にラック内の排気が十分に行えるようにし、排気を再び吸入することのないようにしてください。ラック後面を解放できない場合は、暖かい空気が溜まるラック後面上部に排気口、または排気ファンを設けてください。

・移動用ケース（ポータブル・ラック）等に収納して使用する場合は、ケースの前面および後面のふたをはずし、本機の前面、後面をふさがないようにしてください。

※ ラックに設置するときは、指などをはさまないように注意してください。

※ 19 インチラックに合わせて製造されております。

＜ご使用の前に＞

付属のメモリーカードにUDMR2ユーティリティーソフトが入っています。
ご使用のWindowsパソコンへソフトウエアをコピーしご使用頂けます。

メモリーカード内のUDMR2の本体各種設定、DMX file、PlayListの名称、設定をパソコン上で直接設定することができます。

コピー後メモリーカードはパソコンにてフォーマット（FAT32）してからご使用ください。

＜DMX fileについて＞

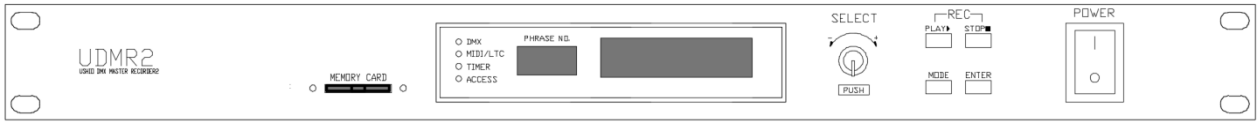
最大999個のDMX fileを記録再生できます。
※記録時間は 【主な仕様】を参照ください。

File management：記録したDMX fileに対し下記の設定をします。

Text	名称入力（カタカナ、アルファベット、記号）
Xfade time	DMX file～DMX file切り替え時のフェード時間（OFF～999.0s）
Delay time	DMX file PLAY～再生されるまでの待ち時間（0.00～9999.00s）
Play speed	DMX file再生スピート可変（10～1000%・100%リアルスピード）
Repeat	DMX file繰り返し再生（ON, OFF）
Duration time	DMX file再生維持時間～時間終了後停止（0.0～9999.0s）
MIDI NoteOn	DMX file PLAY時の出力MIDI信号
	OFF、Note 0-127+Velocity 0-127）
	※ PlayListでMIDI信号を設定した場合DMX fileで設定したMIDI信号は出力されません。
	※ Repeat再生の場合、再生毎にMIDI信号が出力されます。
Write Protect	DMX file毎に書き込み保護設定（OFF, ON）
Copy	DMX fileを他のDMX file番号へ複製
Renumber	DMX fileを他のDMX file番号へ移動
Delete	DMX fileの削除

＜基本操作手順＞

□電源 ON
①初期状態は次のイメージのようになっております。



②Power ボタンを押して電源を入れてください。



※MEMORY CARD が挿入されているかご確認ください。

③電源が入ると、次のように液晶に今日の日付が表示されます。



※PHRASE NO.(DMXfile.No)は点滅します。
※今日の日付になっていない場合には【Advance Config】で時計を設定するか、GPS をつけてください。

□新規データ作成(新規 DMXFile 作成)

①UDMR2 を初期画面の状態にしてください。
※ほかの画面が出た場合、【MODE】ボタンを初期画面が出るまで押します。

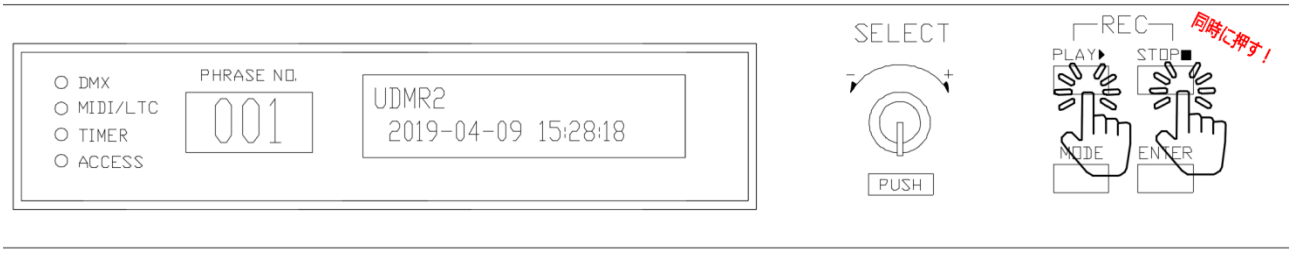


②【SELECT】を左右に回し、REC したい PHRASE　NO. を選択してください。

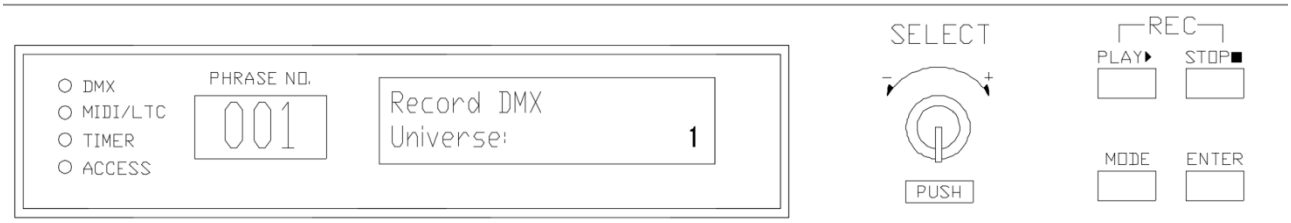


※ここでは PHRASE　NO.　001 に REC します。

③【PLAY】と【STOP】を同時に押してください。

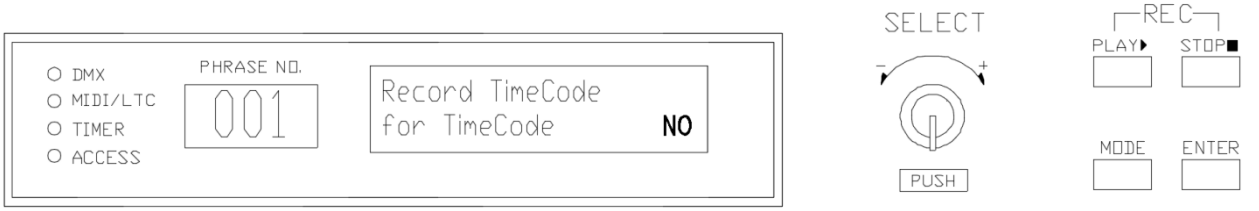


④液晶の画面が変わり、Universe 指定画面が表示されます。



・UDMR2 には UNIVERSE(DMX ポート)が 4 つあります。
・4 つの UNIVERSE を使用される場合、【SELECT】を回して、ポート数(1～4)をご選択ください。
※DMX ポート個別の記録はできません。(同時記録になります)
※1 つの DMX file には一度に必要な全ての DMX ポートを記録してください。

⑤REC したい Universe を選択(通常 4)し、【SELECT】を押すと次の画面になります。



・TimeCode 同期再生するための DMX　File の作成の場合は、【SELECT】を回し【YES】を選択してください。このマニュアルでは【No】を選択し【SELECT】ボタンを押してください。
※ P30 ＜DMX Trigger＞参照ください。

⑥【SELECT】ボタンを押すと、次の画面に変わります。



・【SELECT】を回して、Trigger Address を選択します。（OFF、1～512）より選択可能です。
・このマニュアルでは【OFF】 を選択したまま、【SELECT】ボタンを押します。

※ 上記にて指定した DMX チャンネルの外部 DMX 信号レベル 50%以上にて自動で記録開始します。
※　指定 DMX チャンネルの外部 DMX 信号レベルが 50%未満にて自動的に記録を停止します。
※Trigger　Address の REC 方法は【18Page】をご参考お願いします。

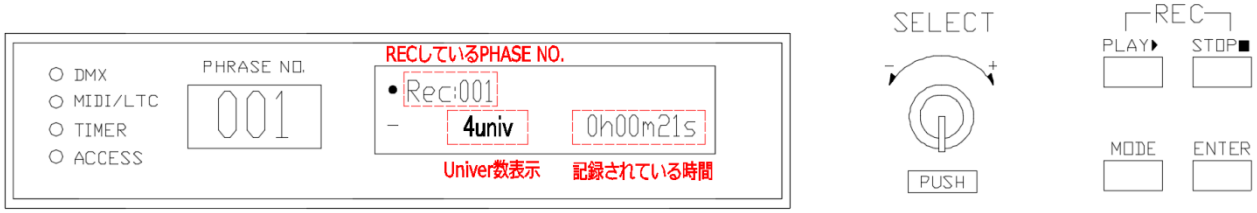
⑦【SELECT】ボタンを押すと、次の画面になります。



⑧REC を始める準備が終わりました。【PLAY】ボタンを押すと REC が始まります。



⑨REC が始まると次のように画面が切り替わります。



⑩REC が終わったら、【STOP】 ボタンを押すと次の画面が出た後、初期画面に戻ります。



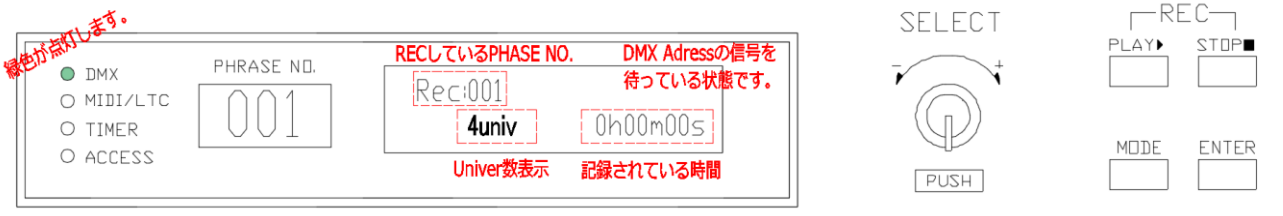
⑪Trigger　Address の REC 方法



・仕様される adress を【SELECT】を回して選択し、【SELECT】ボタンを押してください。
　ここでは 512 に設定します。
・【SELECT】ボタンを押すと次の画面になります。



・上記画面で【PLAY】ボタンを押すと、次の画面になります。



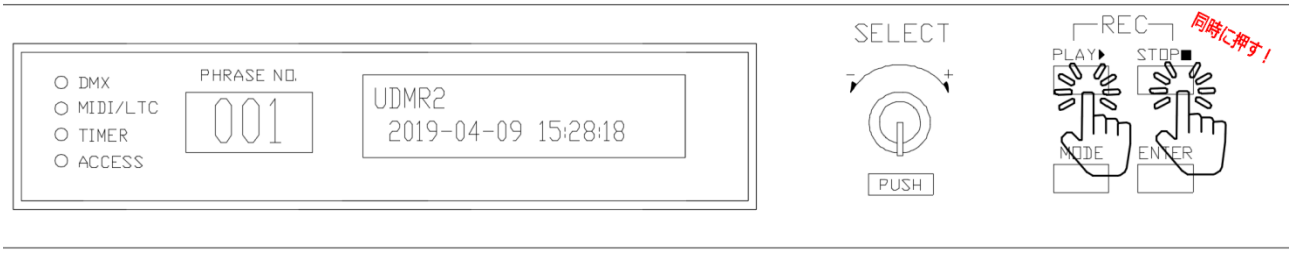
・前項で設定した Adress512 の信号が入ってくるまで記録されている時間は停止しています。

※ 上記にて指定した DMX チャンネルの外部 DMX 信号レベル 50%以上にて自動で記録開始します。
　指定 DMX チャンネルの外部 DMX 信号レベルが 50%未満にて自動的に記録を停止します。

□修正・上書き
①【SELECT】回し、修正(上書き)する PHRASE NO.を選択してください。



②【PLAY】と【STOP】を同時に押してください。

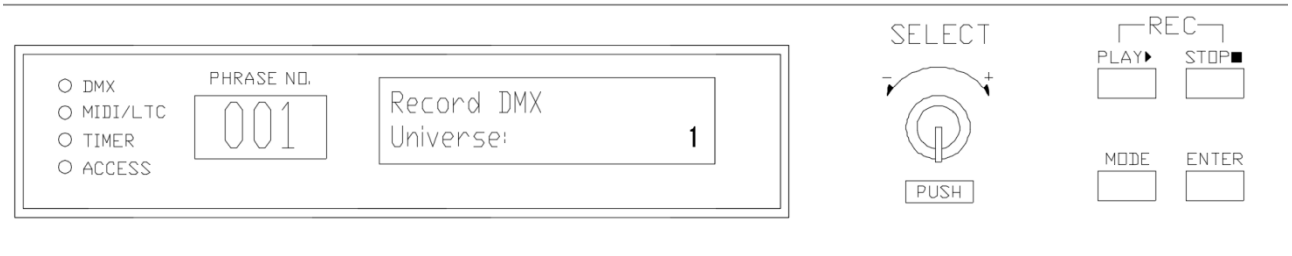


・次のような画面が表示されます。



③修正する場合：SELECT を回して【YES】を選択し【SELECT】ボタンを押してください。
※修正しない場合：【MODE】を押して初期画面に戻ってください。

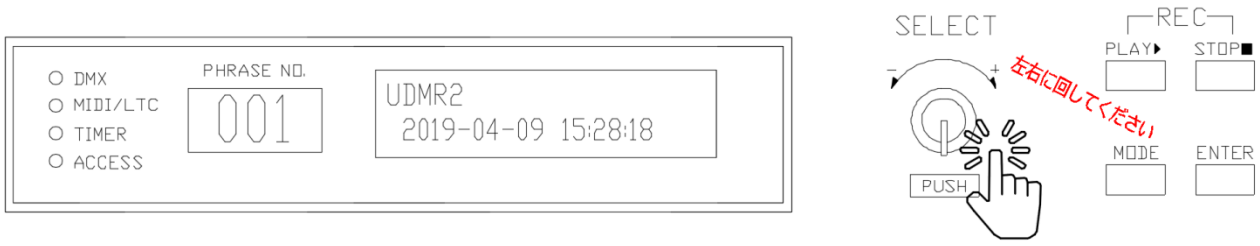
・【YES】を選択し、【SELECT】を押した場合、下記の画面がでます。



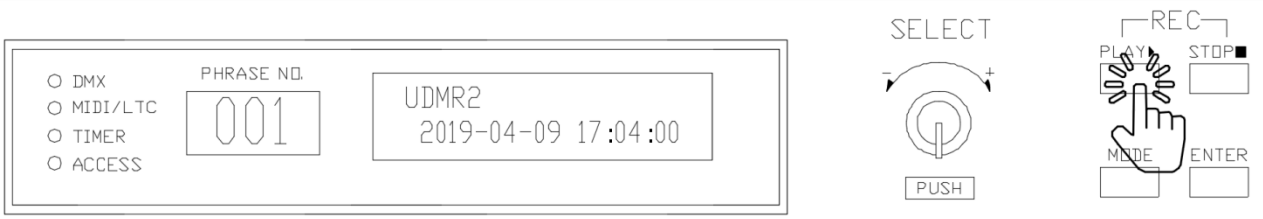
④次からは 16Page の【□新規データ作成(新規 DMXFile 作成)】マニュアルをご参考ください。

□DMX File 手動 PLAY 手順

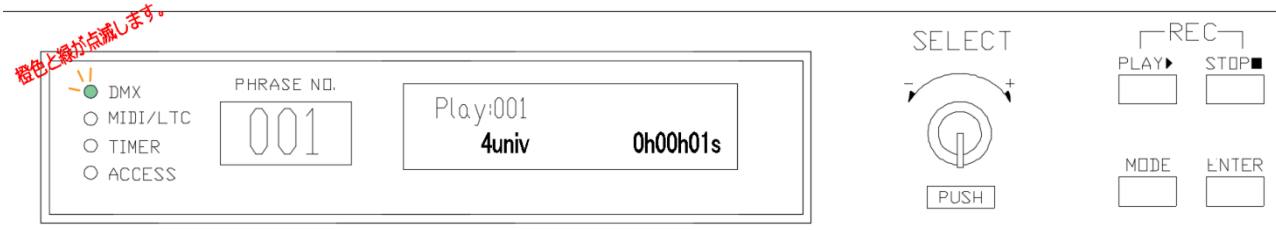
①初期画面で再生したい PHRASE NO. を【SELECT】を回して選んでください。



②PHRASE No. の選択が終わりましたら、【PLAY】ボタンを押して再生してください。



・再生が始まると次のように画面が変わります。

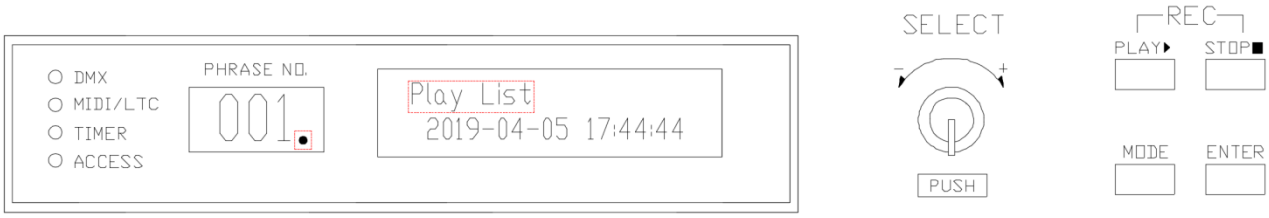


※注意

初期画面で【SELECT】ボタンを押すと Play List 再生モードに切り替わります。
（下記の添付イメージをご参考ください）

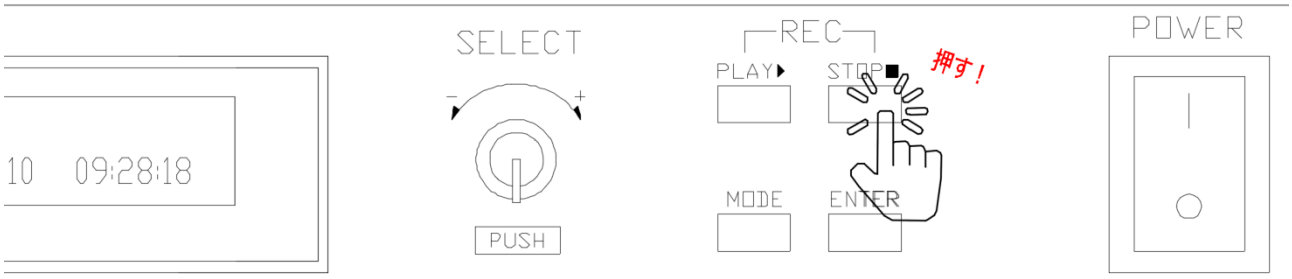
※下記のイメージのように PHRASE No. の真横の【・】が Play List 再生モードの目印です。

※押し間違った場合、もう一度【SELECT】ボタンを押して、通常再生モード(DMXFile 再生モード)に戻ってください。PHRASE No. の真横の【・】が消えます。



<Play List に切り替わる時の画面、PlayList の文字は約 1 秒で消えます。>

※再生中を【STOP】したい場合には、本体正面の右上にある【STOP】ボタンを押してください。



※注意
・【MODE】【File management】→【Repeat】【OFF】の場合、最後まで PLAY の後、
自動的に【STOP】します。
・【File management】→【Repeat】【ON】の場合、【PLAY】を繰り返し。

□【STOP】時の DMX 信号出力モード設定
・STOP 時の DMX 信号出力モードを設定します。(THROUGH/MIX)

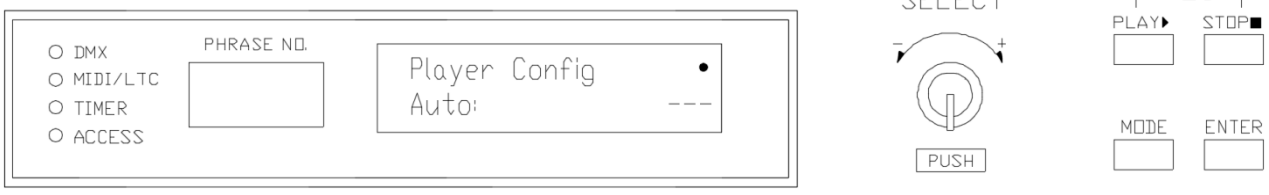
①初期画面から【MODE】 を押すと次の画面に切り替わります。



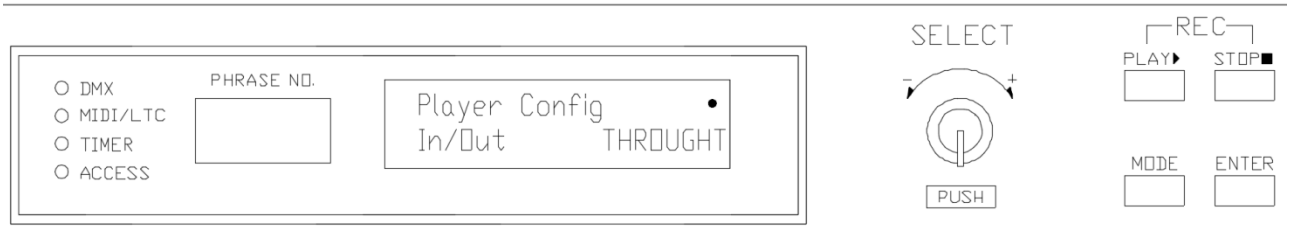
②【SELECT】を回し、SELECT を右に回し【Player Conifg】を選択し【PUSH】を押します。



・次の画面に切り替わります。



③【SELECT】を回し、IN/Out 設定画面を選択してください。

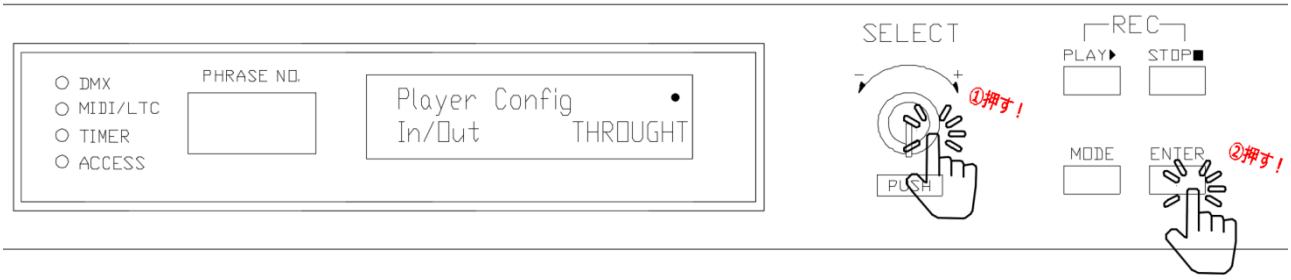


〈In/Out 設定の初期画面〉

④【SELECT】を押してから【SELECT】を回すと設定変更が可能です。決まりましたら
【SELECT】を 1 回押して【ENTER】を押してください。(THROUGH、MIX より選択)

※MIX：最終の DMX 信号出力を保持
・MIX は再生中に外部信号を受ける

※THROUGH：全チャンネル 0%出力
・THROUGH は再生中に外部信号を受けない。



・次のように【OK, done！】画面が表示されます。



⑤設定完了後は【MODE】を押して初期画面に戻ります。

□その他再生手順

□Pause

・一時停止

①DMX file PLAY 中に再度【PLAY】押すと PLAY が Pause します。



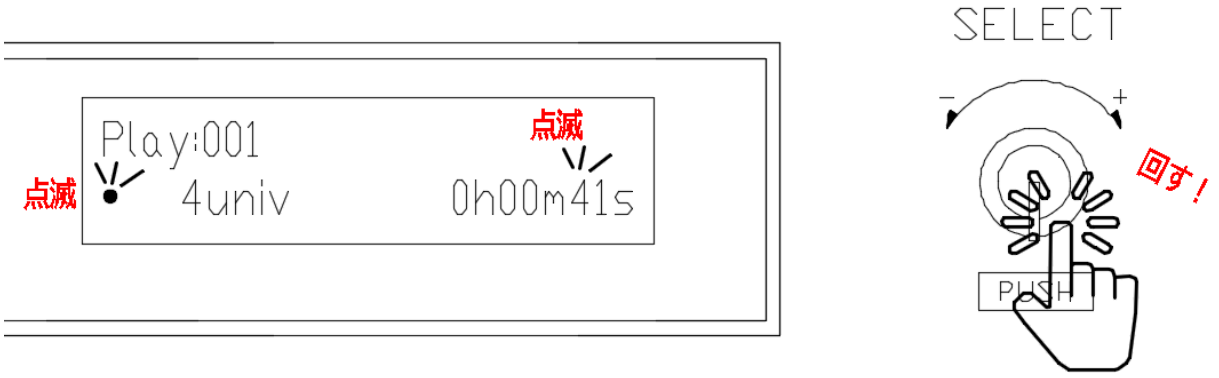
②もう一度【PLAY】ボタンを押すと、再生止まった時間から再生します。

□Jog Shuttle

・再生中に再生したい時間に移動する機能です。

①前項の【□Pause：一時停止】をご参考し、再生を Pause します。

②【SELECT】を回して、再生したい時間帯に移動します。



③秒(m)、時間(h)に移動したい場合には Pause 状態で【SELECT】ボタンを押してください。



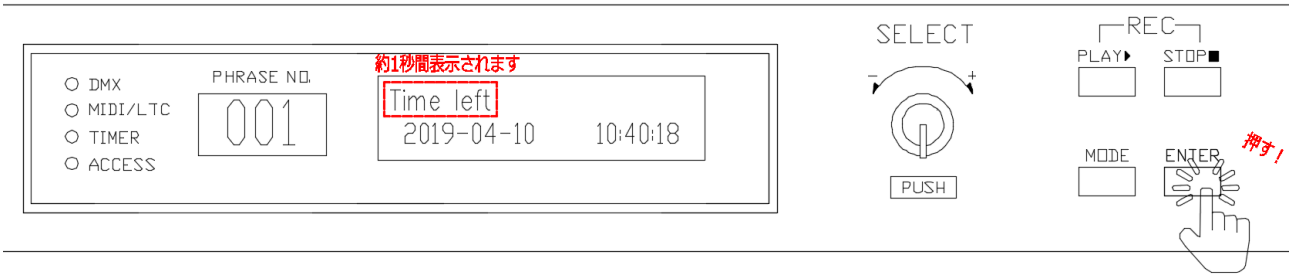
・点滅の場所が変わったことがわかります。

④設定が終わりましたら【PLAY】ボタンを押します。指定した時間から再生されます。

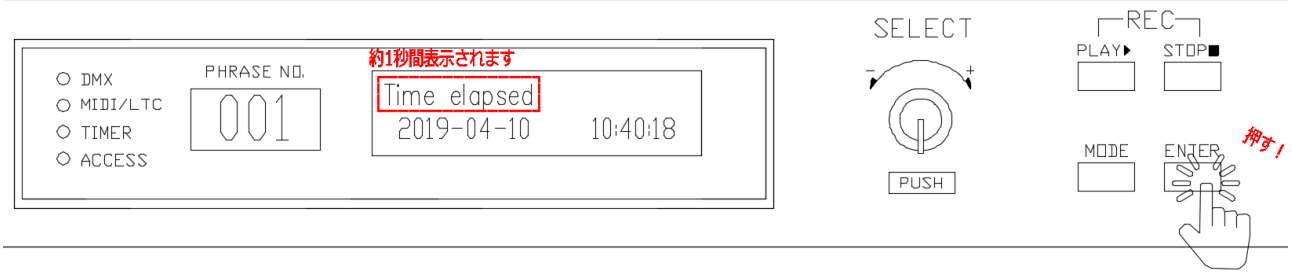
□Time Left/Time elapsed
・DMX file PLAY 中の再生時間カウンター表示モードを切替ます。

①UDMR2 の初期画面に移動します。
・電源を入れなおすか、【MODE】押して初期画面に切替えます。

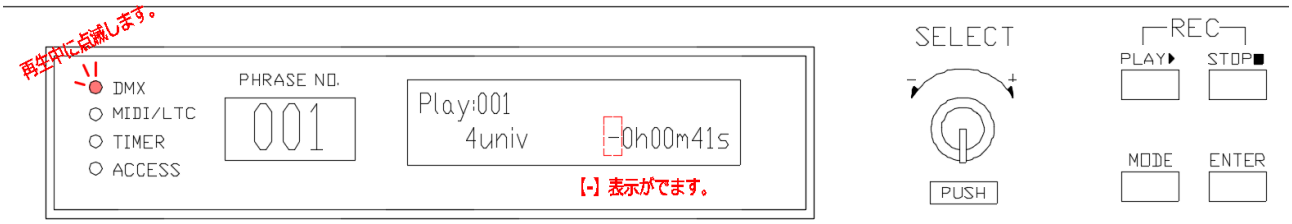
②【ENTER】押す度に 画面上に【Time Left】【Time elapsed】設定が切替わります。
・Time left：PLAY からの DMX file 残存時間表示されます。



・Time elapsed：PLAY からの経過時間表示されます。



・Time elapsed モードでの再生表記は次をご参考ください。



※再生中に【ENTER】 を押しても、表記モードが切り替わります。

＜File management 設定手順＞
□DMX file 名前の変更

①初期画面で【MODE】ボタンを押します。
・次の画面がでます。



②【SELECT】を押して【File Managemet】の詳細設定の中に入ります。
・次の画面が表示されます。

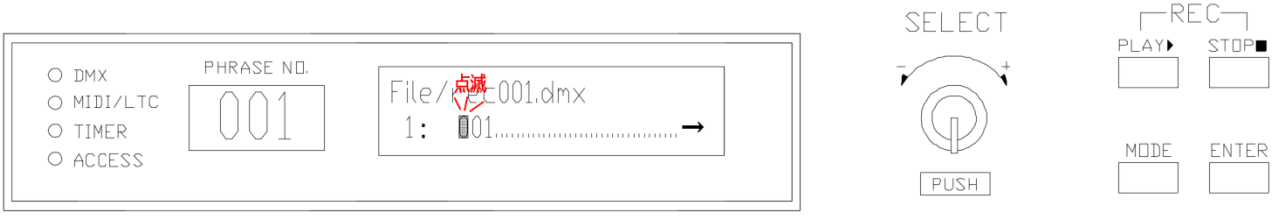


③【SELECT】を回し、名前を変更したい PHRASE NO. に変更してください。
・ここでは 001 を修正します。

④001 を選択し【SELECT】を押してください。
・次の画面が表示されます。



⑤【Text：001】の文字が見えたら、もう一度【SELECT】を押してください。
・次の画面が表示されます。



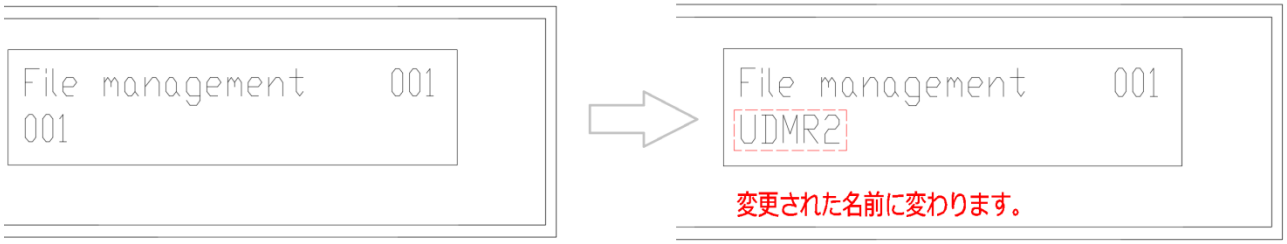
⑥上記画面から【SELECT】ボタンを左右に回し、変更したい文字を選択し【SELECT】ボタンを押してください。

⑦【SELECT】ボタンを回し、入力する文字を選択の後【SELECT】ボタンを押すと次の文字修正ができます。

⑧すべての文字の修正が完了したら、【ENTER】を 2 回押してください。
・次の画面になり、文字修正は完了です。



<設定完了時画面>



□Xfade Time の設定
・シーンが変わる時のクロス Fade 機能を設定いたします。
・DMXFile ごとの設定可能です。

①初期画面で【MODE】ボタンを押します。
・次の画面がでます。



②【SELECT】を押して【File Managemet】の詳細設定の中に入ります。
・次の画面が表示されます。



③【SELECT】を回し、設定変更したい PHRASE NO. に変更してください。
・ここでは 001 を修正します。

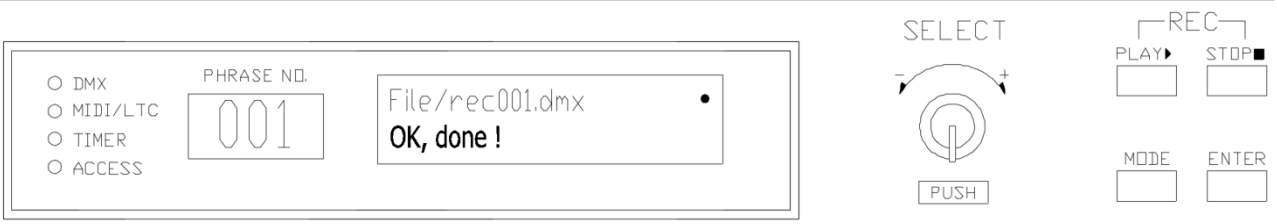
④001 を選択し【SELECT】を押してください。
・次の画面が表示されます。



⑤【SELECT】ボタンを回して次の画面で【SELECT】を押してください。
・その後、【SELECT】を回し、Xfade　time を設定してください。
・0.1s～999.0s の範囲にて設定可能です。



⑥設定の後、【SELECT】ボタンを押してから、【ENTER】を押すと設定完了となります。



〈設定完了時画面〉

□Delay time の設定
・再生をしてから Delay される時間を設定します。
①初期画面で【MODE】ボタンを押します。
・次の画面がでます。



②【SELECT】を押して【File Managemet】の詳細設定の中に入ります。
・次の画面が表示されます。



③【SELECT】を回し、設定変更したい PHRASE NO. に変更してください。
・ここでは 001 を修正します。

④001 を選択し【SELECT】を押してください。
・次の画面が表示されます。



⑤【SELECT】ボタンを回して次の画面で【SELECT】を押してください。
・その後、【SELECT】を回し、Delay Time を設定してください。
・0.1s～999.0s の範囲にて設定可能です。



⑥設定の後、【SELECT】ボタンを押してから、【ENTER】を押すと設定完了となります。



〈設定完了時画面〉

□Play speed の変更
・PLAY されるスピードを変更します。
・10%～1000%の(1/10 分～10 倍)範囲で設定可能です。

①初期画面で【MODE】ボタンを押します。
・次の画面がでます。



②【SELECT】を押して【File Managemet】の詳細設定の中に入ります。
・次の画面が表示されます。

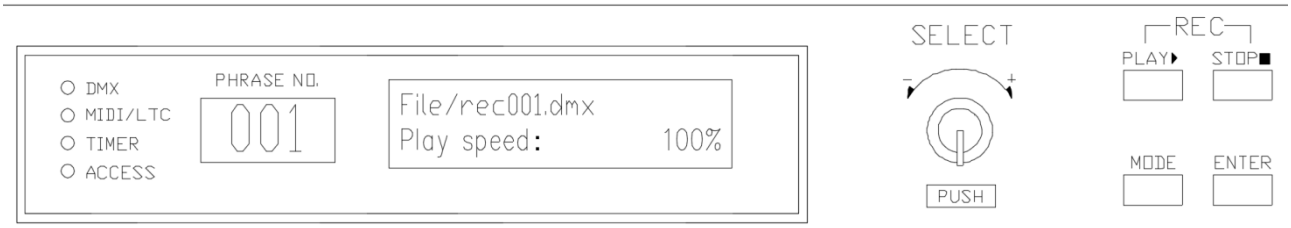


③【SELECT】を回し、設定変更したい PHRASE NO.に変更してください。
・ここでは 001 を修正します。

④001 を選択し【SELECT】を押してください。
・次の画面が表示されます。



⑤【SELECT】ボタンを回して次の画面で【SELECT】を押してください。
・その後、【SELECT】を回し、【Play speed】を設定してください。
・10%～1000%の(1/10 分～10 倍)範囲で設定可能です。



⑥設定の後、【SELECT】ボタンを押してから、【ENTER】を押すと設定完了となります。



〈設定完了時画面〉

□Repeat 再生の設定変更
・再生繰り返しの設定になります。
・ON/OFF
①初期画面で【MODE】ボタンを押します。

・次の画面がでます。



②【SELECT】を押して【File Managemet】の詳細設定の中に入ります。
・次の画面が表示されます。



③【SELECT】を回し、設定変更したい PHRASE NO.に変更してください。
・ここでは 001 を修正します。

④001 を選択し【SELECT】を押してください。
・次の画面が表示されます。



⑤【SELECT】ボタンを回して次の画面で【SELECT】を押してください。
・その後、【SELECT】を回し、【Repeat】の ON/OFF を設定してください。
・ON/OFF　設定があります。(工場出荷時 OFF)



⑥設定の後、【SELECT】ボタンを押してから、【ENTER】を押すと設定完了となります。



〈設定完了時画面〉

□Duration time:
・再生時間を設定します。
・Duration time の設定再生時間が REC されている時間より短い場合、Duration time 設定時間後、STOP します。
・Duration time の設定時間が REC されている時間より長い場合、REC されている時間のみ再生となります。ご注意ください。(※RepeatOFF 設定の場合)
※Playr config の In/Out 設定が MIX になった場合は STOP 後、最終出力がデータ値が残ります。)

①初期画面で【MODE】ボタンを押します。
・次の画面がでます。



②【SELECT】を押して【File Managemet】の詳細設定の中に入ります。
・次の画面が表示されます。



③【SELECT】を回し、設定変更したい PHRASE NO. に変更してください。
・ここでは 001 を修正します。

④001 を選択し【SELECT】を押してください。
・次の画面が表示されます。



⑤【SELECT】ボタンを回して次の画面で【SELECT】を押してください。
・その後、【SELECT】を回し、【Duration time】の時間を設定してください。
・ON/OFF　設定があります。(工場出荷時 OFF)
・0.0～9999.0s の範囲にて設定可能です。



⑥設定の後、【SELECT】ボタンを押してから、【ENTER】を押すと設定完了となります。



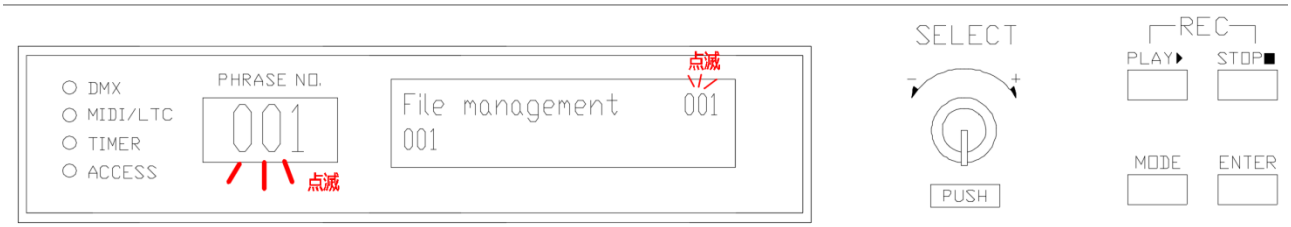
〈設定完了時画面〉

□MIDI NoteOn:
・DMXFile を再生する時、出力する MIDI Note の番号を指定します。
・工場出荷時【OFF】になっています。

①初期画面で【MODE】ボタンを押します。
・次の画面がでます。



②【SELECT】を押して【File Managemet】の詳細設定の中に入ります。
・次の画面が表示されます。

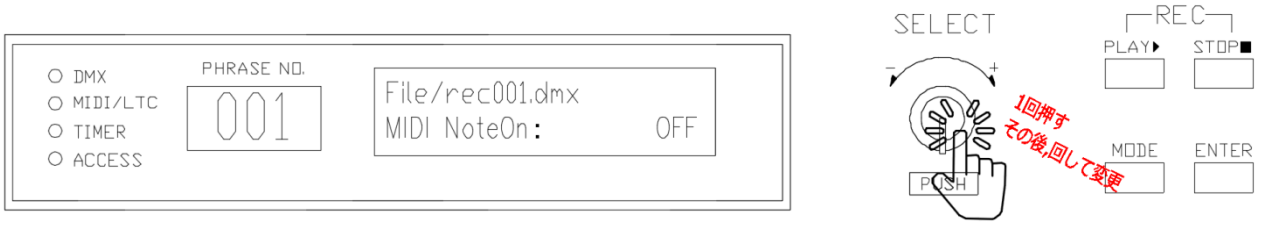


③【SELECT】を回し、設定変更したい PHRASE NO. に変更してください。
・ここでは 001 を修正します。

④001 を選択し【SELECT】を押してください。
・次の画面が表示されます。



⑤【SELECT】ボタンを回して次の画面で【SELECT】を押してください。



・その後、【SELECT】を回し、【MIDI NoteOn】の数値を設定してください。
・ON/OFF 設定があります。(工場出荷時 OFF)
・Note 値 (0～127) より選択可能です。
・Velocity 値 (0～127) より選択可能です。



※Note 値と Velocity 値がありますが、通常 Note 値のみ修正します。
※ご使用環境の確認の上、ご設定お願いします。

⑥設定の後、【SELECT】ボタンを押してから、【ENTER】を押すと設定完了となります。



〈設定完了時画面〉

☐ Write Protect 機能

・REC された場所に再 REC できないようにデータを保護します。

①前項(33Page)の【①～⑤】をご参考し、次の画面に移動してください。



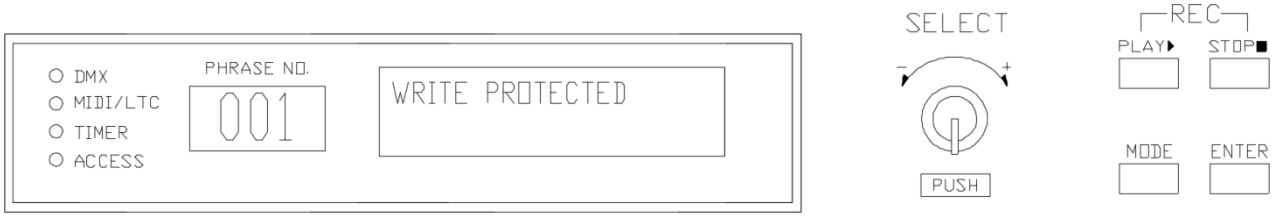
②【SELECT】ボタンを押すと次の画面に進めます



※工場出荷時：OFF

③【SELECT】ボタンを回して ON/OFF を設定した後【SELECT】ボタンを 1 回押すと設定完了になります。

※WRITE PROTECT 機能を ON にした DMXFile に REC する場合、下記の画面が表示されます。



〈約 3 秒ほど表示された後に初期画面に戻ります〉

□［COPY］
・選択した番号のデータを違う番号にそのまま COPY します。
・設定内容も COPY されます。

①前項(33Page)の【①～⑤】をご参考し、次の画面に移動してください。



②【SELECT】を押すと、次の画面に切り替わります。



③【SELECT】を回して、Copy したい番号を選んでから【ENTER】を押してください。
・OK、Done！の表示が出てから【File management】の番号選択画面に戻ります。





〈設定完了後 File managemet の番号選択画面に移動〉

※コピー先にすでにデータが入っている場合は、画面上に【Overwrite Ok? NO】 が表示されます。【SELECT】回し YES/NO 選択し、【ENTER】を】押してください。

□Renumber(Move)
・DMXfile の再生番号を変更します。
・例)001 番号のデータを 002 で再生できるようにする場合、
・実行後、001 のデータはなくなります。

①前項(33Page)の【①～⑤】をご参考し、次の画面に移動してください。



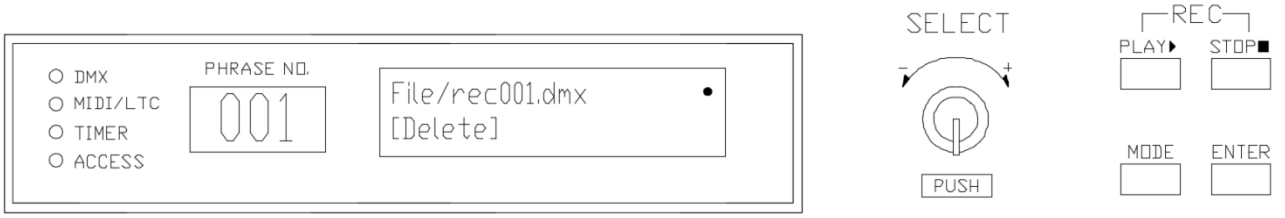
②【SELECT】を押した後、【SELECT】を回し移動したい番号に設定します。



③【ENTER】を押すと、完了されます。
※元のデータはなくなります。
例)001　Renumber　to　002 を実行した場合、001 のデータはなくなります。

□[Delete]
・DMXfile を削除します。
※削除する前に、データをほかのデータメモリ装置に BACKUP してください。
※削除した後、復旧はできません。

①前項(33Page)の【①～⑤】をご参考し、次の画面に移動してください。



②【SELECT】を押した後、【SELECT】を回し YES/NO を選んでください。
・削除する場合、YES を選択し【ENTER】を押してください。



・次画面が表示されたら完了です。



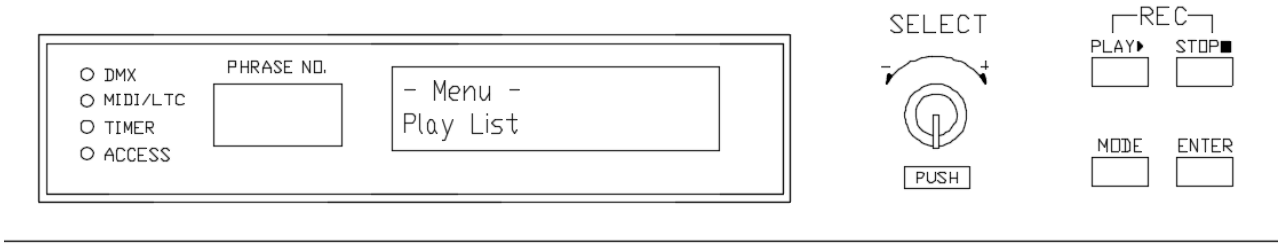
〈設定完了時画面〉

※OK、Done！は約 2 秒間表示されます。

＜PlayList 説明＞

・記録済みの DMX file を自由に組み合わせし、一連の DMX file をグルーピングします。

・1 つの PlayList に最大 50 個の DMX file を登録できます。



□PlayList の各項目説明

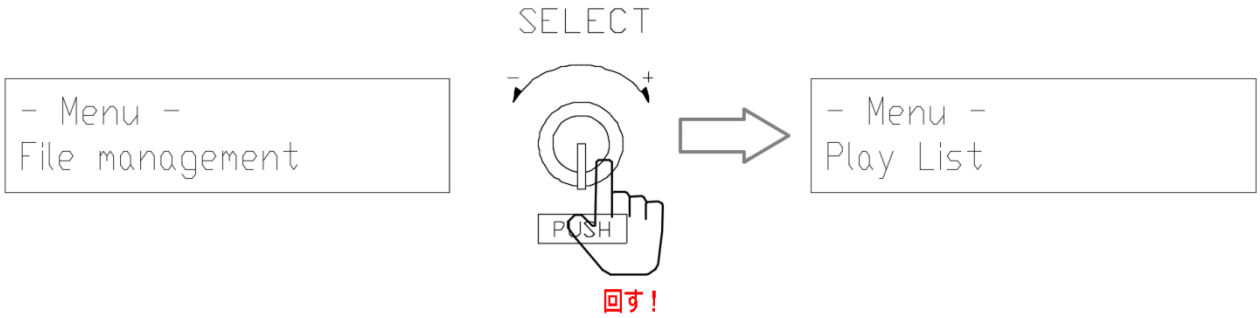
PlayList	最大 50 の DMX file 登録可能（DMX file 001～999 より自由に選択）
Repeat	PlayList の繰り返し再生（ON、OFF）
Random	PlayList 登録内の DMX file を順不同に再生します（ON、OFF）
MIDI NoteOn	PlayList PLAY 時の出力 MIDI 信号（OFF、Note 0-127+Velocity 0-127）
	※ PlayList で MIDI 信号を設定した場合、DMX file で設定した MIDI 信号は　出力されません。
	※ Repeat 再生の場合先頭再生毎に MIDI 信号が出力されます。
Copy	PlayList を他の PlayList 番号へ複製
Renumber	PlayList を他の PlayList 番号へ移動
Delete	PlayList の削除(SD カードの playxx.lst でも削除可能)

□PlayList の新規作成

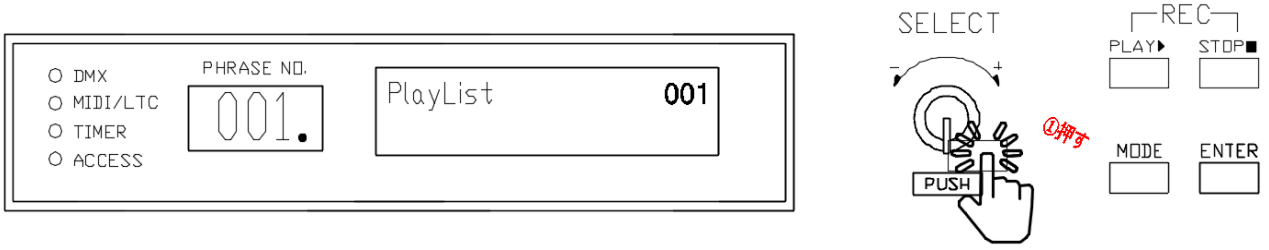
①UDMR2 を初期画面の状態にしてください。
※ほかの画面が出た場合、【MODE】ボタンを初期画面が出るまで押します。



②【MODE】を押して【Menu】の画面から【SELECT】を回し、【Play　List】を選択ください



③【SELECT】を押して次の画面に入り、作成したい Playlist の番号を【SELECT】を回して選択してください。

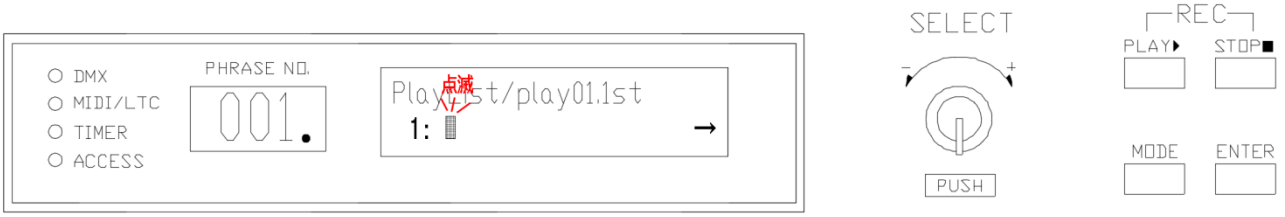


・通常【001】より作成されます。ここでは【001】を修正します。

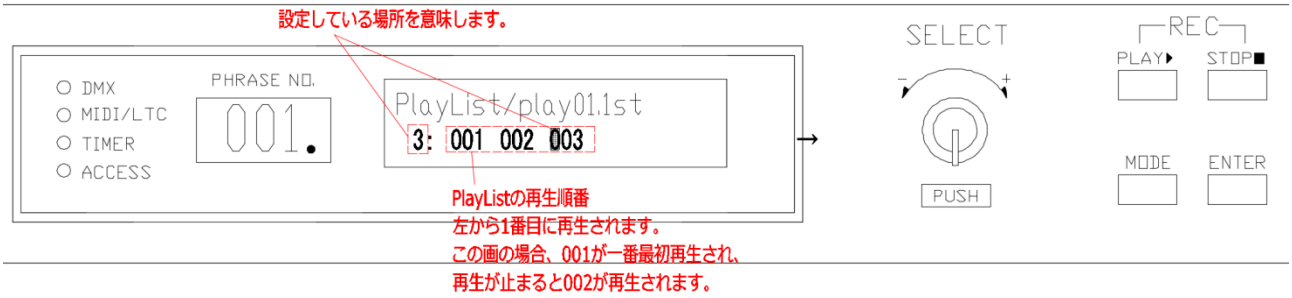
④【SELECT】を押すと次の画面に切り替わります。



⑤【SELECT】をもう一度押すと次の画面に切り替わります。



⑥【SELECT】をもう一度押して、ファイル選択設定画面に入ります。
⑦【SELECT】を回して File 番号を選んだ後、【SELECT】ボタンを押します。
・自動的に次の番号を選択する欄に移動します。【SELECT】を回して設定してください。



※最大 50 個設定可能です

⑧【ENTER】を押すと次の画面に切り替わります。

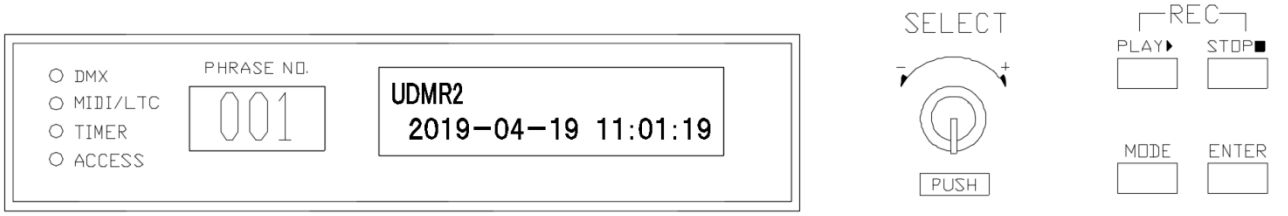


⑨もう一度【ENTER】を押すと設定完了となります。
・【ENTER】を押すと、画面に設定完了を意味する【OK、done!】が表示されます。



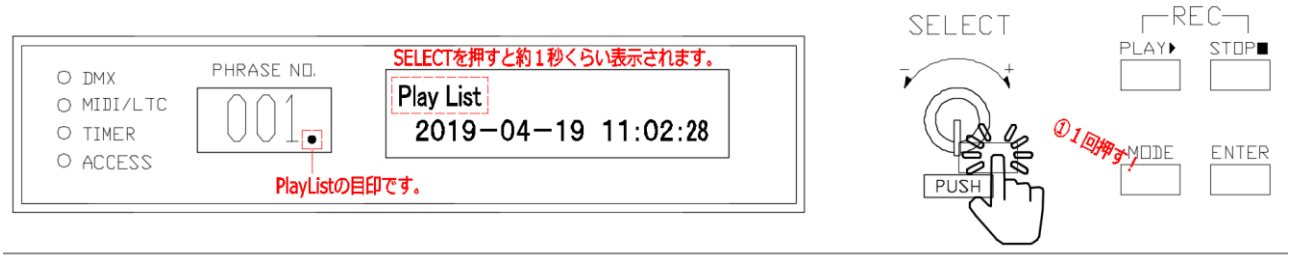
□PlayList 手動再生手順
・前項で設定した PlayList を手動で再生します。

①UDMR2 を初期画面状態にします。（電源入れ直し、あるいは【MODE】を数回押してください）



・現在の日付が表示されます。

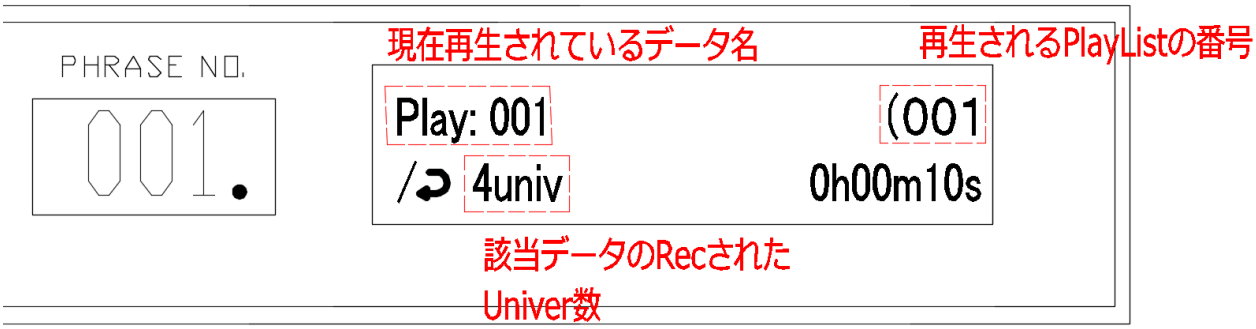
②【SELECT】ボタンを押して【PlayList】再生できる画面に切り替えます。



・上記イメージから下記のイメージに切り替わります。



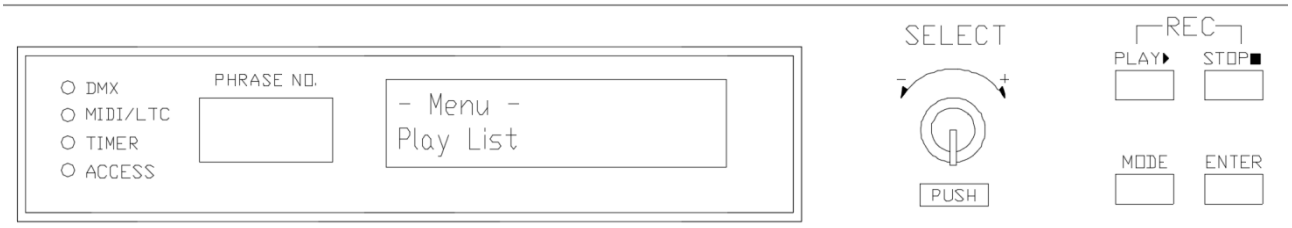
④【Play】ボタンを押すと再生されます。
・再生中 STOP は【STOP】ボタンを押してください。



<Play List 再生中の表示説明>

□PlayList の Repeat 設定

①【MODE】と【SELECT】ボタンを利用し【Play list】設定画面に入ります
・PlayList の設定画面に入る手順は前項をご参考ください。



②【SELECT】ボタンを押して設定画面に入ると次の画面に切り替わります。

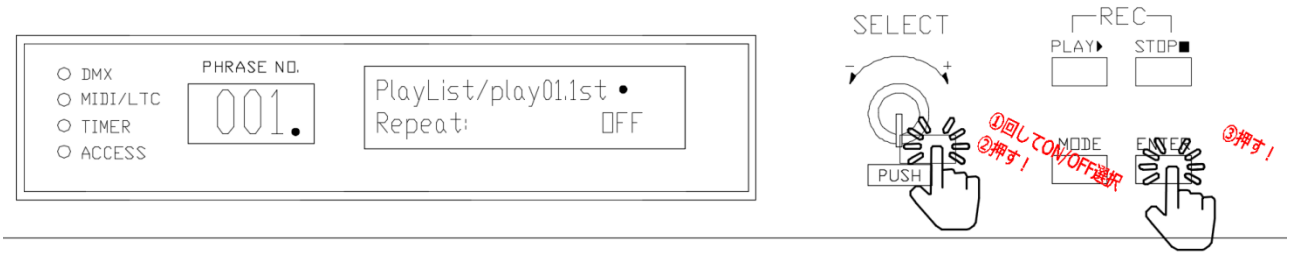


※各 User 様が事前に設定しておいた PlayList のデータ設定により、画面はことなります。
※上記イメージは PlayList001 に、001，003，006 データを設定しておいた画面となります。

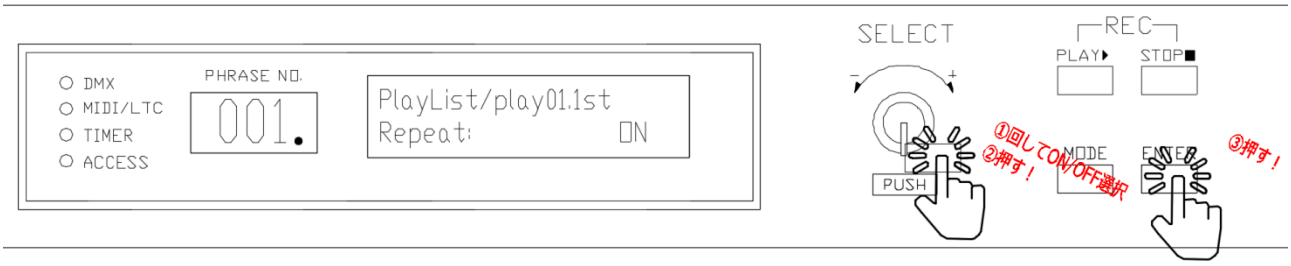
③【SELECT】を押して次の画面に切り替わることを確認します。



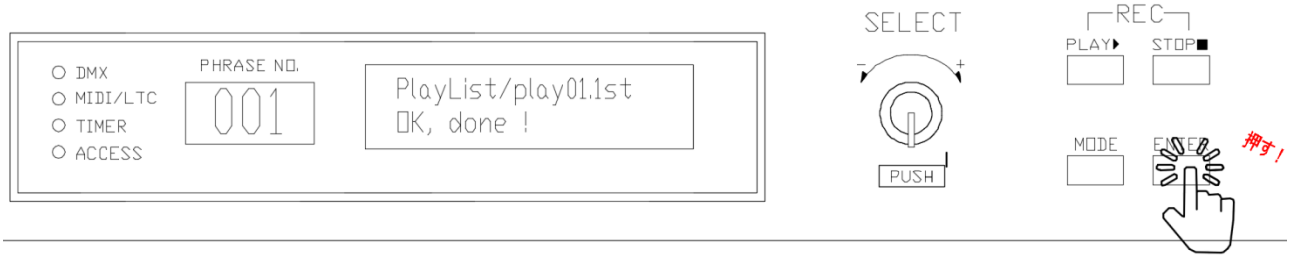
④【SELECT】を右に回し【Repeat】設定を【ON/OFF】選択した後、【SELECT】を押してから【ENTER】を押すと設定完了です。
※RepeatOFF の場合



※RepeatON の場合



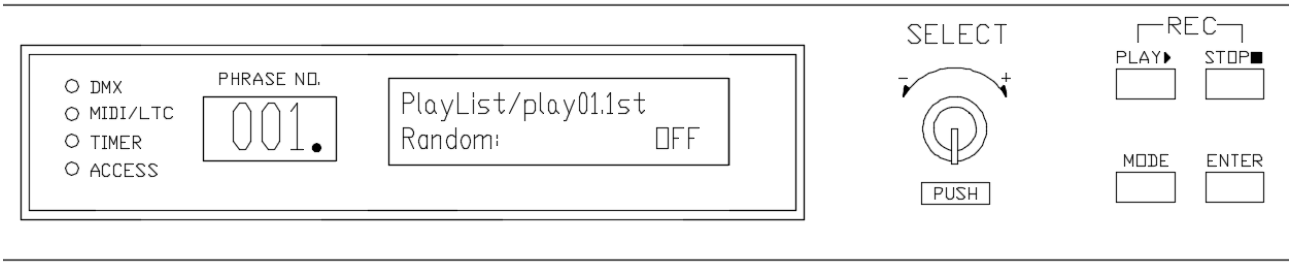
※設定完了画面(ENTER を押すと下記の画面が表示されます)



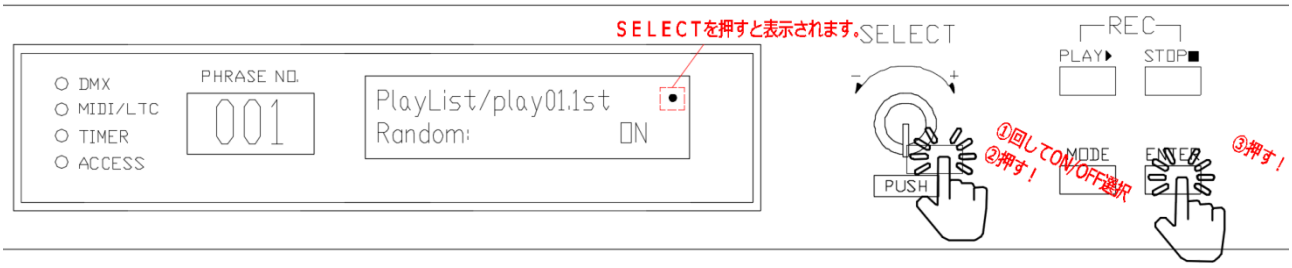
□PlayList の Random 設定
・前項で設定した PlayList の順番を無視し、Random にて再生する。

①PlayList の設定に入ってください。
※PlayList の設定に入る方法は前項(42page)をご参照ください

②【SELECT】を回し、Random 設定画面を選択します。
・初期設定は【OFF】です。



③【SELECT】を押した後、【SELECT】ボタンを回し、ON/OFF を切り替えてください。
【ON】の場合、【ON】に設定した後、【SELECT】を押して確定してください。
※確定されると、【Playlist/play01.1st】の後ろに【・】が表示されます。その後、【ENTER】を押してください。

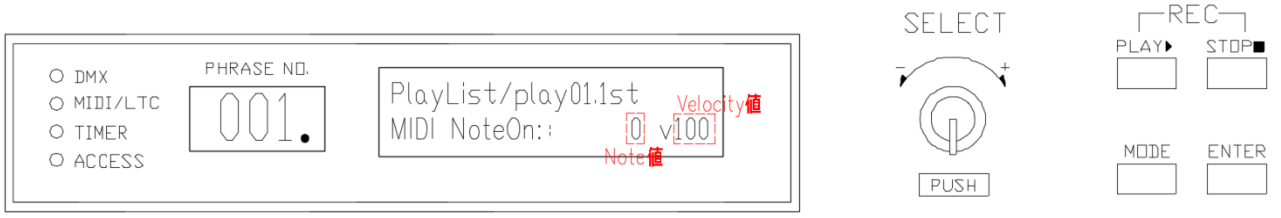


※設定完了画面(ENTER を押すと下記の画面が表示されます)

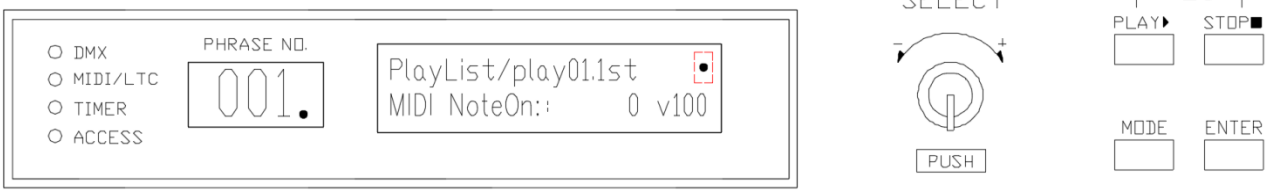


□PlayList の MIDI NoteOn 設定
・PlayList 再生する時、MIDINote 信号を出します。
※PlayList の設定に入る方法は前項(42page)をご参照ください
②【SELECT】を回し、MIDI NoteOn 設定画面を選択します。

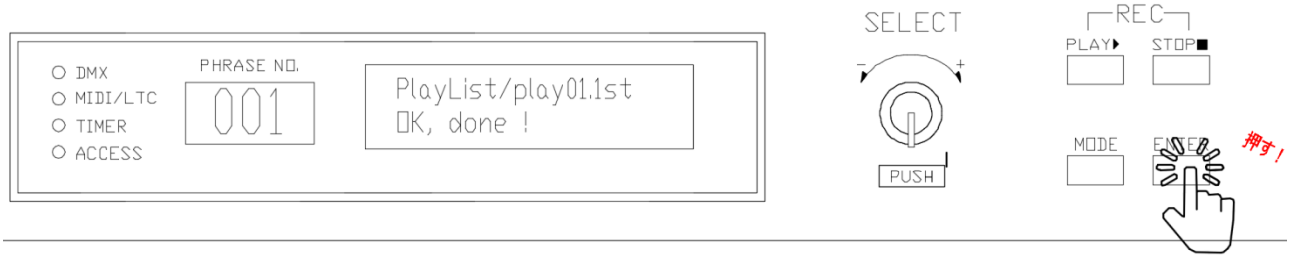
③【SECECT】を押して設定画面に入り【SELECT】を回して数値を変更し【SECLECT】を押して確定してください。



・確定したら次の画面のように【・】が表示されます。

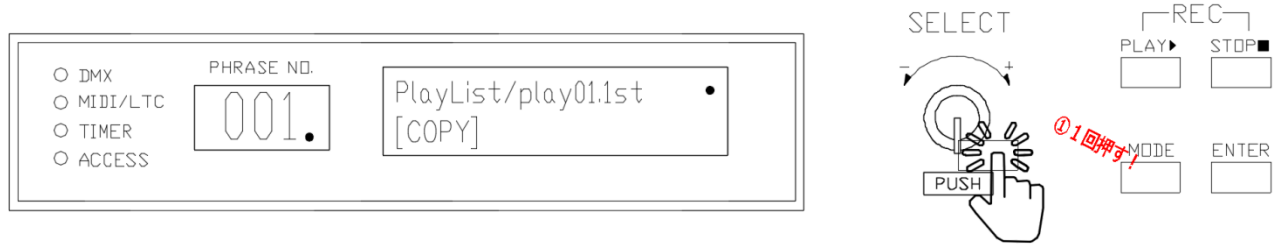


④【ENTER】を押して設定を完了します。
※設定完了画面(ENTER を押すと下記の画面が表示されます)

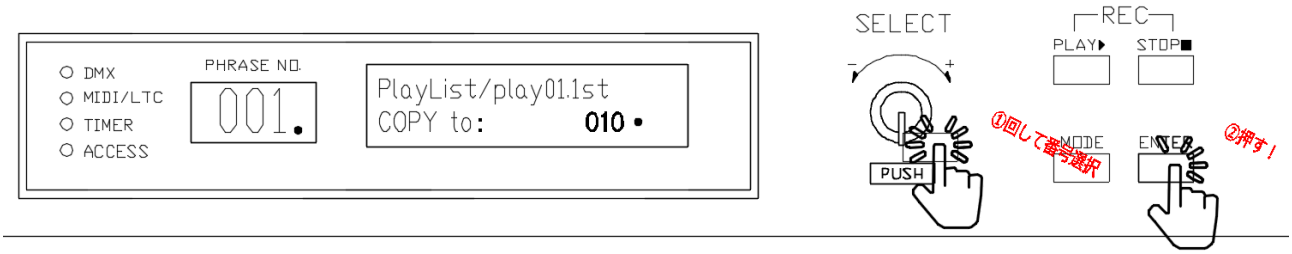


□PlayList の Copy
・PlayList をほかの PlayList 番号に Copy することができます。
※PlayList の設定に入る方法は前項をご参照ください

①次の画面で【SELECT】を押してください。



②次の画面で【SELECT】を回して COPY したい番号を選択した後、【ENTER】 を押します。

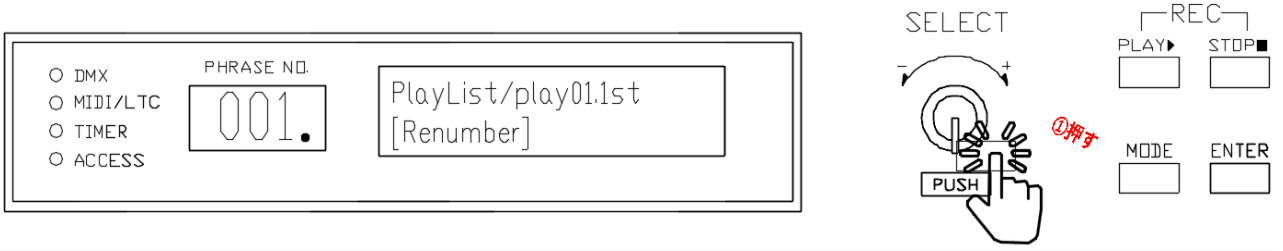


※完了したら次の画面に戻ります。

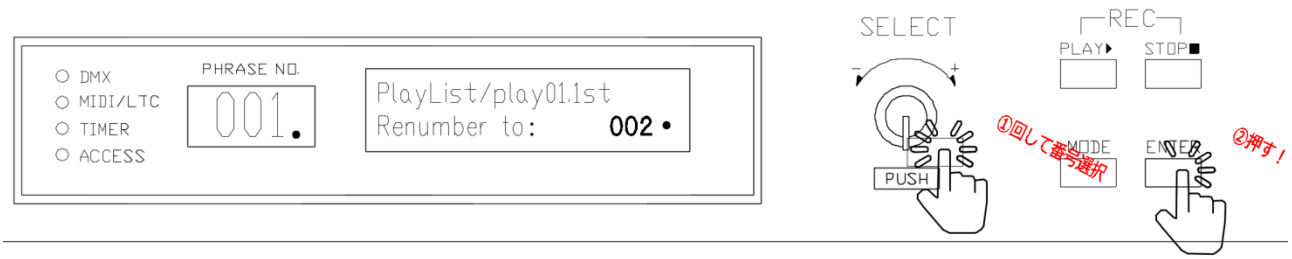


□PlayList の Renumber(Move)設定
・PlayList の再生番号を変更します。
・例)PlayList001 番号のデータを 002 で再生できるようにする場合、
・実行後、PlayList001 のデータはなくなります。
※PlayList の設定に入る方法は前項をご参照ください

①次の画面で【SELECT】を押してください。



②【SELECT】を回してデータを MOVE したい番号を選択し【ENTER】 を押してください。
・ここでは 002 に MOVE させます。



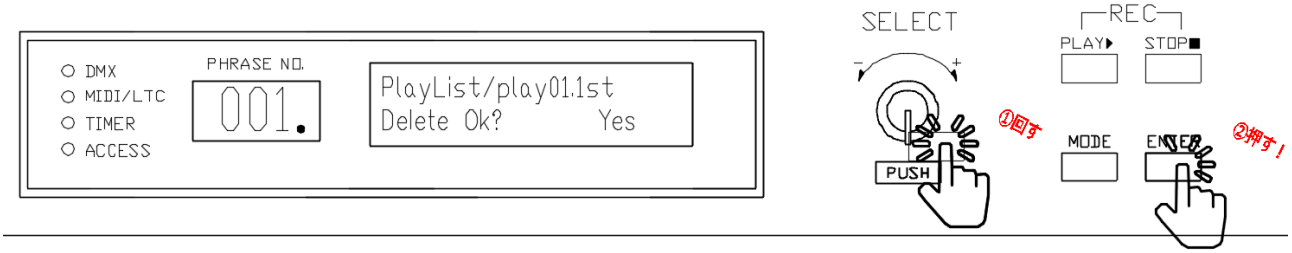
・設定が完了し PlayList の初期画面に戻ります。

□PlayList の[DELETE]設定
・選択した PlayList 番号のデータを削除します。
※削除後、復旧はできませんので、事前に Backup してください。
※PlayList の設定に入る方法は前項をご参照ください

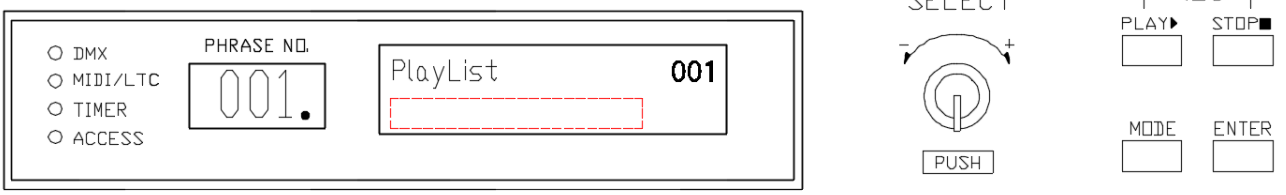
①次の画面で【SELECT】を押してください。



②Delete Ok?の画面で削除する場合、【SELECT】を回して【YES】を選択し【ENTER】を押します。



※削除後は PlayList の初期画面に戻ります。



・データが削除されました。

〈Scheduler 機能〉

・Scheduler は本体内蔵時計に同期し自動的に設定 DMX file あるいは PlayList を PLAY します。
本体内蔵時計は付属の GPS アンテナを接続による GPS を同期した高精度時刻を再現します。
最大 999 のスケジュール登録ができます。

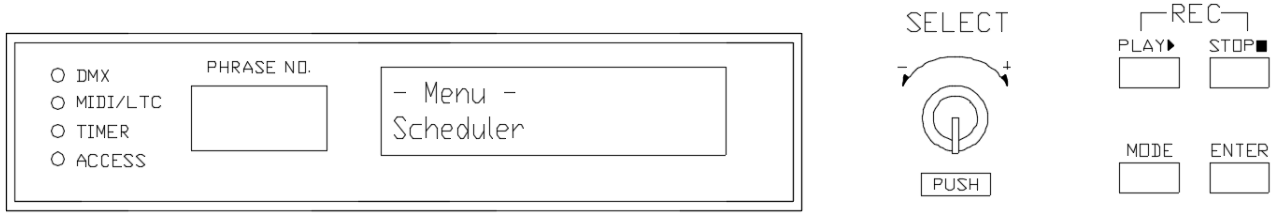
※本体設置箇所にて GPS を受信できない場合、オプションの WiFi 時刻補正ユニットの追加にて
本体の内蔵時計を WiFi 経由にて自動補正することができます。
・Wifi 時刻補正ユニットを使用するためにはインタネット回線が必要となります。

No	名称	機能
1	Scheduler	最大 999 個登録（001～999
2	年	毎年設定、指定：現在西暦以降～20 年間範囲にて設定可能
3	月	毎月設定、指定：1 月～12 月範囲にて設定可能
4	日	毎日設定、指定：1 日～31 日、Mo（月）～Su（日）設定可能
5	時間	毎時設定、指定：0～23 時、Dawn（明け方）、Sunrise（日の出）、Sunset（夕方）、Dusk（たそがれ）→→ （Group 設定の##から）
6	分	毎分設定、指定：00～59 設定可能
7	秒	00～59 設定可能
8	Priority	重複スケジュール発生時 Priority 設定が優先されます。 Normal（通常）、Low（低）、High（高） ※更に Priority 設定も重複の場合 Scheduler 番号若番が優先されます。

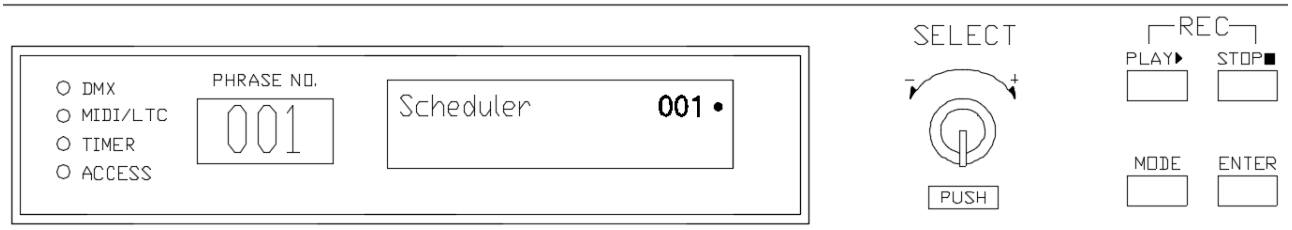
□Scheduler 機能設定手順

・PlayDMX データ及び PlayList を年間再生スケジューラで再生可能です。(999 個設定可能)

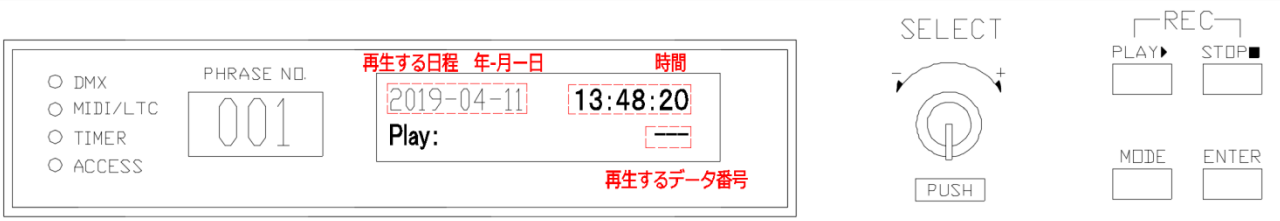
①初期画面から【MODE】を押して【SELECT】を回し【Menu】画面の【Schedule】を選択してください。



②【SELECT】を押して次の画面に入り、【SELECT】を回して修正したい Scheduler 番号を選択してください、
・ここでは 001 を修正します。



③上記の画面から【SELECT】ボタンを押すと次の番号に切り替わります。

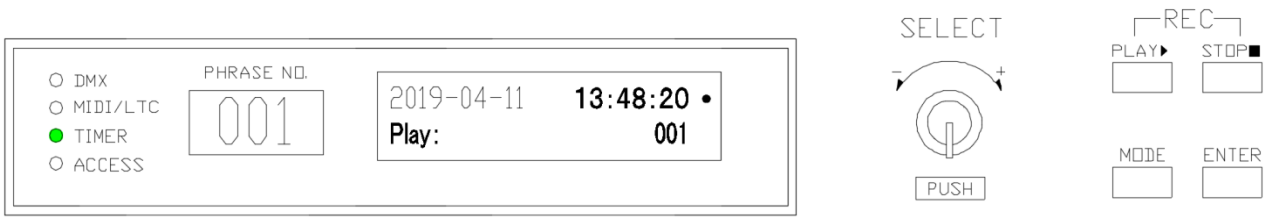


※再生するデータ番号は、【SELECT】を左右に回すことにより、【PlayLIST】にも切り替わります。

④【SELECT】ボタンを利用し(回し/押し)時間及び再生するデータの番号の設定を行います。
※各オプション
＊＊＊＊、GROUP、＊＊、Mo、Dawn、Sunrise、Sunset、Dusk、→→　の設定は
51Page をご参考ください。

⑤Play する番号及び Priority の設定が終わったら【SELECT】ボタンを押します。
・次の画面のようになります。

⑥その後、【ENTER】 を押すと設定完了です。(TIMER インジケーターが緑色で点灯します)

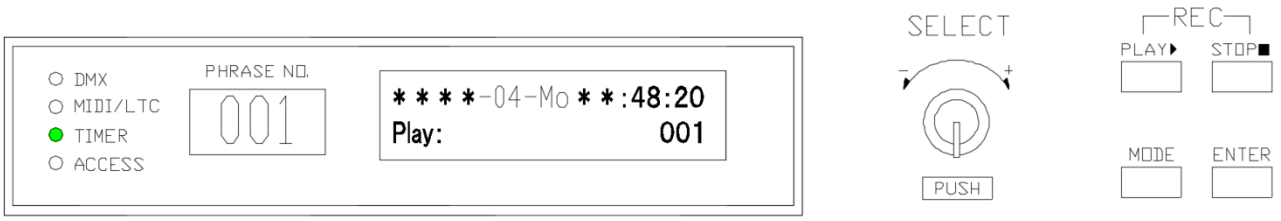


・上記設定の意味以下の通りです。
【2019 年 4 月 11 日 13 時 48 分：20 秒にデータ 001 番を再生する】

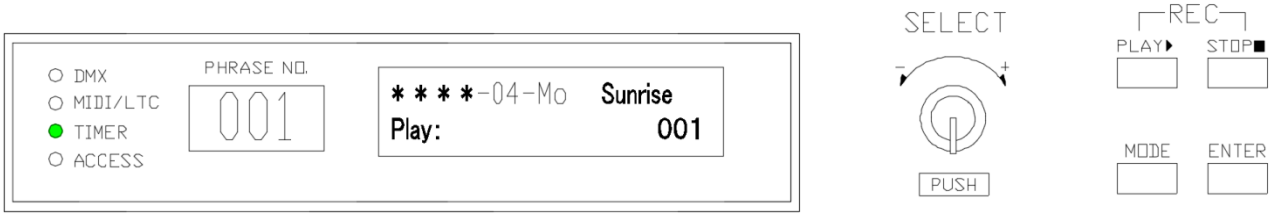
※スケジュール設定オプションの意味
・＊＊＊＊：毎年を意味します。(繰り返しを意味)
・＊＊：　毎月、毎日、毎日を意味します。(繰り返しを意味)
・Mo(月)、Tu(火)、We(水)、Th(木)、Fr(金)、Sa(土)、Su(日)：各曜日を意味します。
・GROUP：特定期間設定(特定時間のみ再生する機能です)
・Dawn(夜中)、Sunrise(日の出)、Sunset(夕方)、Dusk(黄昏)、
・→→　期間を設定するとき使用します。

※スケジュール設定の詳細説明(事例)

①毎年 4 月の月曜日、毎時間、48 分、20 秒に、DMX001 番データを再生します。



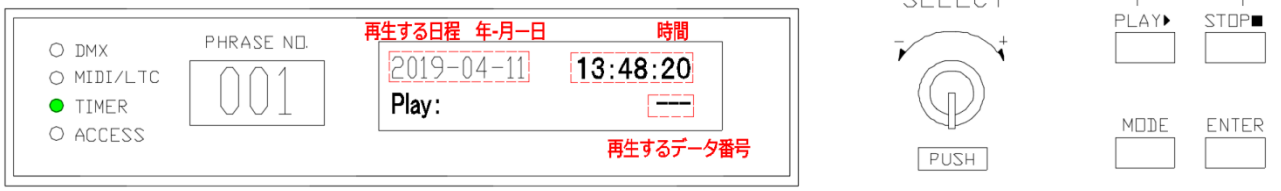
②毎年 4 月の月曜日の日の出に、DMX001 番データを再生します。



□Group 機能(期間限定再生)の設定

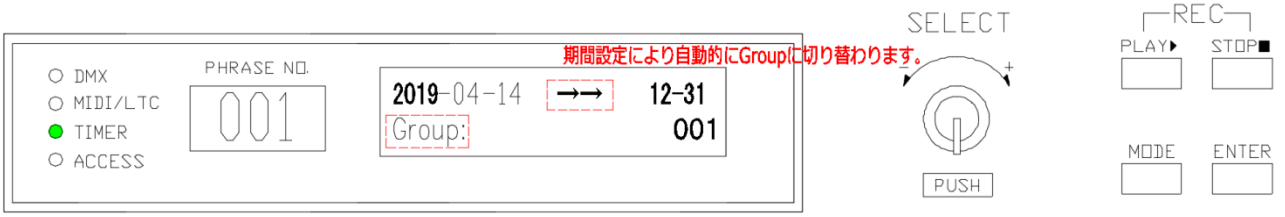
・Group 機能にて期間（何年何月何日～何年何月何日）設定に対する時刻設定が可能です。
・前項を参考し、次の設定に入ります。

①下記の画面から時間を設定する箇所で(下の場合 13)【ENTER】を数回押すと、期間設定の矢印【→→】が表示されます。



※再生するデータ番号は PlayList にも設定可能です(【SELECT】を利用します)。

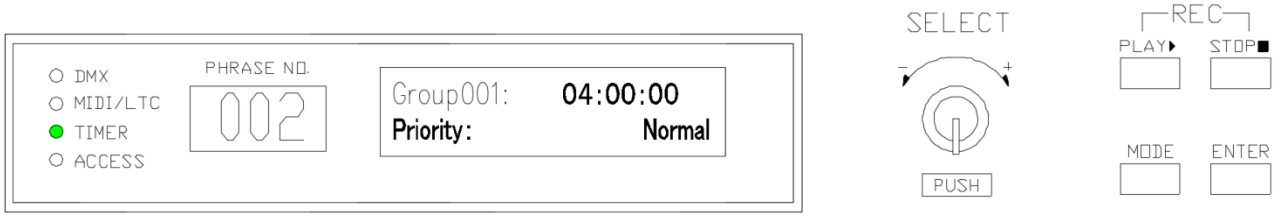
・【→→】が表示されてから下の Play が Group に切り替わります。



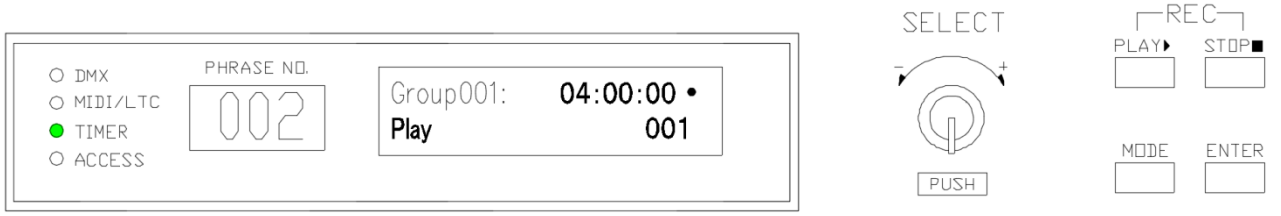
※注意
・年を超えた設定はできません。
例)2019-04-04　→→　2020-01-30　はできません。
　2019-04-04　→→　2019-12-31、
　2019-01-01　→→　2020-01-30 のように分けて設定してください。

②【SELECT】ボタンを利用し(回し/押し)時間及び再生する【GROUP】の番号設定を行います。
　設定終わったら【ENTER】を押します。
・ここでは 001 に設定します。
※期間設定を行う場合、必ず GROUP 設定を並行する必要があります。

③期間設定が終わったら Schedule の 002 番に【Group】の設定を行います。
・Group 設定は下記のイメージをご参考ください。
・Priority は High、Normal、Low があります。同じ時間に設定されている時には
　High＞Normal＞Low 順番に再生されます。(通常、Normal にて設定)
・普段、特別なイベントがある時に使用します。

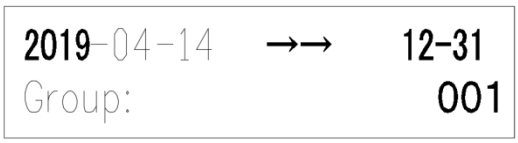


④すべての設定が完了されましたら、【SELECT】と【ENTER】を押して完了してください。
・終わったら次の画面のように表示されます。



・Group001 は、04 時 00 分 00 秒に DMX データ 001 番を再生します。

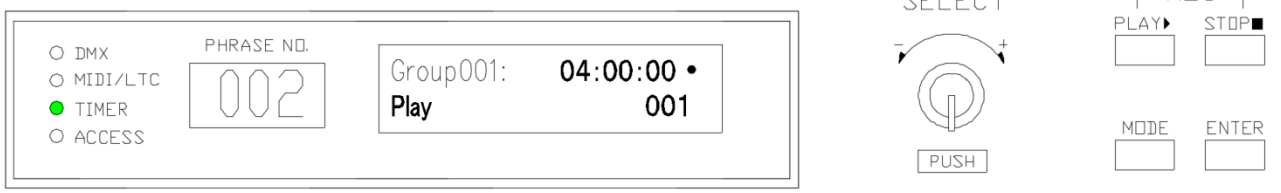
・前項目で次のイメージのように設定しましたので



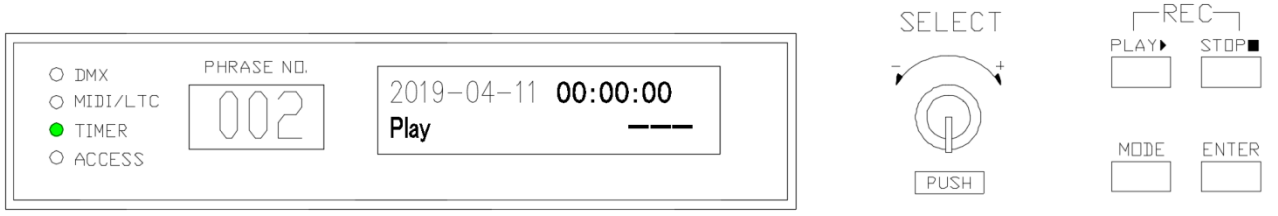
・2019 年 04 年 14 日から同年 2019 年 12 月 31 日の 04 時には Play001 が再生されます。

□Scheduler の削除
・設定されている Scheduler を削除します。
※削除完了後、復旧(キャンセル)はできませんのでご注意ください。

①事前に設定されたスケジュール画面に移動し削除したい PHRASE　NO.を選択してください。
・ここでは PHRASE NO.002 を削除します。

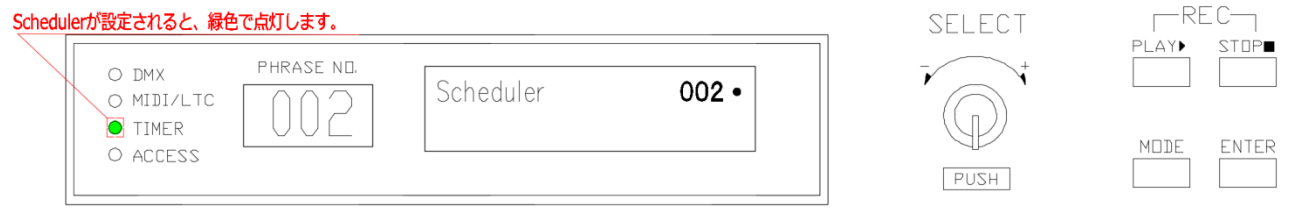


②【SELECT】を押して番号の選択が終わりましたら【STOP】を押します。
・削除されると次のように画面が切り替わります。



③そのまま【ENTER】を押したら完了となります。

※スケジュールが設定されたら、インジケーターの【TIMER】欄に緑いろが点灯します。

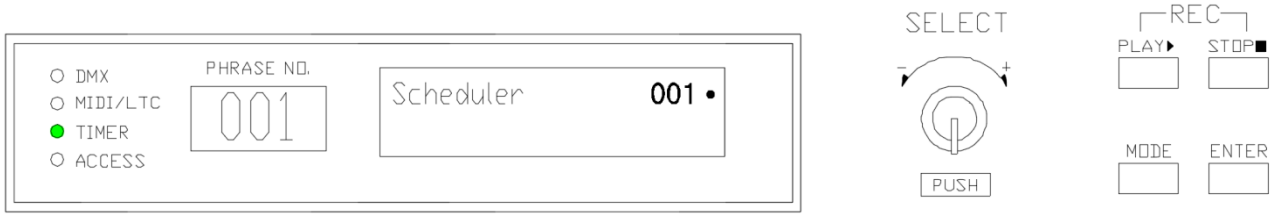


□Sort 機能

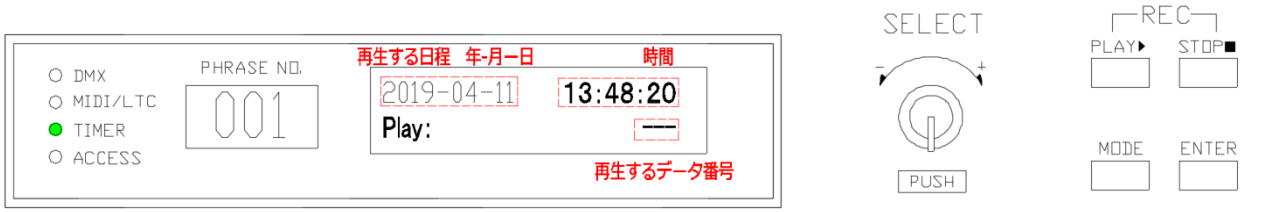
・登録項目の Group 順～年月日時分順に自動並び替えします。

・年月日時分はワイルドカード（＊＊）設定が先並びされます。

①【SCHEDULER】修正画面に移動します。

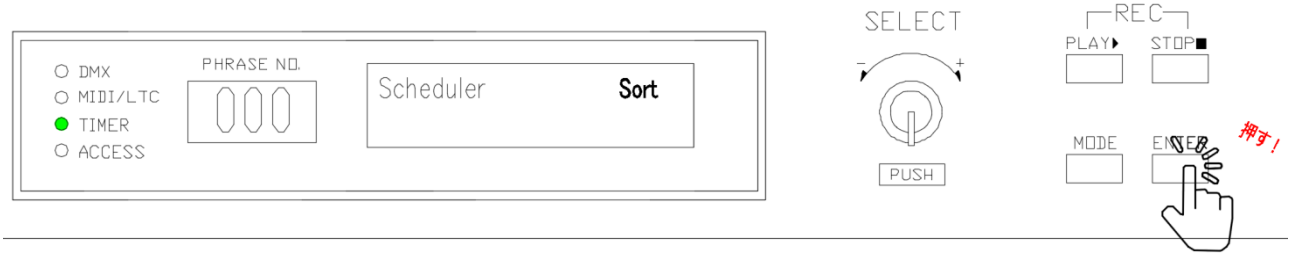


②【SELECT】を押して次の画面に入ります。



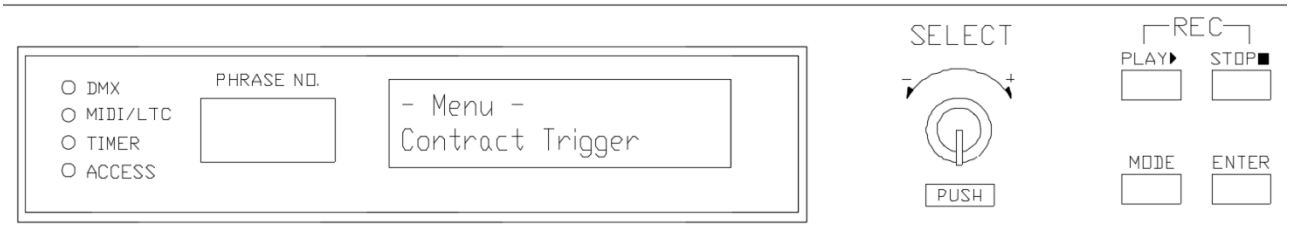
③【SELECT】を左方向へ回します。

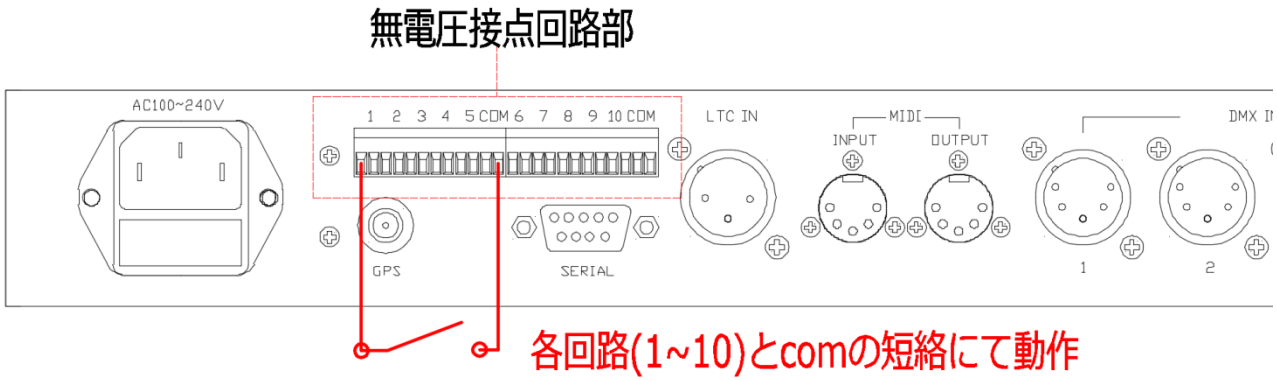
④次の画面で【SELECT】を押してください。



⑤PHRASE　NO.001 に画面が切り替わります。設定完了となります。

＜Contact Trigger＞
・本体と外部無電圧接点回路にて指定の DMX file あるいは PlayList を PLAY できます。
※注）
・接点回路は重複入力しないでください。回路個別に都度入力ください。正常に機能しません。
・本機能を使用するためには、【Triger config】設定の【Contact Trigger】が【ON】に設定する必要があります。（工場出荷時、ON）

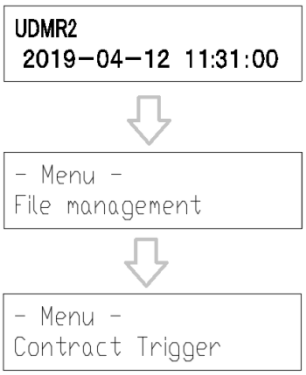




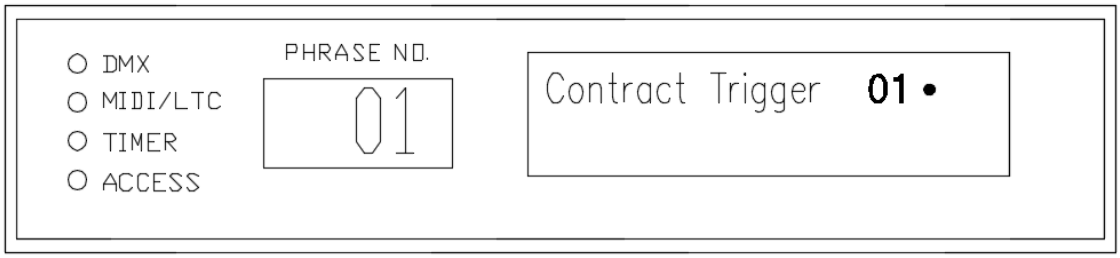
・Contact Trigger　接点入力回路　（01～10）の選択
・Play　接点入力回路（01～10）に対する PLAY 内容設定
DMX file 001～999、PlayList 001～999、STOP より設定

□Contact Trigger の設定手順

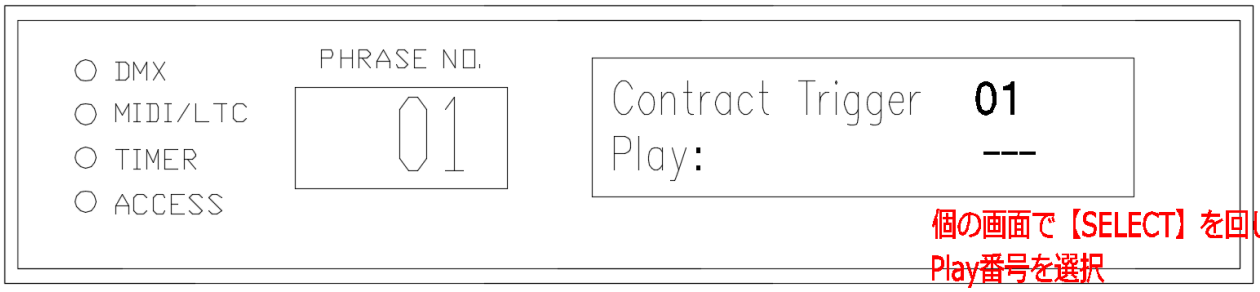
①初期画面で【MODE】を押して【-Menu-】画面に入り、【SELECT】を回し【Contact Trigger】を選択してください。



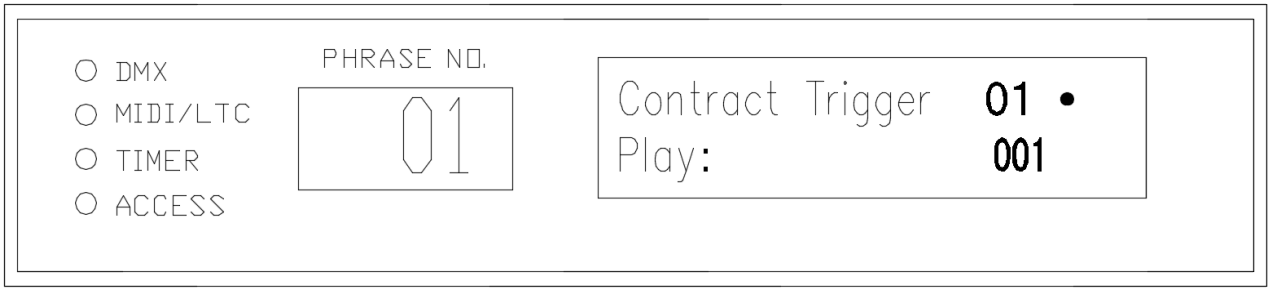
②【SELECT】を押して設定画面に入ると次の画面になります。



③【SELECT】をもう一度押し、【SELECT】ボタンを回して、Play の番号を選択してください。



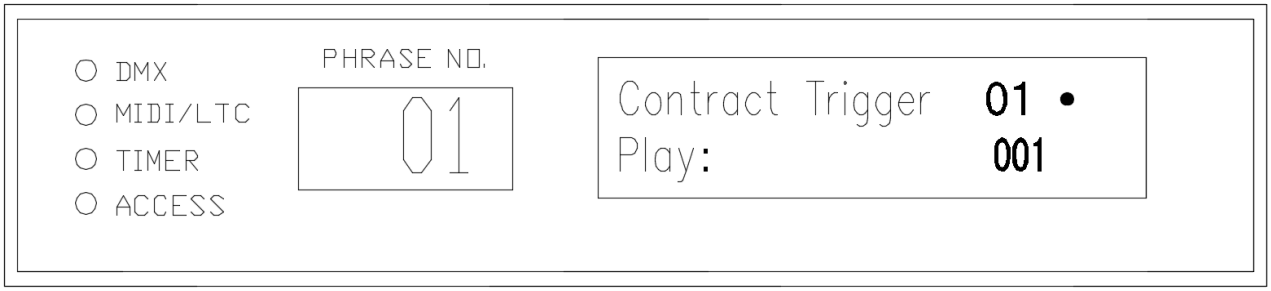
④選択が終わったら【SELECT】を押してから【ENTER】を押します。
・Contact Trigger　01 番で Play001 が再生されます。
・接点は信号を送るたびに受けます。再生中に更に接点信号を送ると、最初から再生されます。



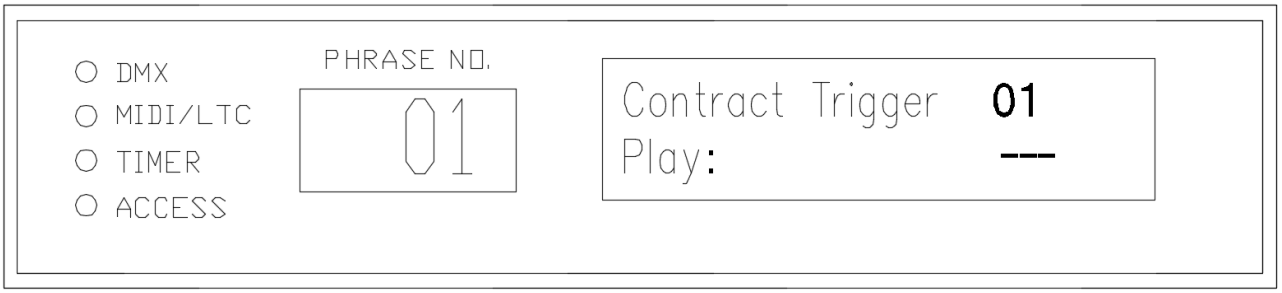
〈設定完了画面〉

□Contact Trigger の削除

①前項**【Contact Trigger の設定手順】**55Page を参考し、次の画面に入ります。



②SELECT を押した後、【STOP】ボタンを押すと、Play の番号が削除され次の画面になります。



③【ENTER】を押すと完了です。

＜DMX Trigger＞

・外部 DMX 信号の受信により設定した DMX file あるいは PlayList を PLAY できます。



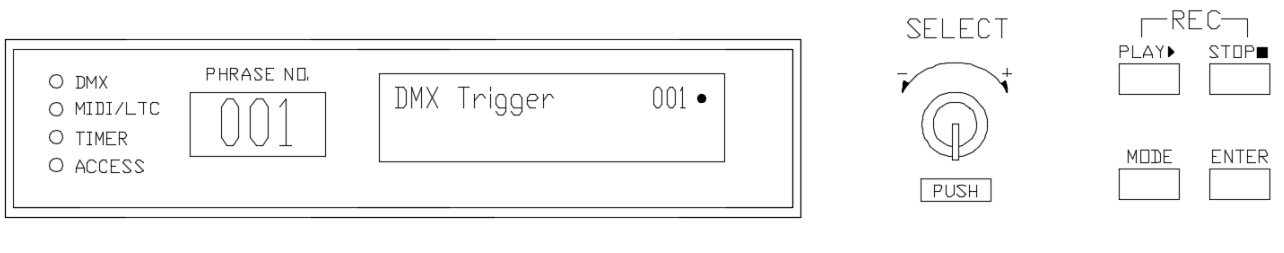
注）DMX 信号の入力順に PLAY が実行されます。
DMX 信号出力レベル 50%以上にて信号を認識します。
DMX file 再生中の同一信号の再入力時入力毎に DMXfile の最初から PLAY されます。
PlayList 再生中の同一信号の再入力時入力毎に PlayList の最初から PLAY されます。

DMX Trigger	DMX チャンネル （001～512）の選択
Play	DMX file 001～999、PlayList 001～999、STOP より設定

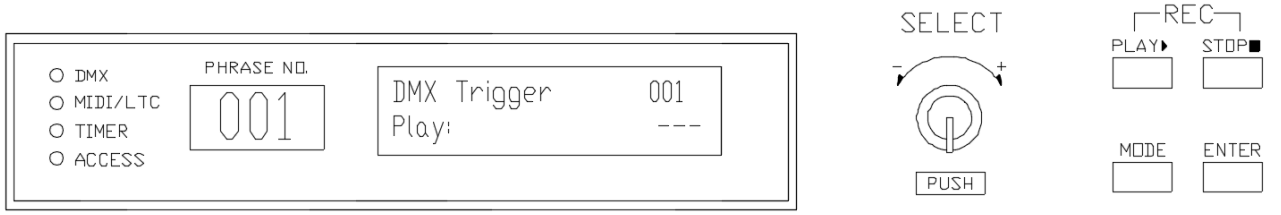
□DMX Trigger 設定手順

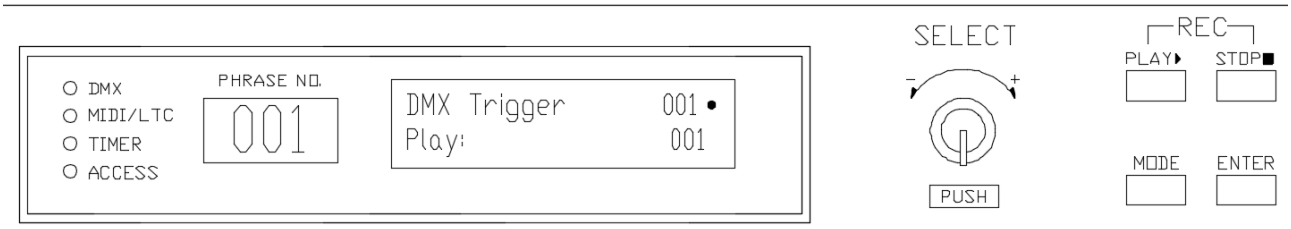
①初期画面で【MODE】押し【SELECT】を回して【DMX Trigger】→【SELECT】を押して次の画面に入ります。





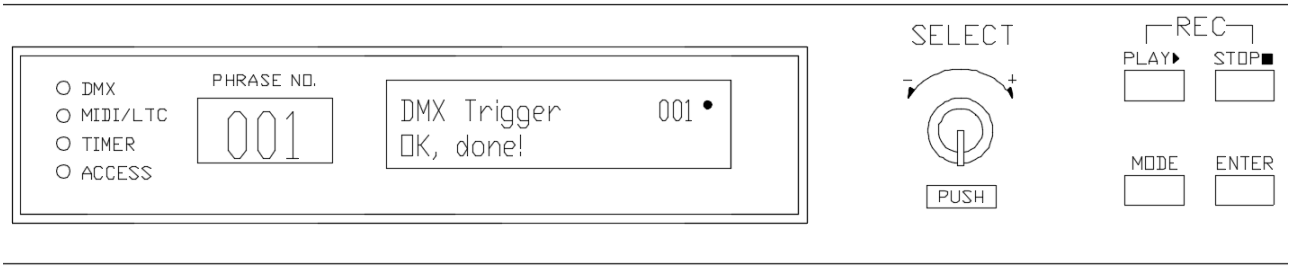
②【SELECT】を回し NoteOn Trigger 番号を選択した後、【SELECT】を押して DMX Trigger 番号を選択します。その後【SELECT】を押して Play 番号を【SELECT】を回し選択します。
・ここでは 001 を選択します





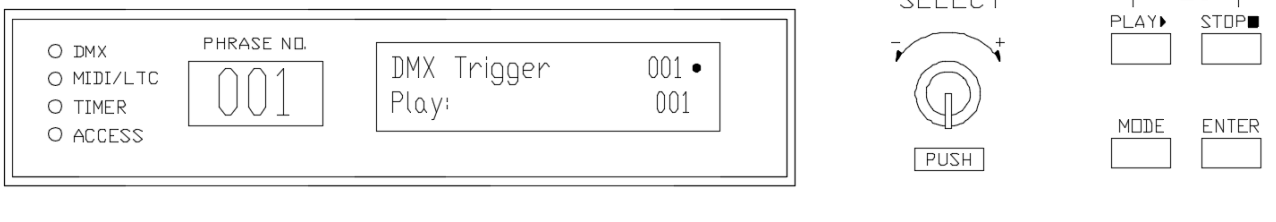
・ここでは 001 を選択します。

③【SELECT】を押して【ENTER】を押すと次の画面に切り替わり設定完了となります。

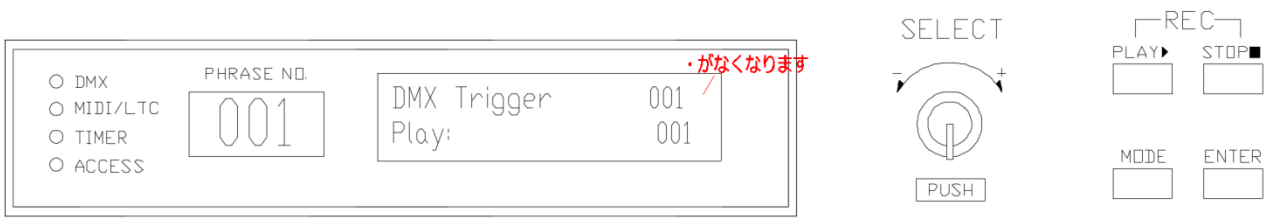


□設定の削除

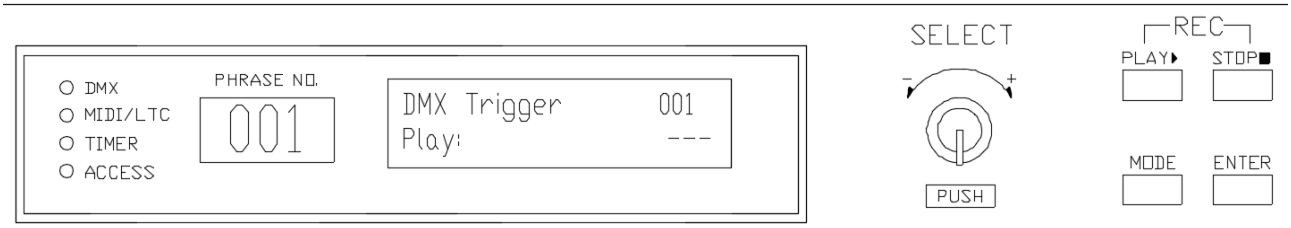
①前項を参考し、次の画面を選択します。



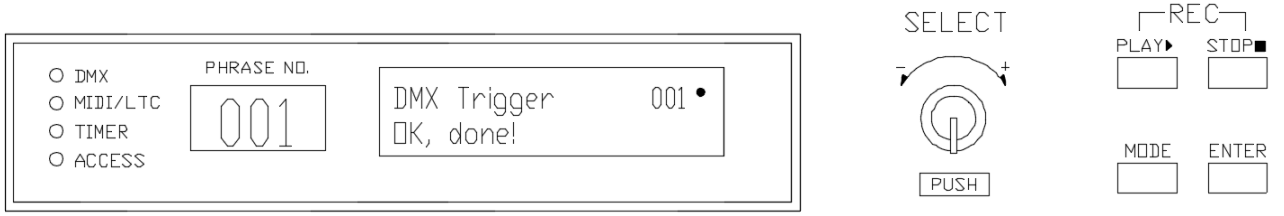
②【SELECT】を押すと、上段 001 の横の・が消えます。

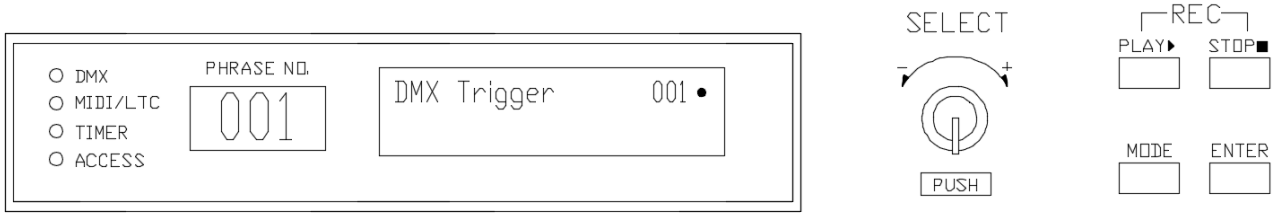


③その後【STOP】ボタンを押すと、次の画面に切り替わります。



④【SELECT】を押して【ENTER】を押すと、次の画面になり、削除完了となります。





〈削除完了後の画面〉

＜MIDI Trigger＞

・外部 MIDI Note 信号の受信により設定した DMX file あるいは PlayList を PLAY できます。

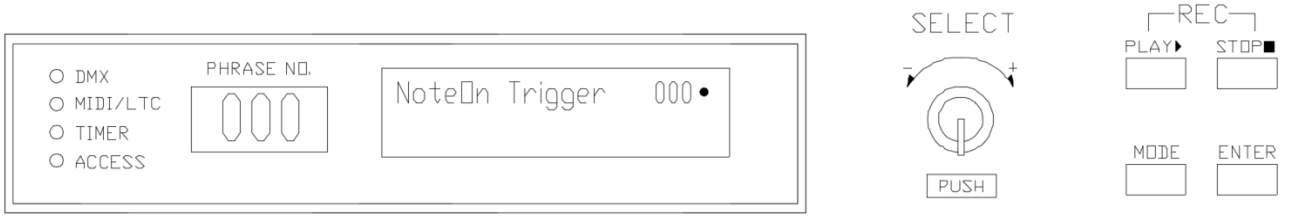


注）DMX file 再生中の同一信号の再入力時入力毎に Dmx File の最初から PLAY されます。
　　PlayList 再生中の同一信号の再入力時入力毎に PlayList の最初から PLAY されます。

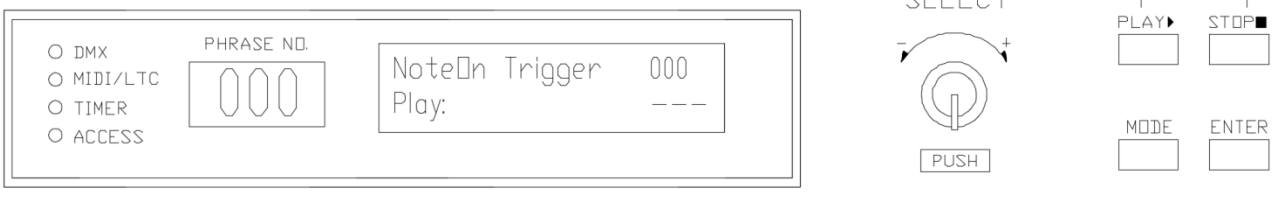
NoteOn Trigger　　MIDI Note 番号選定（000～127）
　　※ Velocity 値設定不要（0～127 いずれでも可）
Play　　DMX file 001～999、PlayList 001～999、STOP より設定

□MIDI Trigger 設定手順

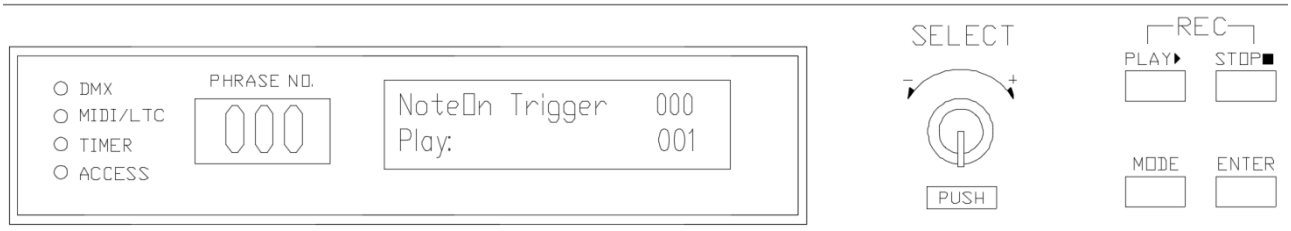
①初期画面で【MODE】押し【SELECT】を回して【MIDI Trigger】画面を選択し、【SELECT】を押し次の画面に入ります。



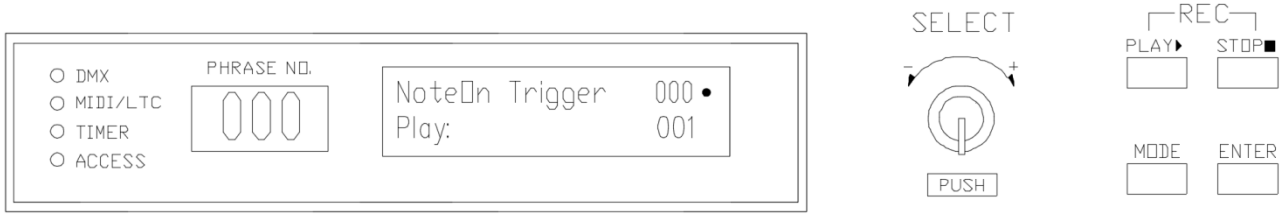
②【SELECT】を回し NoteOn Trigger No を選択した後、【SELECT】を押して次の画面で、【SELECT】を回し Play の DMXfile 番号を選択します。
・ここでは Trigger の番号 000 を選択します。



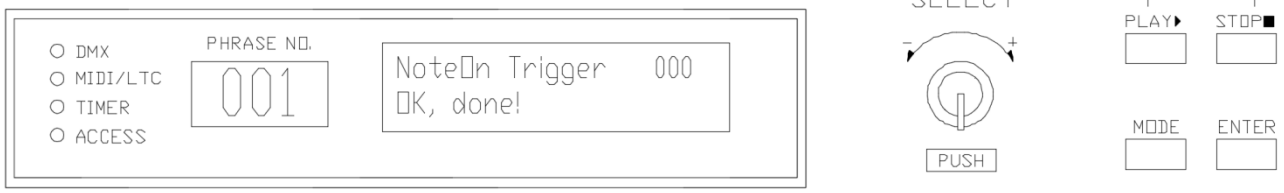
・ここでは Play DMX　File を 001 を選択します。



③【SELECT】を押して確定します。



④【ENTER】を終わると設定は完了となります。

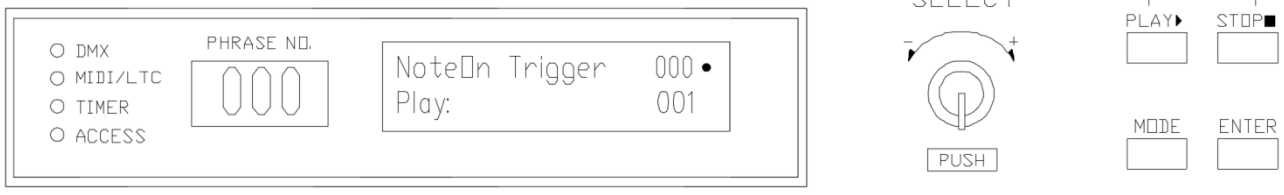


□MIDI Trigger 設定削除手順

①前項(61Page)を参考し次の MDI Trigger 初期設定画面を選択してください。

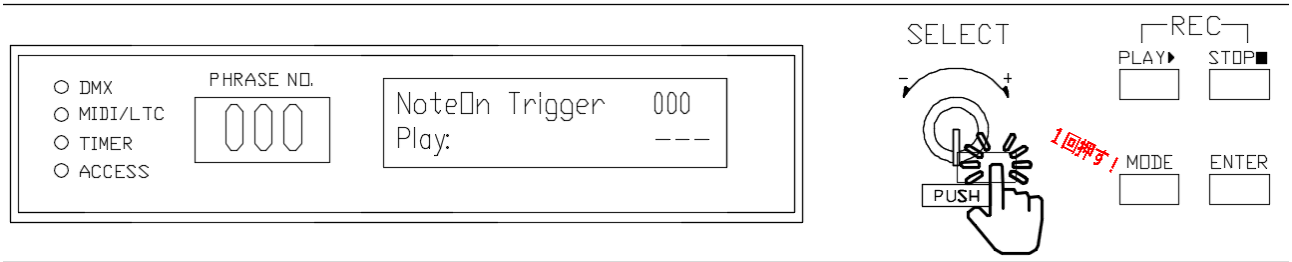


②【SELECT】を押して次の画面に切り替えます。

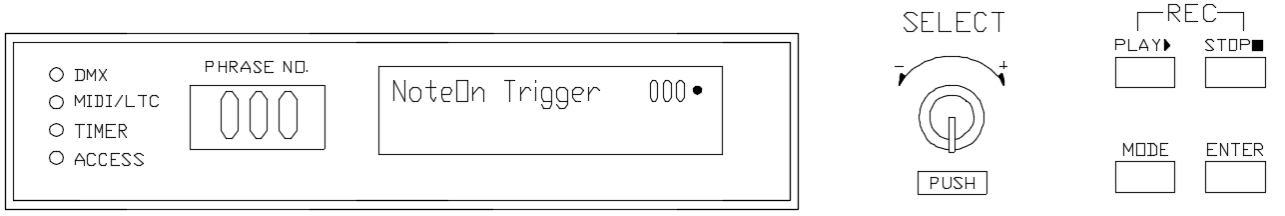


③【SELECT】を回し設定削除する番号を選択します。
・ここでは 000 番にします。

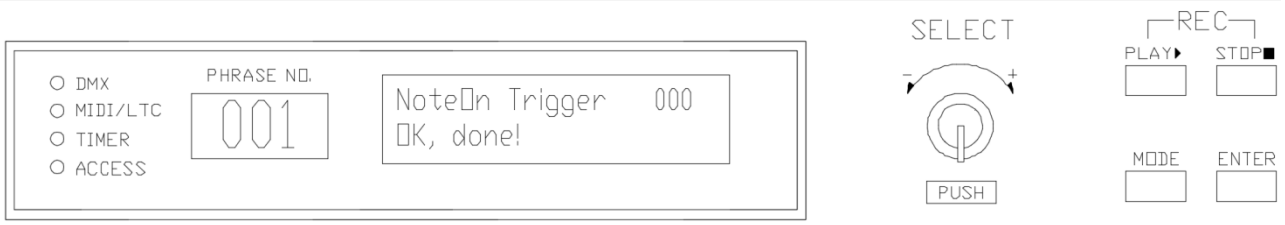
④その後、【STOP】ボタンを押すと次の画面に切り替わります。



⑤その後、【SELECT】を押すと次の画面に切り替わります。



⑥その後【ENTER】を押すと完了となります。



＜Time Code Trigger＞

・外部タイムコード信号（LTC あるいは MTC）の受信により DMX file を同期再生できます。

※Time Code Trigger に設定できる DMX file は記録の際に【for TimeCode】にて記録するが必要があります！【for TimeCode】にて記録されていない DMX file は設定できません。

※DMX file の長さ未満のタイミングで次の DMX file を Time Code Trigger へ登録しても次の DMX file は再生されません。DMX file の長さと Time Code Trigger 設定が重ならない様に注意願います。

TimeCode	00h00m00s00～59h59m59s29 より設定
Play	【for TimeCode】 にて記録した PHRASE NO にて自動登録（変更不可）
Asynchronous	
ON	タイムコード信号が停止後も再生し続ける設定
OFF	タイムコード信号停止にて再生が同期停止する設定

□外部タイムコードとの接続手順

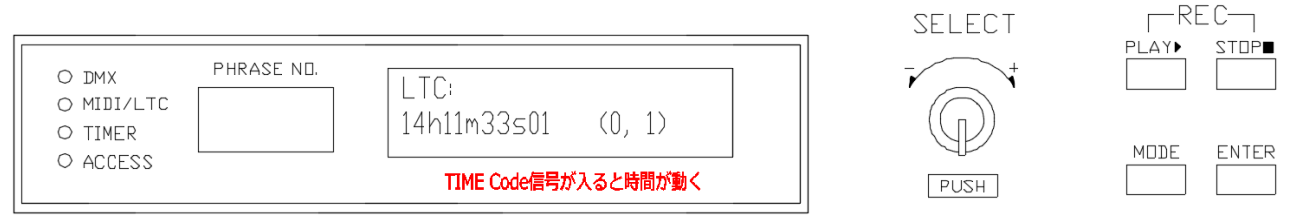
MTC の場合：
　　本体リアパネルの【MIDI IN】と接続

LTC の場合：
　　本体リアパネルの【LTC IN】と接続
　　※ XLR3P コネクタ（2 番ホット）にて接続

□タイムコード受信の確認

Time Code Trigger 機能使用前に外部タイムコード信号が本体で受信できているか？を確認できます。

1. 本体電源を OFF
2. 【SELECT】を押しながら本体電源 ON
   電源投入後数秒後【SELECT】から手を離してください
   【Button:】表示
3. 【SELECT】を回し【MTC】あるいは【LTC】を選択
   選択後、受信中の外部タイムコードが表示されます。
   表示されない場合は本体がタイムコード信号を受信できていません。



<TIMECode 信号 TEST 画面>

4. 確認が終了したら本体電源を OFF→ON（電源再投入）

□事前設定手順

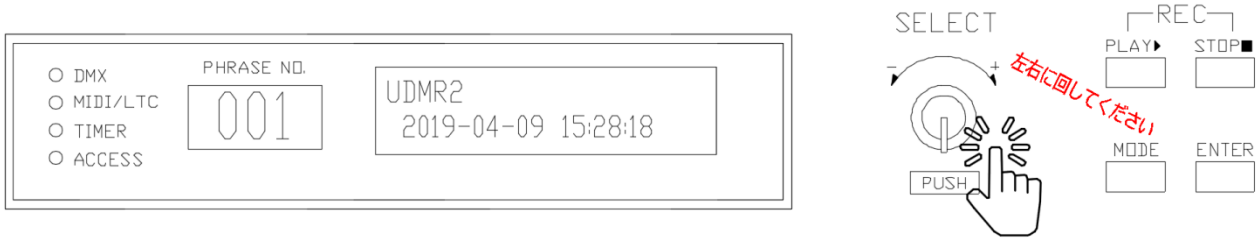
外部タイムコードの種類を選択します。（Advanced Config で修正）
※Advanced　Config 設定(Page)をご参考ください。
　24fps、25fps、29fps、30fps）より選択(初期設定は 30fps です。)

□TIMECODE 設定手順

①UDMR2 を初期画面の状態にしてください。
※ほかの画面が出た場合、【MODE】ボタンを初期画面が出るまで押します。



②【SELECT】を左右に回し、REC したい PHRASE　NO. を選択してください。

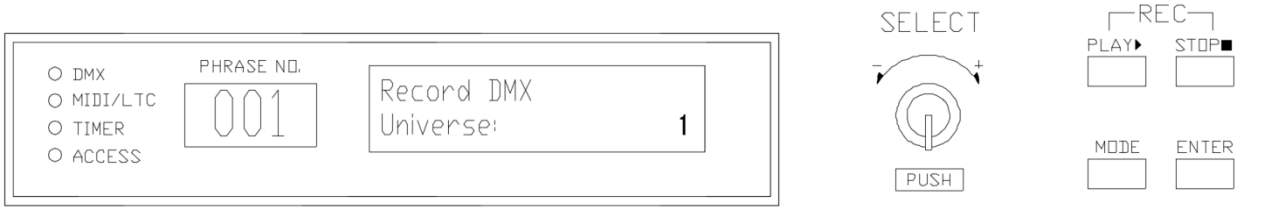


※マニュアルでは PHRASE　NO.　001 に REC します。

③【PLAY】と【STOP】を同時に押してください。



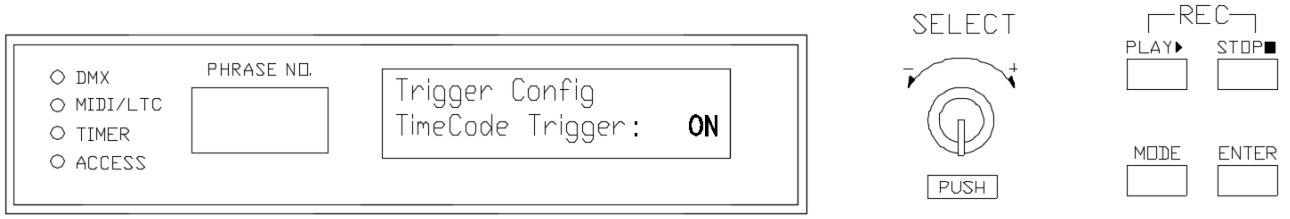
④液晶の画面が変わり、Universe 指定画面が表示されます。



・UDMR2 には UNIVERSE(DMX ポート)が 4 つあります。
・4 つの UNIVERSE を使用される場合、【SELECT】を回して、ポート数(1～4)をご選択ください。
※DMX ポート個別の記録はできません。(同時記録になります)
※1 つの DMX file には一度に必要な全ての DMX ポートを記録してください。

⑤REC したい Universe を選択(通常 4)し、【SELECT】を押すと次の画面になります。

⑥TimeCode で REC するため【SELECT】を回し【YES】を選択してください。



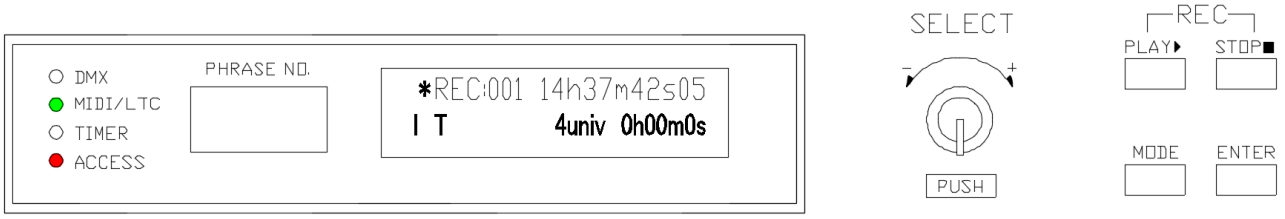
⑦TimeCode の時間を設定します。
　ここでは 14h38m00s00 に設定いたします。



⑧【SELECT】ボタンを押すと、次の画面に変わります。



⑧【PLAY】ボタンを押すと次の画面になり TIME コードが来るまで待機いたします。



※14h37m42s05 は現在時刻を意味します。前項⑦の設定時刻まで待機します。

⑨REC が終わってから（TIMECODE が切れてから)は初期画面に戻ります。

□再生手順

1. 外部より任意の MTC あるいは LTC を送信
2. 設定されたタイムコードの受信にて自動的任意の DMX file が同期再生されます。
　※DMX file の Delay time 設定はタイムコード同期再生時も有効となります。（0.01～9999.00）

＜Player Config＞

・DMX file 及び PlayList の PLAY 関連の各種機能設定



□Player Config 名称の意味

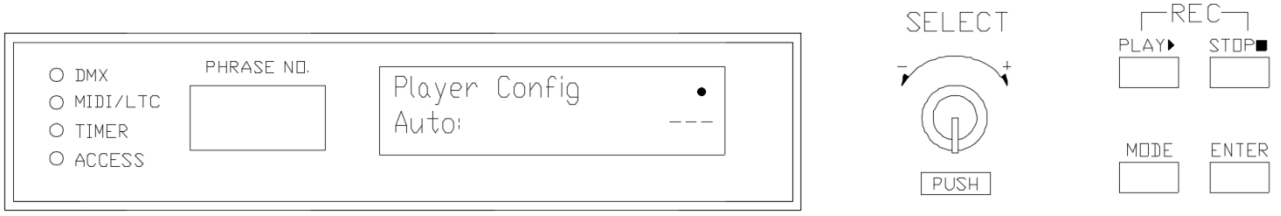
Auto	本体電源投入後自動 PLAY させる DMX file あるいは PlayList を設定
Auto Restart	①POWERONAuto 再生設定にていずれか PLAY された後、リーピート設定（ON、OFF）より設定 ②スケジュール再生時、外部信号 START 信号により再生された場合、再生完了後、元のシーンに自動復帰再生します。
Backup	外部 DMX 信号（例：照明卓）を UDMR2 本体の DMX IN～DMX OUT を経由し照明器具へ接続することで、外部 DMX 信号（例：照明卓）が途絶えた際、設定した DMX file あるいは PlayList が自動 PLAY されます。DMX file （001～999）、PlayList （001～999）より設定
Backup Time	外部 DMX 信号（例：照明卓）が途絶えてから何秒後に設定した DMX file あるいは PlayList を PLAY するかの設定（OFF、1～9999s）より設定
Xfade Time	Backup シーンの Xfade 時間を設定します。
In/Out	外部 DMX 信号の本体入出力処理設定 **①THROUGH** -DMX file 再生中外部からの DMX 信号は出力しません -DMX file 再生停止時、外部 DMX 信号を出力 ※Player Config 内 Xfade time 値にてクロスフェード出力 **②MIX** -DMX file 再生による DMX 信号と外部 DMX 信号混在の常時出力 -DMX チャンネル毎高出力レベル優先（HTP）出力
Port Duplicate	本体 DMX OUT 1～4 のクローン設定 例）DMX OUT 1 を 2 からも出力 DMX OUT 1 を 2 と 3 と 4 からも出力 ※初期設定（1234） 例）1134→DMX OUT 1 と 2 同出力、3、4 1111→DMX OUT 1 と 2 と 3 と 4 と同出力
Master Level	全体シーンのインテンシティ(明るさ)のレベルを調整します。(1~100%) ※個別設定はできません。
Xfade mask	Master Level 設定を無効にする DMX チャンネルの設定 DMX OUT ユニバースの選択（↓Univ:1～4）より設定 STOP ボタンにて Univ:1～4 より選択 設定 DMX チャンネルの選択（001～512）より選択 SELET ダイヤルを回し選択 Xfade time 有効、無効設定（o と・）より設定 SELECT ダイヤルを押し設定 ※ Xfade mask:（Qty ）の後の数値は無効設定数が表示

□AUTO 設定手順
・本体電源投入後自動 PLAY させる DMX file あるいは PlayList を設定

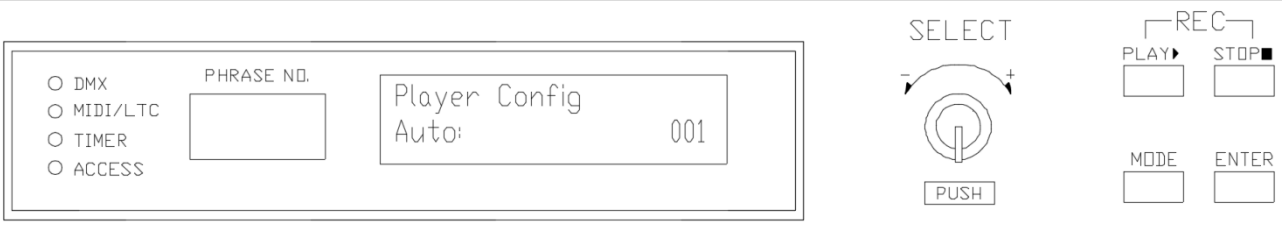
①初期画面で【MODE】押す。【SELECT】回し【Player Config】選択します。



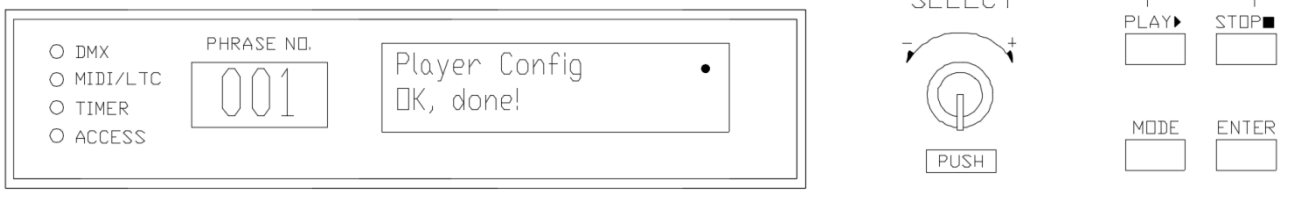
②【SELECT】を押して次の画面に入ります。
・初期画面は【---】です。



③【SELECT】を押した後、【SELECT】 を回し、パワーオン再生するシーンを選択します。
ここでは【001】を選択します。



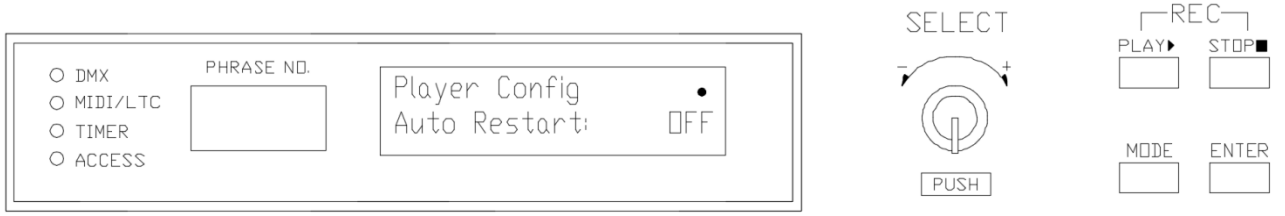
④【SELECT】を押して確定した後、【ENTER】を押すと次の画面に表示され設定は完了です。



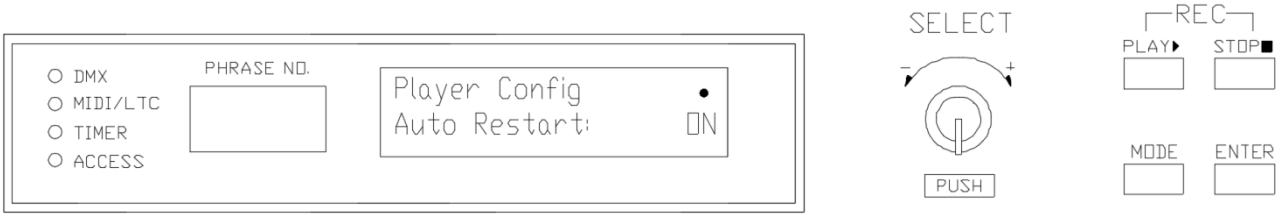
□AUTO Restart 設定手順

・パワーオン Auto 再生設定にていずれか PLAY された後、リーピート設定（ON、OFF）より設定
・スケジュール再生時、外部信号 START 信号により再生された場合、
再生完了後、元のシーンに自動復帰再生します。

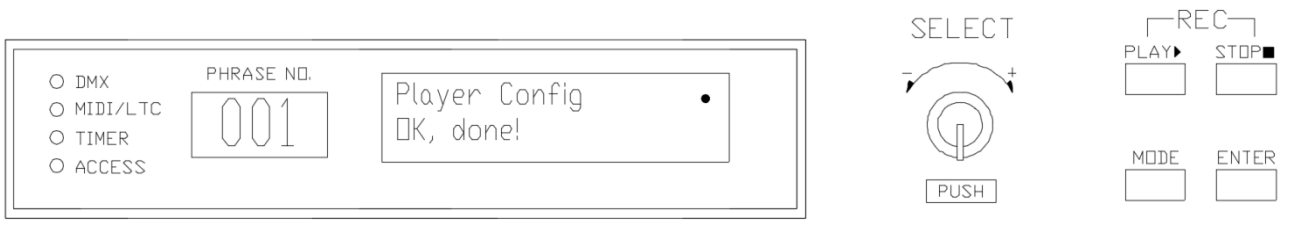
①次の Player Config の Auto Restart 設定画面で【SELECT】を押して選択画面に入ります。
・初期画面は【OFF】です。



②選択画面で【SELECT】を回し、次の画面のように、【ON】に切り替えます。その後【ENTER】ボタンを押して確定します。



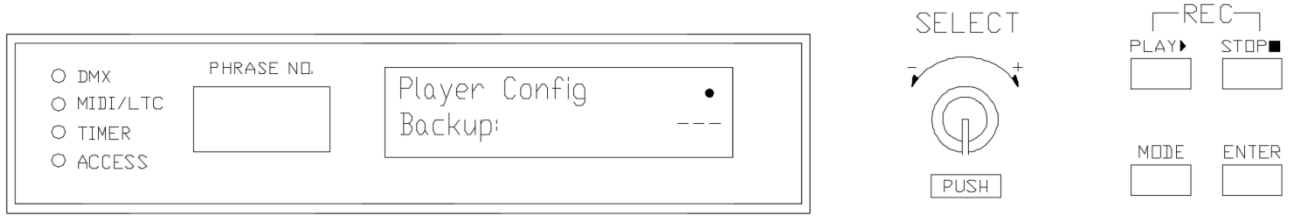
③次の画面のように【OK, done!】が表示され設定は完了となります。



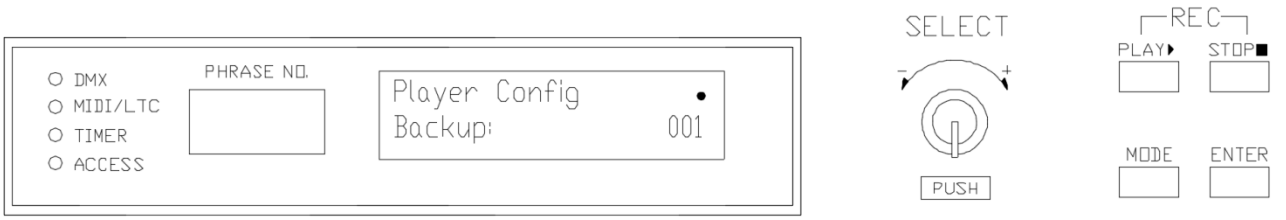
□Backup 設定手順

・外部 DMX 信号（例：照明卓）を UDMR2 本体の DMX IN～DMX OUT を経由し照明器具へ接続することで、外部 DMX 信号（例：照明卓）が途絶えた際、設定した DMX file あるいは PlayList が自動 PLAY されます。(DMX file （001～999）、PlayList （001～999）より設定)

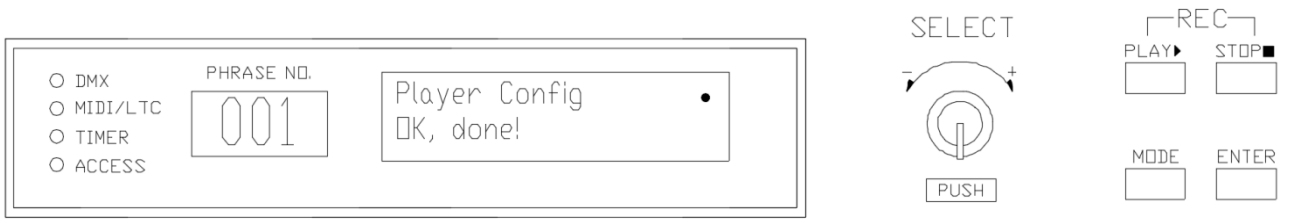
①次の Player Config の Backup 設定画面で【SELECT】を押して選択画面に入ります。
・初期画面は【---】です。



②【SELECT】を回して Backup 用で再生されるシーンを選択し、【SELECT】を押します。



③【ENTER】を押して確定すると、設定完了となります。

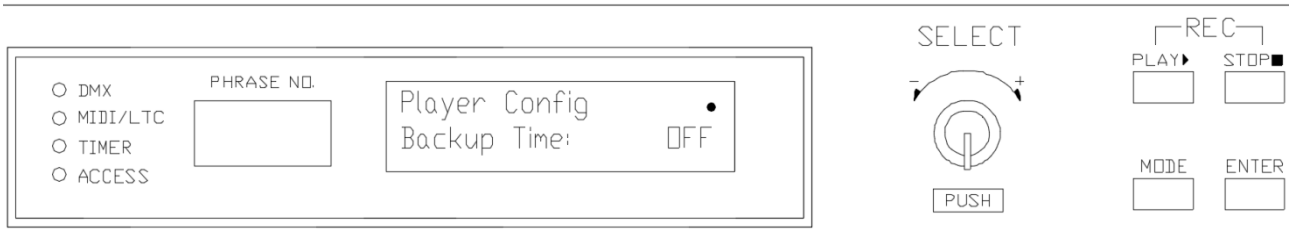


□BackupTime 設定手順

・外部 DMX 信号（例：照明卓）が途絶えてから何秒後に設定した DMX file あるいは PlayList を PLAY するかの設定。（OFF、1～9999s）より設定。

①次の Player Config の BackupTime 設定画面で【SELECT】を押して選択画面に入ります。

・初期画面は【OFF】です。



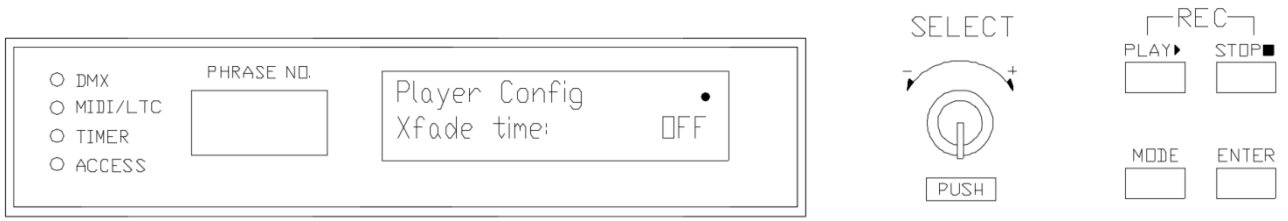
②【SELECT】を回し、秒を設定(1~9999ｓ)した後、【SELECT】を押して【ENTER】 を押して確定したら完了です。(ここでは 2 秒にします)

③2 秒での設定が終わったら次の画面に切り替わります。



□Xfade　Time の設定手順
・Backup シーンの Xfade 時間を設定します。

①次の Player Config の Xfadet　Time 設定画面で【SELECT】を押して選択画面に入ります。
・初期画面は【OFF】です。



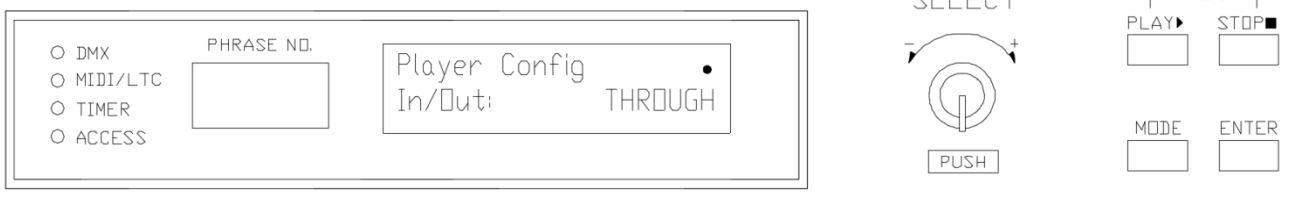
②【SELECT】を回し秒を選んで【SELECT】を押してください(0.1~999s)
　ここでは 5 秒にします。



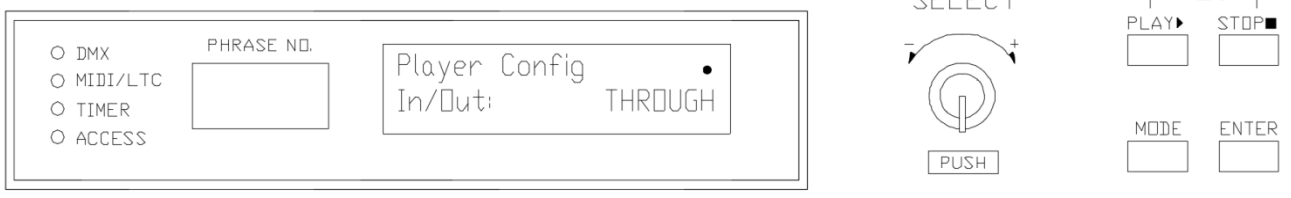
③その後【ENTER】を押して確定したら設定完了となります。

□In/Out の設定手順
・外部 DMX 信号の本体入出力処理設定

①次の Player Config の In/Out 設定画面で【SELECT】を押して選択画面に入ります。
・初期画面は【THROUGH】です。



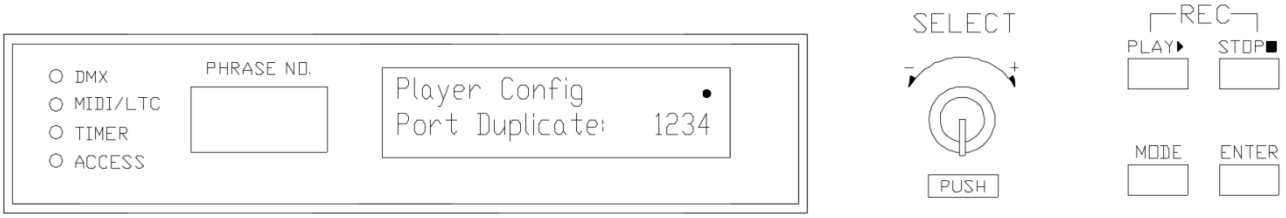
②【SELECT】を回し【THROUGH/MIX】を選択し、【SELECT】を押します。
　ここでは【THROUGH】にします。



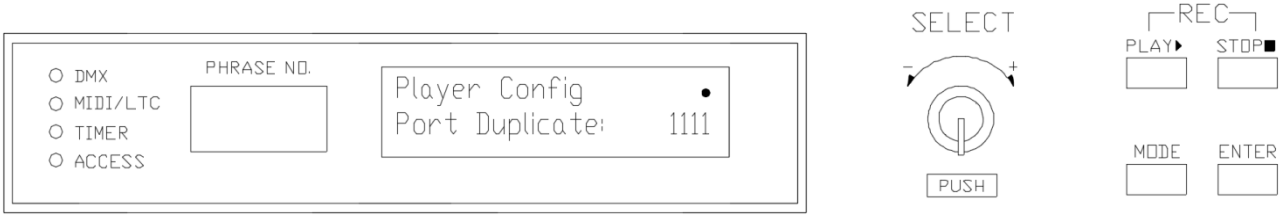
③【ENTER】ボタンを押して確定すると設定完了です。

□Port　Duplicate の設定手順
・本体 DMX OUT 1～4 のクローン設定

①次の Player Config の Port Duplicate 設定画面で【SELECT】を押して選択画面に入ります。
・初期画面は【1234】です。



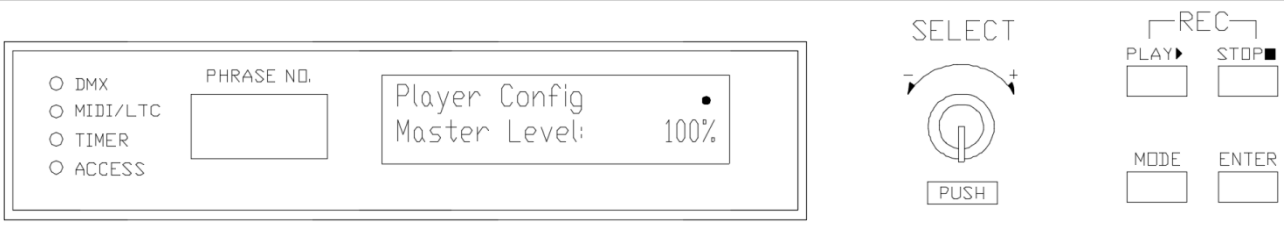
②【SELECT】を回して現場に合わせて設定した後【SELECT】を押します。
　ここでは【1111】にします。



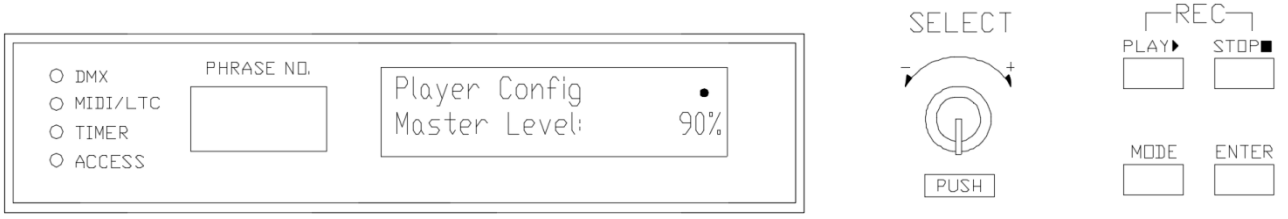
③【ENTER】を押して確定すると設定完了となります。

□Master Level 設定手順(全 FILE の FADE 機能)
・全体シーンのインテンシティ(明るさ)のレベルを調整します。(1~100%)

①次の Player Config の Master Level 設定画面で【SELECT】を押して選択画面に入ります。
・初期画面は【100%】です。



②【SELECT】を回して【%】を調整し【SELECT】を押します。
　ここでは 90%にします。



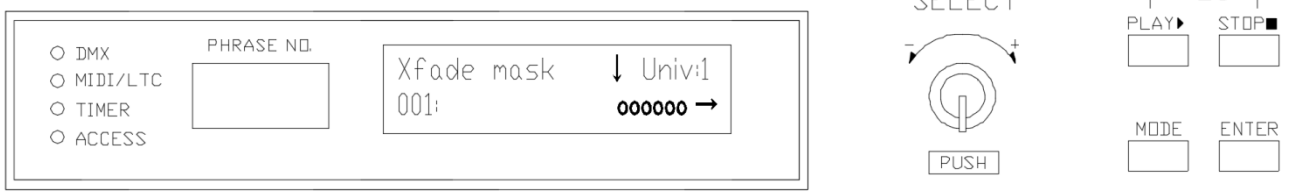
③【ENTER】を押して確定すると設定完了となります。

□Xfade mask 設定手順
・Master Level 設定を無効にする DMX チャンネルの設定
-DMX OUT ユニバースの選択（↓Univ:1～4）より設定
-STOP ボタンにて Univ:1～4 より選択
-Xfade time 有効、無効設定（o と・）より設定
※Xfade mask: (Qty　) の後の数値は無効設定数が表示

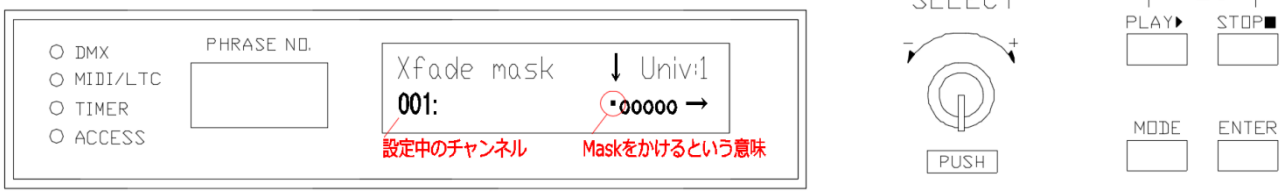
①次の Player Config の Xfade mask 設定画面で【SELECT】を押して選択画面に入ります。
・初期画面は【Qty　0】です。



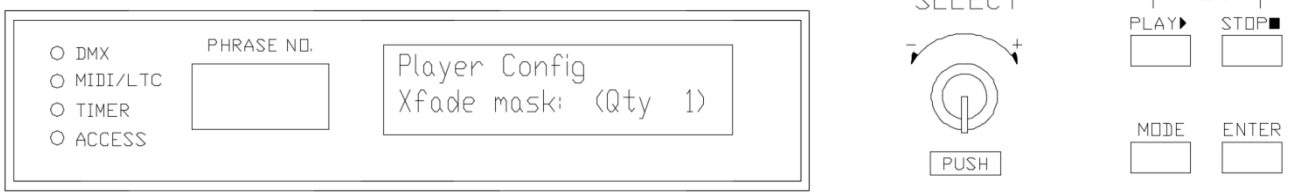
②次の画面で【SELECT】ボタンを押して設定した後【ENTER】を 2 回押すと設定完了となります。
博士



※設定例の画面



※設定完了後の画面



＜Trigger Config＞

・各種トリガー再生設定説明

・Scheduler　　Scheduler の有効、無効の設定（ON、OFF）
※ OFF にしても設定は残ります。

・Contact Trigger　外部無電圧接点信号機能の有効、無効の設定（ON,OFF）
※ OFF にしても設定は残ります。

・Contact Binary　外部無電圧接点信号受信動作の設定
（OFF、ON、DRCT）より設定
- OFF　　無電圧接点回路 （1～10） 1 対 1 に設定 DMXfile あるいは PlayList が PLAY します。

※ 無電圧接点回路（1～10）に対する DMX file あるいは PlayList の設定は P27 ＜Contact Trigger＞を参照ください。
※ 無電圧接点回路（1～10）＋ com 間の短絡にて機能します。

- ON　　無電圧接点回路（1～10）のバイナリ（2 進数）指定にて DMX file を指定 PLAY します。

※1. 無電圧接点回路（1～9）にて DMX file 番号をバイナリ指定
例）1=1+com、2=2+com、3=1+2+com、4=3+com
2. 無電圧接点回路 10+com 間の短絡にて指定 DMX file が PLAY
※PlayList は PLAY できません。DMX file のみとなります。
※ON 設定時 P55 ＜Contact Trigger＞設定は無効となります。

- DRCT　　無電圧接点回路（1～10）のバイナリ（2 進数）指定にて DMX file を指定 PLAY します。

※無電圧接点回路（1～9）にて DMX file 番号をバイナリ指定
例）1=1+com、2=2+com、3=1+2+com、4=3+com
※ 指定と同時に PLAY
※ ON 設定にて PlayList は PLAY できません。DMX file のみとなります。
※ ON 設定時 P55 ＜Contact Trigger＞設定は無効となります。

DMX Trigger　　外部 DMX 信号によるトリガー機能の有効、無効の設定（ON、OFF）
※ DMX Trigger については＜DMX Trigger＞を参照ください。
※ OFF にしても設定は残ります。

DMX Port　　DMX Trigger 機能にてトリガー入力 DMX IN の指定
（1～4）より選択
※ DMX Trigger については＜DMX Trigger＞を参照ください。

DMX Binary　　外部 dmx 信号のチャンネル番号 1-512 と DMX file1-512 リンク
※ ON 設定時 P28 ＜DMX Trigger＞設定は無効となりますが、
設定は残ります

MIDI Trigger　　MIDI Trigger の有効、無効の設定（ON, OFF）
※ OFF にしても設定は残ります。

MIDI Channel　　外部 MIDI 信号の MIDI Channel と設定を同一にしてください。

（1～15）より選択
※ 外部 MIDI 信号と MIDI Channel が違っていると UDMR2 は
外部 MIDI 信号関連機能が動作しません。

MIDI Binary　MIDI Trigger の設定を無効にし MIDI note 信号 0～127 に DMX file（001～128）に対応し PLAY されます。
※ MIDI Binary 設定（ON）後も MIDI Trigger 設定は残り、MIDI Binary 設定（OFF）により再度 MIDI Trigger 設定が有効となります。
※ MIDI Program Change 信号により PLAY される DMX file レンジを 100 単位で変更できます。
Program Change　0→MIDI note 0～127→DMX file 001～128
Program Change 11→MIDI note 0～127→DMX file 101～228
Program Change 12→MIDI note 0～127→DMX file 201～328
Program Change 13→MIDI note 0～127→DMX file 301～428
Program Change 14→MIDI note 0～127→DMX file 401～528
Program Change 15→MIDI note 0～127→DMX file 501～628
Program Change 16→MIDI note 0～127→DMX file 601～728
Program Change 17→MIDI note 0～127→DMX file 701～828
Program Change 18→MIDI note 0～127→DMX file 801～928
Program Change 19→MIDI note 0～　98→DMX file 901～999
※ MIDI Binary では PlayList を PLAY できません。

MIDI Note out　DMX file 毎の MIDI NoteOn 設定を無効として全ての DMX file 番号 001～128 の PLAY にて MIDI Note 信号が出力されます。変更できません。
※MIDI Note 0～127＋Velocity 100（固定値）にて出力されます。
（AUTO、MAN）より設定
AUTO　DMX file 毎の MIDI NoteOn 設定を無効として全ての DMX file 番号 001～128 の PLAY にて MIDI Note 信号が出力されます。変更できません。
MAN　DMX file 毎設定の MIDI NoteOn 設定が有効となります。
※ AUTO 設定から MAN 設定に戻しても MIDI NoteOn 設定は残ります。

TimeCode Trigger　TimeCode Trigger の有効、無効の設定（ON, OFF）
※ OFF にしても設定は残ります。

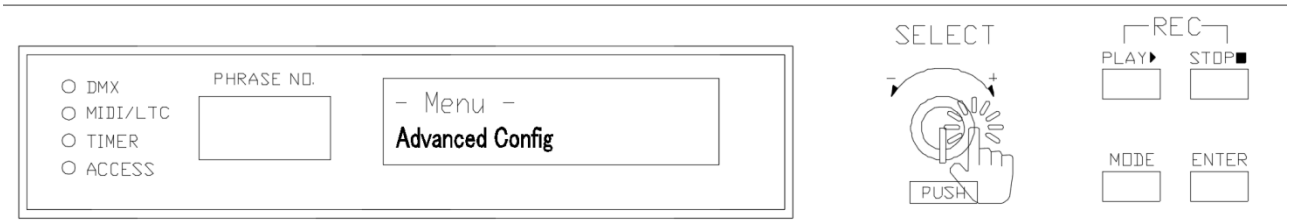
Serial status　本体 SERIAL ポートから外部機器へ本体の実行状態を RS232 コマンドで出力します。
ON　Serial status 機能 ON
OFF　Serial status 機能 OFF
※ 本体の Serial ポートの設定は＜Avanced Config＞を参照ください。

Inhibit　再生中に別の接点や他のトリガーがあっても無視します。

＜Advanced Config＞
・各種基本設定を変更いたします。

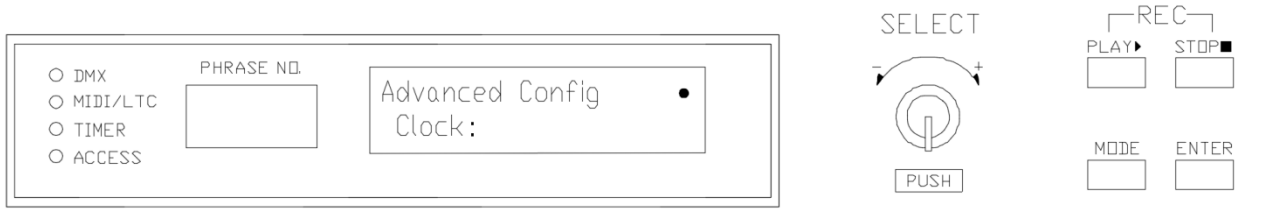
□設定手順

初期画面で SECELCT を回し、Advanced Config 画面に移動し、【SELECT】ボタンを押します。



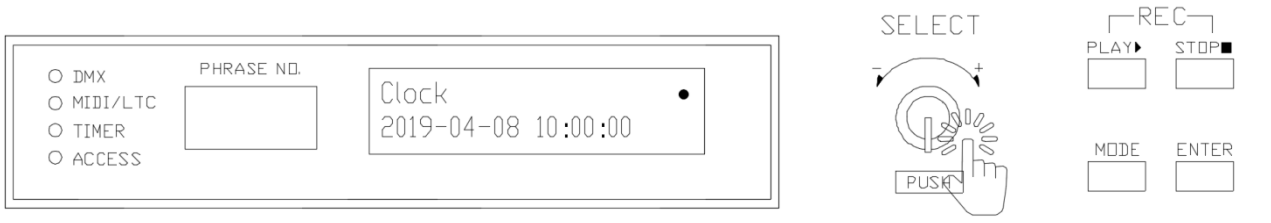
＜Advanced Config　画面＞

□Clock
・本体の内蔵時計を手動修正します。



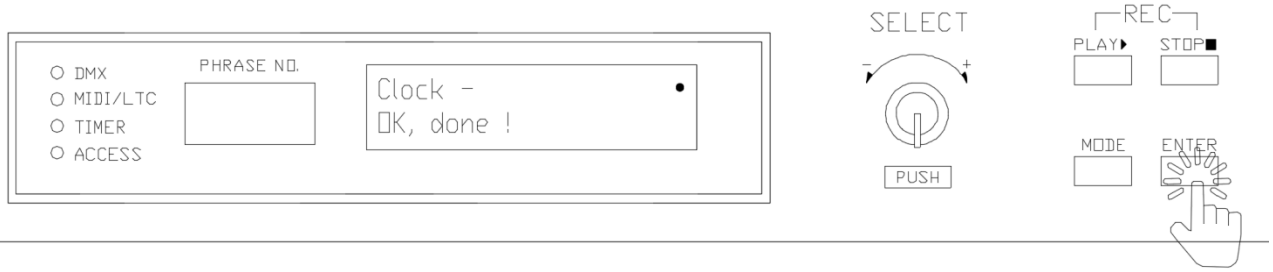
＜Advanced Config　設定初期画面＞

①【SELECT】ボタンを押して詳細設定画面に入ります。
②【SELECT】ボタンを左右に回しながら時間を設定し、【SELECT】ボタンを押すと次の欄に移動します。【時】-【分】-【秒】の設定が完了した後、【ENTER】ボタンを押してください。



＜Clock 設定画面＞

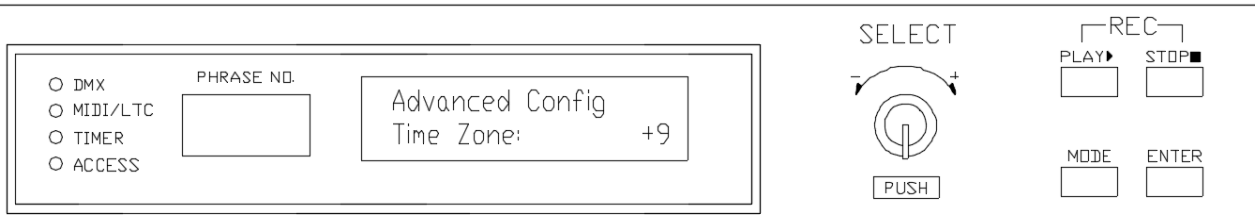
③画面に【OK, done !】表示がでたら設定は完了となります。



＜Clock 設定完了画面＞

※GPS 電波と同期時は修正の必要はありません。
※GPS 電波を受信できない場合、オプションの WiFi 時刻補正ユニットの
追加にて本体の内蔵時計を WiFi 経由にて自動補正することができます。

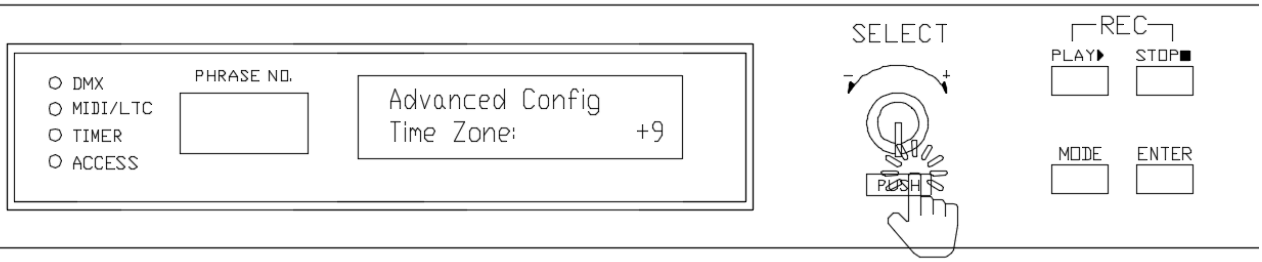
□Time Zone
・UTC 値の設定をします。(世界時刻設定)



＜Time zone 設定画面＞

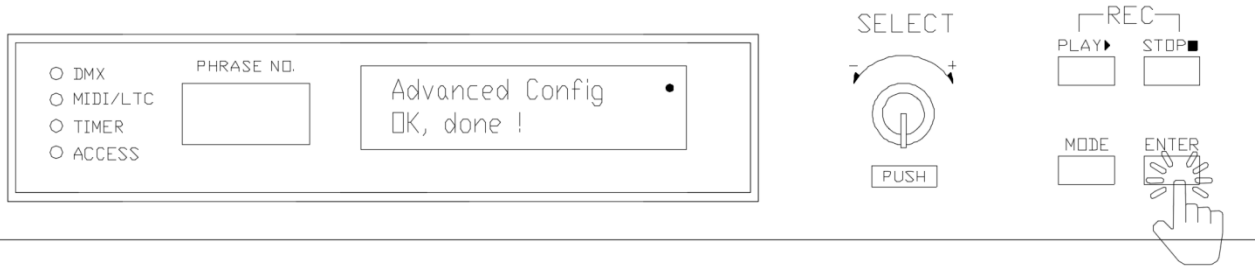
※工場出荷時：+9（日本）
例）ハワイ +10、アメリカ（太平洋）+8、イギリス +0、ロシア +4

①Time zone を画面から【PUSH】ボタンを押してください。



＜Time zone 設定画面＞

②【SELECT】ボタンを左右に回し正しい時刻を設定した後、【ENTER】ボタンを押して確定いたします
③【SELECT】ボタンを押した後、画面に【OK, done !】表示がでたら設定は完了となります。



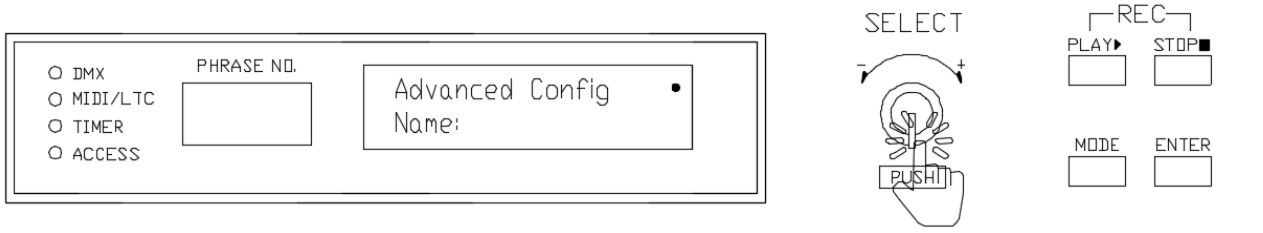
＜Time zone 設定完了画面＞

□Name

・本体名称入力

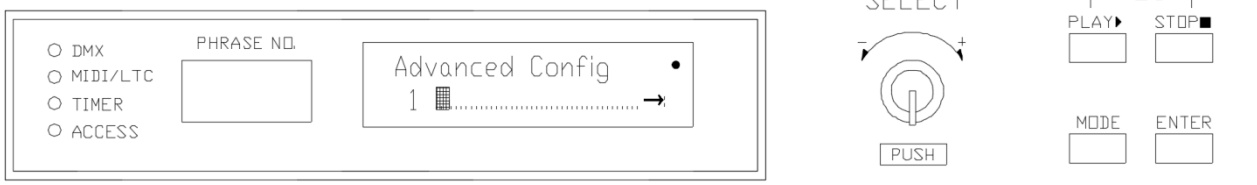
現場名称、施設名称などを入力頂けます。

①下記画面から【SELECT】 ボタンを押します、

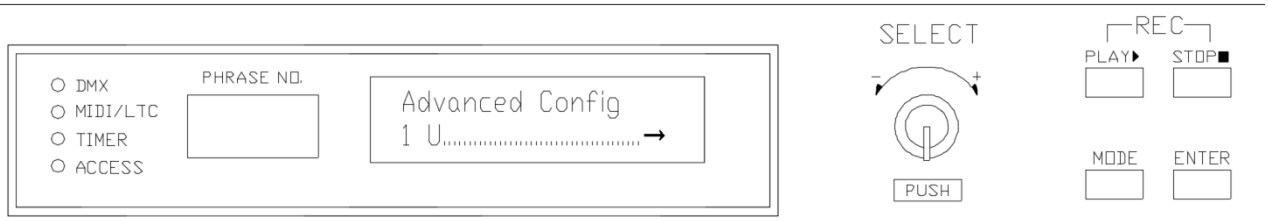


＜Name 設定画面＞

②下記設定画面に入り、【SELECT】を押すと文字の選択が可能となります。



③【SELECT】を左右に回し文字を選択した後、【SELECT】を押し文字を確定してください。
次の文字も同じ方法となります。



＜Name 設定画面＞

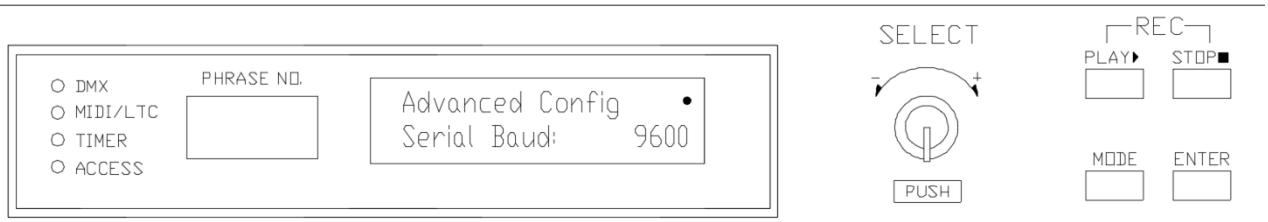
②文字が確定されたら、【ENTER】ボタンを【2 回】押すと設定完了です。設定後は、設定した文字が下記のように設定した文字になります。



＜Name 設定完了画面＞

※【Name】の設定は、数字、英語、カタカナ、ひらがな、記号のみ対応となります。漢字は対応しておりません。ご了承ください。

□Serial Baud
・シリアル通信速度設定

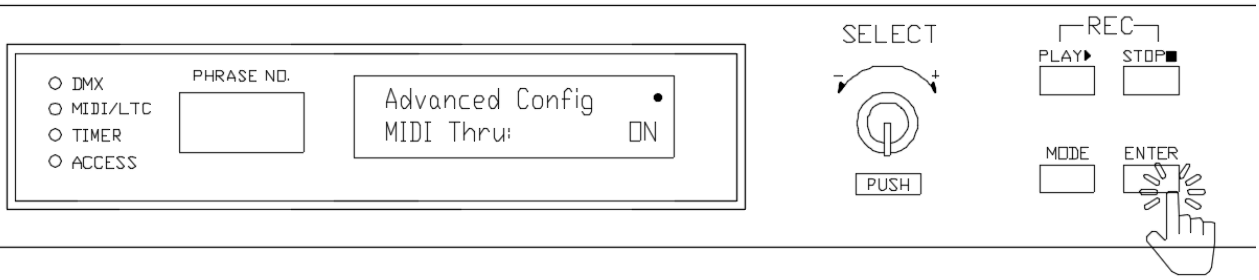


＜Serial 設定画面＞

①外部シリアル通信機器と設定を合わせてください。
※工場出荷時：9600
（1200, 2400, 4800, 9600, 14400, 19200, 38400, 57600,115200）より選択できます。

□MIDI Thru
・本体 MIDI IN から入力された MIDI 信号を本体の MIDI OUT からスルー出力の有効、無効の設定
(工場出荷時：ON)

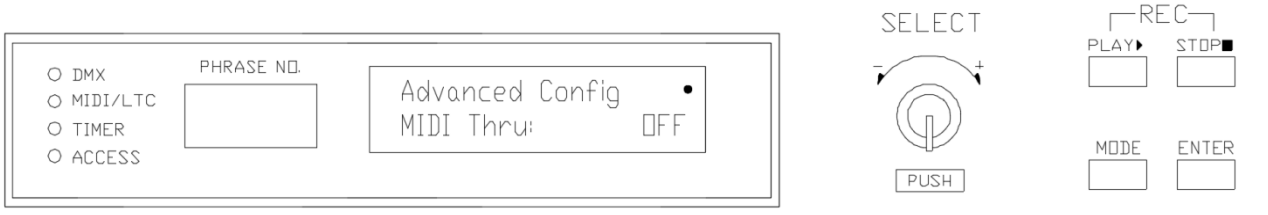
①ON：本体 MIDI IN 入力 MIDI 信号をそのまま本体 MIDI OUT から出力
-【SELECT】ボタンを押して設定に入り【SELECT】ボタンを左右に回して【ON】の画面で【SELECT】を押してください。【ENTER】 ボタンを押して確定すると設定完となります。



＜MIDI Thru 設定画面＞

※【MIDI NoteOn:###】 設定している場合 MIDI OUT 重複出力します。

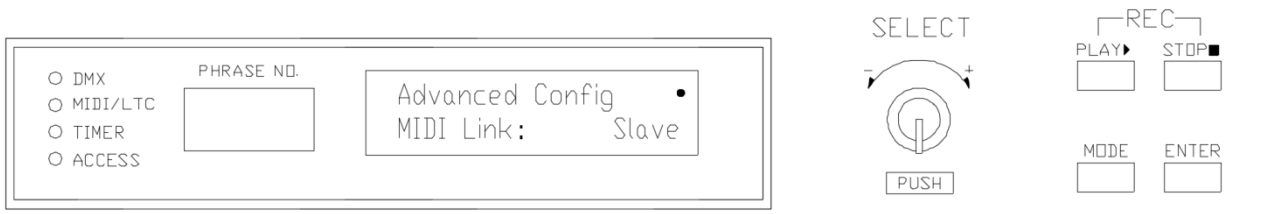
②OFF：本体 MIDI IN 入力は本体から出力しない
-【SELECT】ボタンを押して設定に入り【SELECT】ボタンを左右に回して【OFF】の画面で【SELECT】を押してください。【ENTER】 ボタンを押して確定すると設定完となります。



＜MIDI Thru 設定画面＞

□MIDI LINK

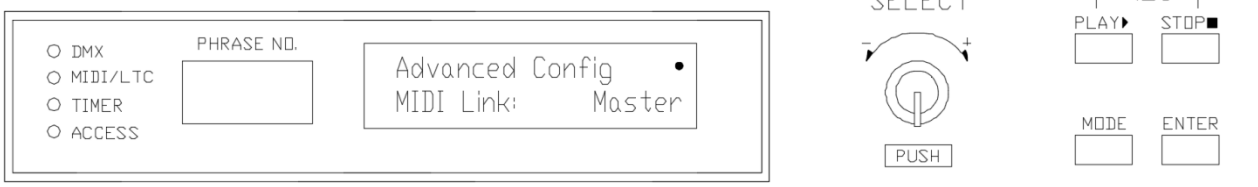
・MIDI での LINK を設定します。(Slave/Master/MSC/OFF)
MIDI Show Control(MSC) や MIDI Machine Control(MMC) により機器間の同期ができます



＜MIDI LINK 設定画面＞

①Slave：UDMR2 の本体を MIDI Slave として設定する時に設定します。
-UDMR2 の MASTER 本体と MIDI ケーブルで繋げる必要があります。
※Slave 設定時には UDMR2 本体が 2 台以上必要となります。
※工場出荷時： Slave

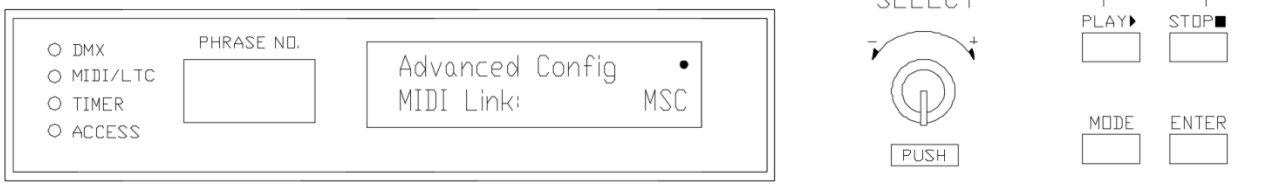
②Master：UDMR2 の本体を MIDI Master として設定する時に設定します。



＜MIDI LINK 設定画面＞

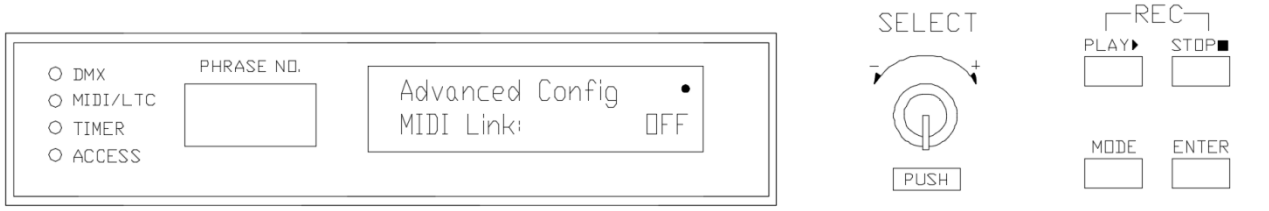
-UDMR2 の Slave 本体と MIDI ケーブルで繋げる必要があります。
-Slave 本体が Master 本体に連動し再生／停止します。

③MSC：UDMR2 の本体を MSC で制御する時に設定します。



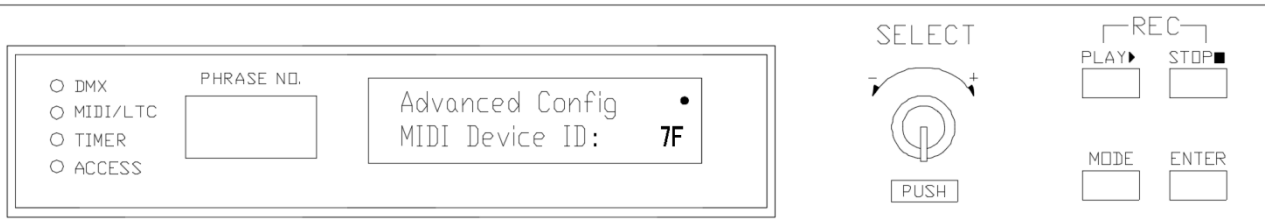
＜MIDI LINK 設定画面＞

④OFF： MIDI LINKを使用しません。



＜MIDI LINK 設定画面＞

□MIDI Device ID：

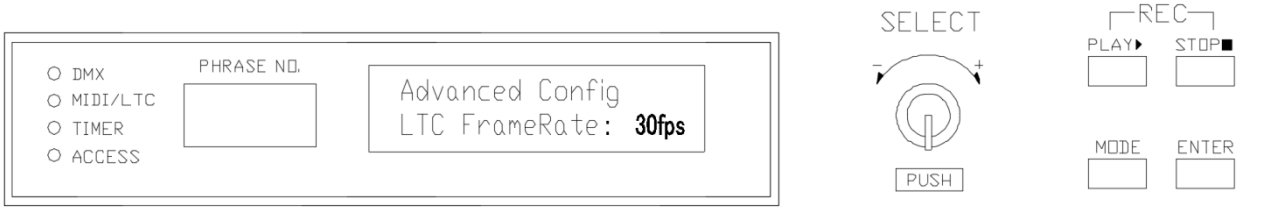


＜MIDI Device ID 設定画面＞

※工場出荷設定は【７F】です。使用条件に合わせて設定の後、ご使用ください。

□LTC FrameRate

・外部 LTC、MTC 信号のフレームレイトを設定



＜LTC FrameRate 設定画面＞

※外部 LTC、MTC 信号設定を合わせてください。（24fps、25fps、29.97fps、30fps）より設定

※工場出荷時： 30fps

①24fps： 標準的なフィルムカメラのフレームレート

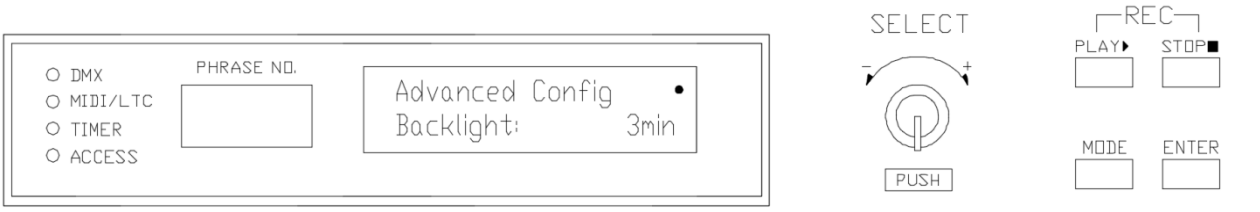
②25fps： PAL 形式の美度システムを採用している国で使われてるテレビ用ビデオ規格

③29.97fps： NTSC ビデオ規格

④30fps： NTSC 規格

□Backlight(本体液晶ライト)

・本体の端末操作がない状態が継続した場合バックライトを自動消灯するまでの時間を設定

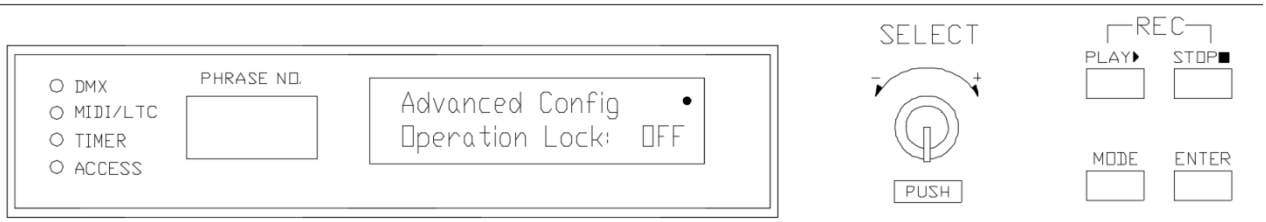


＜Backlight 設定画面＞

①【SELECT】ボタンを押して設定に入り【SELECT】ボタンを左右に回して画面自動 OFF の【分】を設定した後【SELECT】を押してください。その後【ENTER】 ボタンを押して確定すると設定完となります。（ON、1、3、5、10、30、60min）より設定

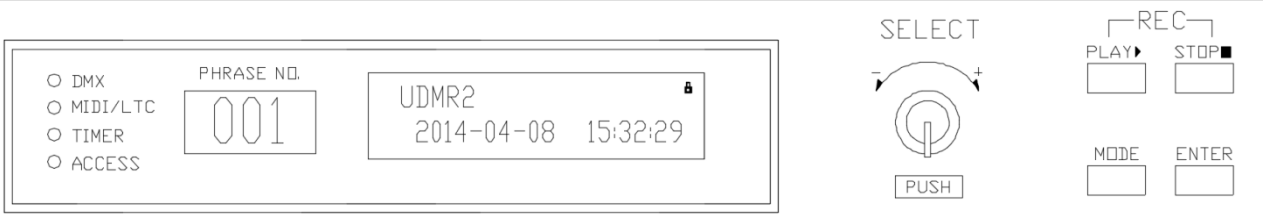
※ON 設定時バックライトは自動消灯しません。(常時 ON になります)

□Operation Lock
・全てのキー操作をロックします。



＜Operation Lock 設定画面＞

※工場出荷時【OFF】
①【SELECT】ボタンを押して設定に入り【SELECT】ボタンを左右に回して【ON】に設定した後【SELECT】を押してください。その後【ENTER】 ボタンを押して確定すると設定完となります。
②設定後、【Mode】ボタンを押して初期画面に戻ると、下記のようにロックの目印が現れます。
すべてのボタンが効かなくなります。



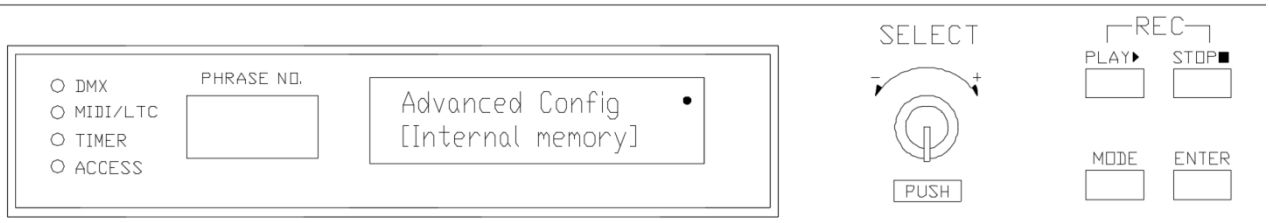
＜Operation Lock 設定画面＞

※ロック解除方法は【MODE】+【ENTER】ボタンを同時に押します。
解除された後、ロックに戻すにも【MODE】+【ENTER】ボタンを同時に押します。



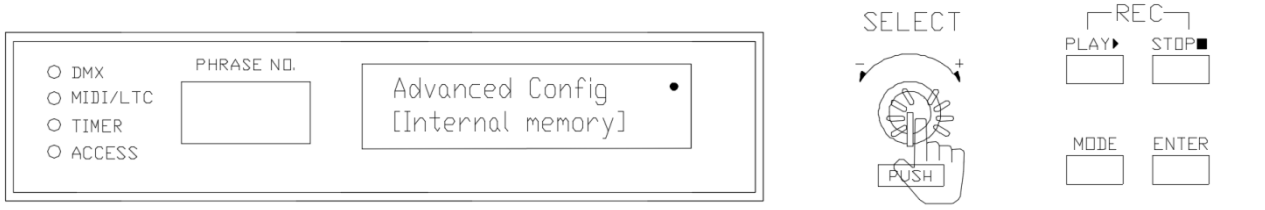
＜Operation Lock 設定画面＞

□Internal memory(内部記録機能)
・SD カードの内容を本体に入れて再生します。



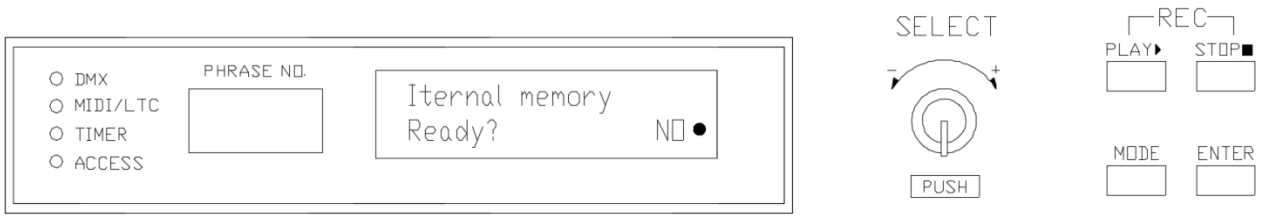
＜Internal memory 設定画面＞

※動きのあるところに設置するための設定でございます。
※REC データ容量 5M 以下場合のみご使用ください。
①上記画面で【SELECT】ボタンを押してください。



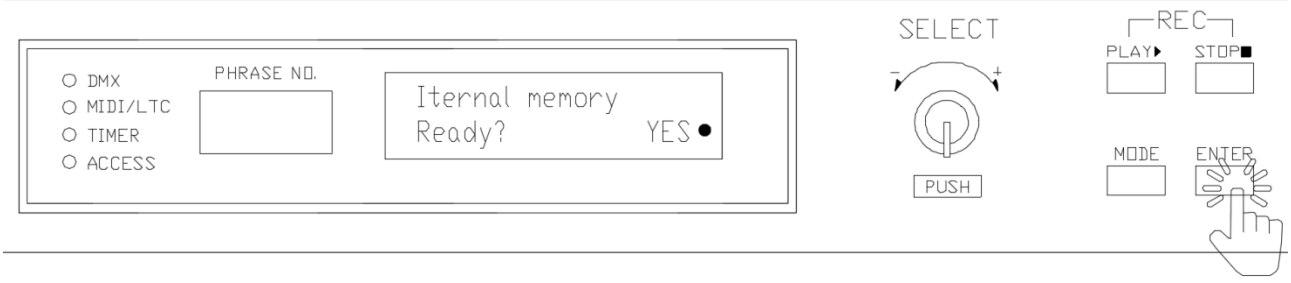
＜Internal memory 設定画面＞

②下記の画面が現れます。



＜Internal memory 設定画面＞

③【SELECT】ボタンを左右に回し【YES】を選択し ENTER を押します。



＜Internal memory 設定画面＞

④完了後、下記のような画面に切り替わります。



＜Internal memory 設定画面＞

④SD カードを取り出した後、再起動します。
⑤SD カードが無い状態で【PLAY】ボタンで再生できます。



＜Internal memory 設定完了後初期画面＞

※InternalMemory 機能を使う場合(SD カードが挿入されてない場合)、年度の前に＃が現れます。

□Firmware version

・本体各種ファームウエアバージョンの表示



＜Firmware 確認画面＞

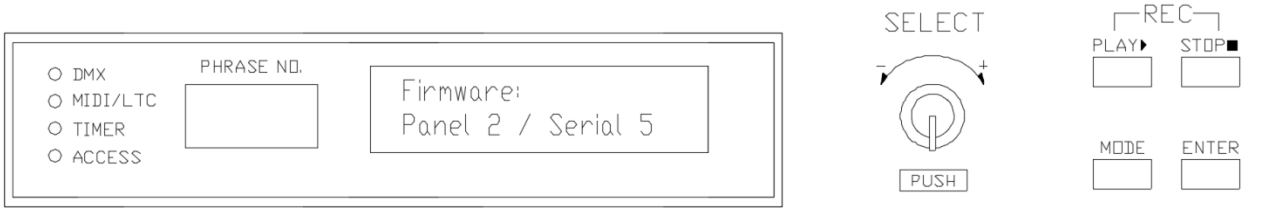
①最初の表示 本体メインファームウエアバージョン表示されます。

例) UDMR2 1.2.70 (p2/d1)

②【SELECT】ボタンで画面が切り替わります。



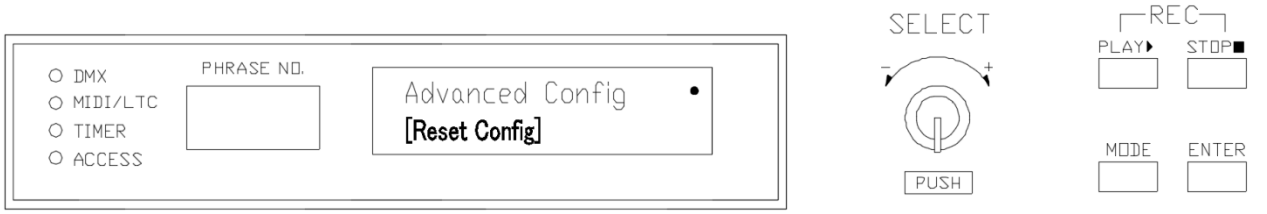
＜基盤スイッチ設定状態＞



＜操作パネルとシリアル基盤のファームウエアバージョンの表示＞

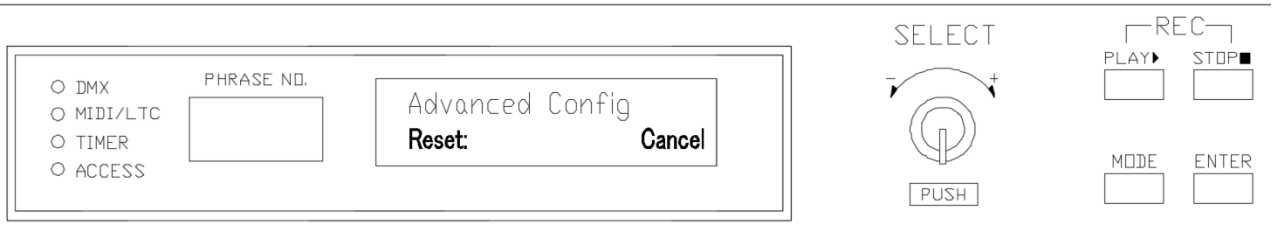
□Reset Config

・メモリーカードに記録されている各種設定のリセット及び消去フォーマット

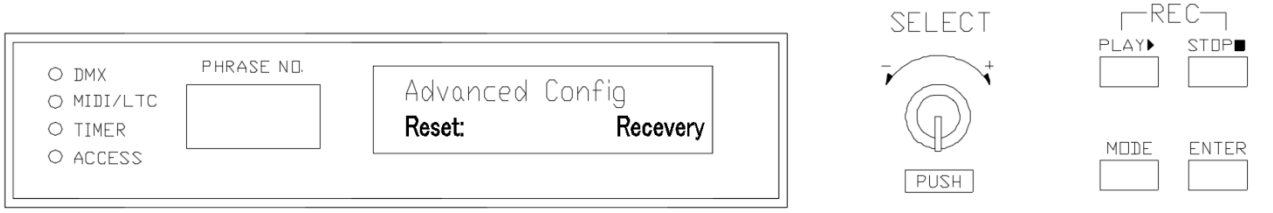


＜Reset config の初期画面＞

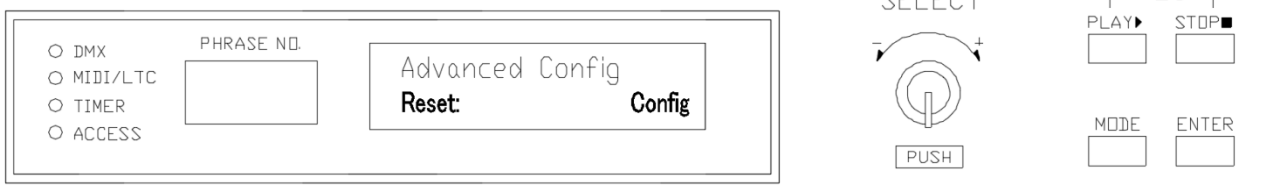
①Cancel：Reset をキャンセルいたします。戻る場合は、【Mode】ボタンを押してください。



②Recovery　工場出荷状態へ戻す



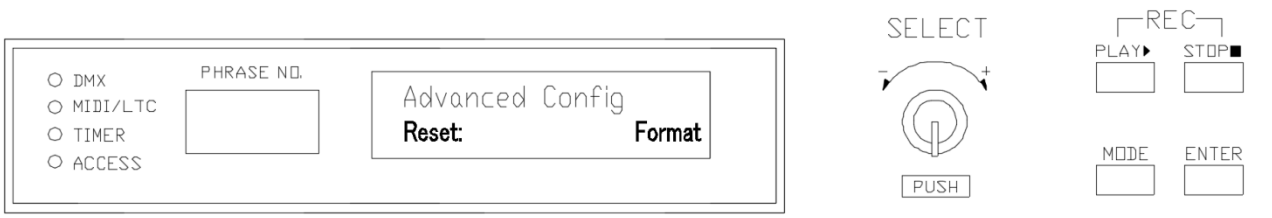
③Config　　全設定状態を初期化する（Rec データはそのまま）



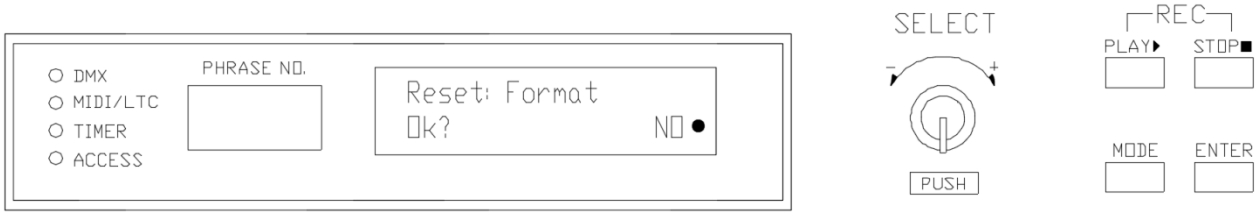
④Data　　Rec データの全消去（全設定状態はそのまま）



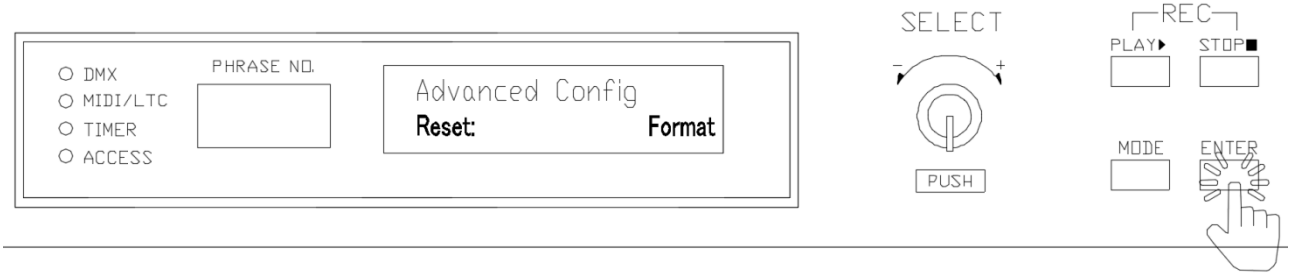
⑤Format　　全データを Format し工場出荷状態にに戻します。



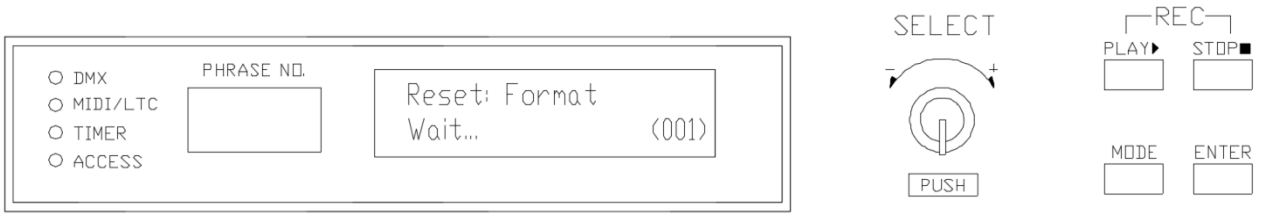
・上記画面で【SELECT】を押すと、次の画面に切り替わります。



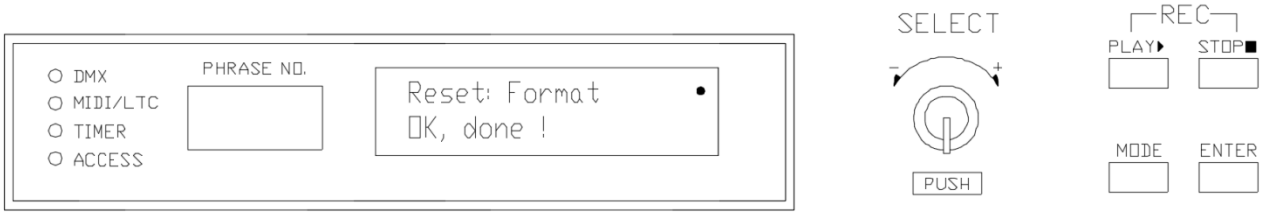
・【SELECT】ボタンを左右に回し、【YES】の画面がでたら【ENTER】を押します。



・【ENTER】を押すと、次の画面に切り替わります。



・Format が完了したら【OK、done！】が表示され完了となります。



＜データバックアップ＞

メモリーカードへ保存されている記録・設定データは全てパソコンへ読み込み、パソコンへの保存、パソコンを経由しての外部記憶媒体へコピー（バックアップ）が可能です。
また、パソコンを経由したデータのコピーも通常のパソコン操作同様にできます。

メモリーカードをパソコンの SD カードスロット（スロットがない場合は別途 SD カードリーダーナドを用意してください）へ差し込み作業を開始してください。

推奨メモリーカード：
SanDisk 社製品
SDSDB-004G-J01（4GB）,SDSDB-008G-J01（8GB）,
SDSDB-016G-J35U（16GB）

＜UDMR2 ユーティティーソフト＞

付属のメモリーカードに UDMR2 ユーティリティーソフトが入っています。
ご使用の Windows パソコンへコピーしご使用頂けます。

メモリーカード内の UDMR2 の本体各種設定、DMX file、PlayList の名称、設定をパソコン上で直接設定することができます。

コピー後メモリーカードはパソコンにてフォーマット（FAT32）してからご使用ください。

＜Serial Command：RS232＞

・外部シリアル通信機器にて本体の PLAY、記録、STOP などリモートできます。

シリアルポート設定：9600bps、StopBit 1bit、パリティなし、フロー制御なし
改行コード CR+LF/LF のみ/CR のみ 両対応

Command	制御
Pn	DMX file PLAY（Xfade 有効） (n=1～999)
Cn	DMX file PLAY（Xfade 無効） (n=1～999)
Ln	DMX file Repeat Play（Xfade 有効） (n=1～999)
Mn	Repeat Play（Xfade 無効） (n=1～999)
Rn	記録
S	STOP
Z	DMX 0%出力（全チャンネル 0%出力）
B	DMX 出力停止
XPLn	PlayList PLAY (n=1～999)
XSCHEDULERn	Scheduler ON（n=1）・OFF（n=0）
XDATEyyyymmdd	本体年月日設定、例)XDATE20190515
XTIMEhhmmss	本体時分秒設定、例)XTIME09000000
XADJUST	時刻補正を行う(00 分 00 秒にする)

・表中の「n」はプログラム番号を指定する。（1～999）

・プログラム番号を「,」で区切って列挙すると、連続して再生する。（プレイリストと同等）
例：P1,2,3

・P・Lは末尾に「:」で区切ってクロスフェード時間（秒）を指定することができる。
例：P1,2,3:5

Rは末尾に「:」で区切ってユニバース数を指定することができる。
例：R1:4

＜色々な設定の優先順位＞

・プレイリスト再生時のRepeat
　フレーズのRepeatがONでDuration timeが設定されている場合、設定された時間そのフレーズを繰り返し再生し、その後プレイリストの次のフレーズへ進む。
　フレーズのRepeatがONでDuration timeが設定されていない場合、フレーズのRepeatは無視して再生し、その後プレイリストの次のフレーズへ進む。ただし、プレイリストの最後のフレーズのRepeatは無視しない。

・プレイリスト再生時のXfade
　フレーズにXfadeが設定されている場合、プレイリストの設定が優先する。
　フレーズにXfadeが設定されていない場合、プレイリストの設定が適用される。

・コマンドによる再生時のXfade
　「P」「L」コマンドにクロスフェード時間が指定されている場合、プレイリストの動作と同等。
　「P」「L」コマンドにクロスフェード時間が指定されていない場合、Player ConfigのXfade設定が適用される。

・再生停止からDMX入力スルーへ切替わり時のXfade
　Player ConfigにXfadeが設定されている場合、その設定が適用される。
　Player ConfigにXfadeが設定されていない場合、Xfadeしない。

・フレーズの時間とXfade時間
　フレーズの記録時間よりXfadeの時間が長く設定されている場合、Xfadeの時間はフレーズの記録時間に切り詰められる。

・MIDI NoteOnの出力
　プレイリストにMIDI NoteOnが設定されている場合、プレイリストの設定が優先する。
　Trigger Config の MIDI Note output が設定されており、フレーズまたはプレイリストの MIDI NoteOn が設定されている場合、2 つの NoteOn が出力される。

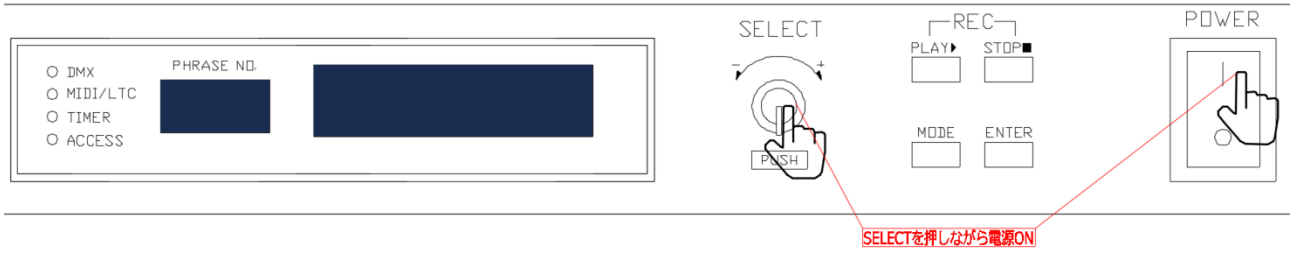
＜エラーメッセージとその対処＞

NO MEM-CARD INSERTED	メモリーカードを挿入してください。 メモリーカードが挿入されていない、または、認識できない。
RESTART ME	再起動してください。（電源OFF→ON） （電源ONのままメモリーカードを抜いたとき等）
WRITE PROTECTED	メモリーカードが書き込み禁止、または、ファイルが上書き禁止になっている。 書き込み禁止を解除してください。
CAN'T OPEN FILE	ファイルが存在しない、または、読み込めない。
DATA FORMAT ERROR	ファイルが壊れている、または、対応していないバージョンのレコーダーで記録されたファイル。
OLD DATA FORMAT	対応していないバージョンのレコーダーで記録されたファイル。
MANUALLY MODIFIED	設定ファイルがメニュー以外の方法で編集されており、このメニューからは変更できない。 （パソコン上のテキストエディター等で設定を書き込んだとき等。元へ戻すには設定を削除してください）
CONFIG FULL	トリガー設定の数が多すぎてこれ以上読み込めない。 設定を減らしてください。
NO MEMORY SPACE	メモリーカードの空き容量がない。 メモリーカードを大容量のものへ交換するか、ログを削除するなどして空きを増やしてください。
System Error (serial)	MIDI・LTC・シリアルが故障している。 修理を依頼してください。
System Error (gpio)	接点入力が故障している。 修理を依頼してください。

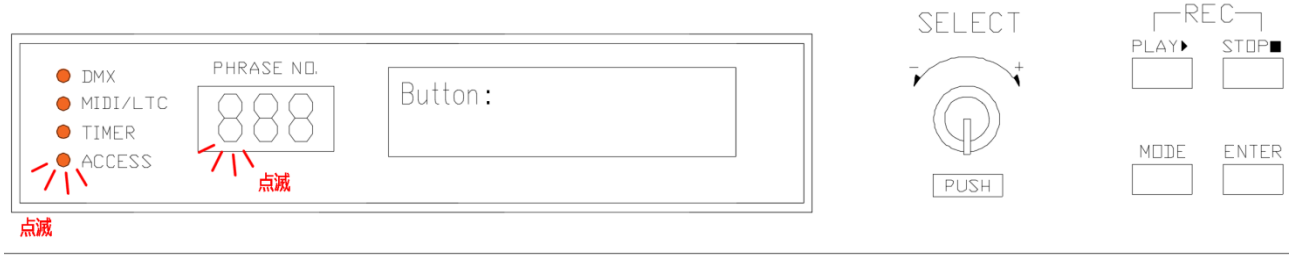
＜TEST モードについて＞
・Button/DMX/INPUT(無電圧接点信)/MIDI/LTC/MTC/GPS 信号の状況、時計、Software のバージョンの確認ができます。

□TEST モードに入る手順

①電源 OFF 状態から、【SELECT】ボタンを押しながら、電源を入れてください。
　・【SELECT】ボタンは 5 秒以上押し続けた後、話してください。



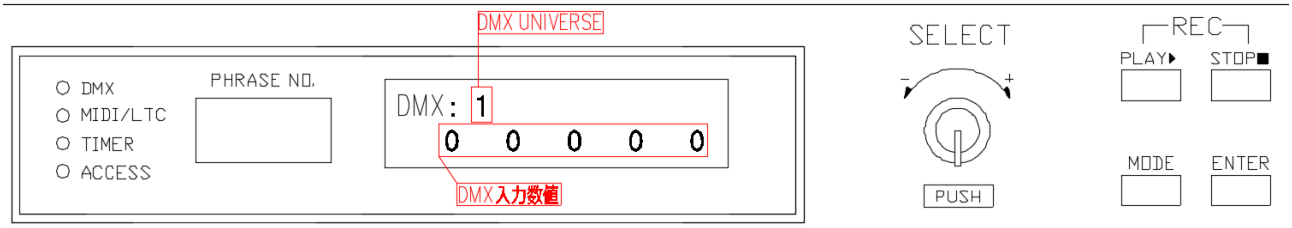
②TEST モードに入ると、次の画面が表示されます。



□TEST モード各画面説明
(1)Button
・本体の各ボタンの性能 TEST となります。
　例)PLAY ボタンを押すと画面上に【PLAY】文字が表示されます。

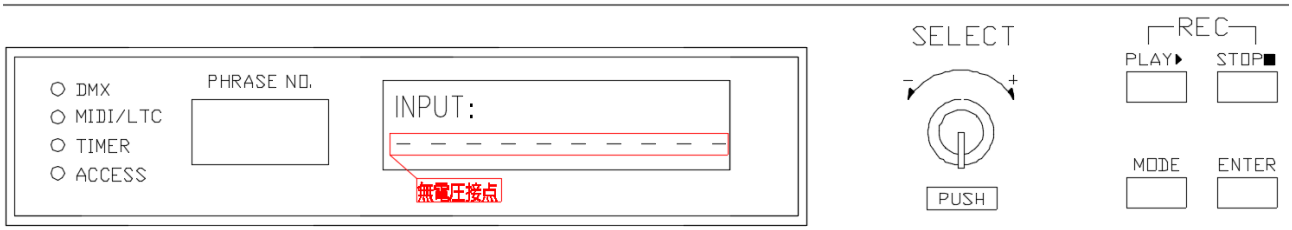


(2)DMX(1~4Port)
・左から 1ch～5ch まで Check ができます。
・DMX 数値が変化すると下段の数値が変わります。
※機材により、リアルタイムで変化しない場合もあります。
　その場合、【SELECT】ボタンを回し、画面を一回切り替えてください。

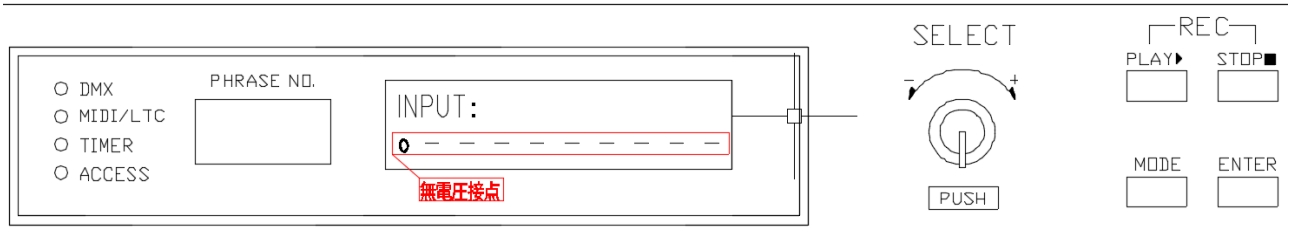


(3) INPUT

・無電圧信号の入力を確認します。



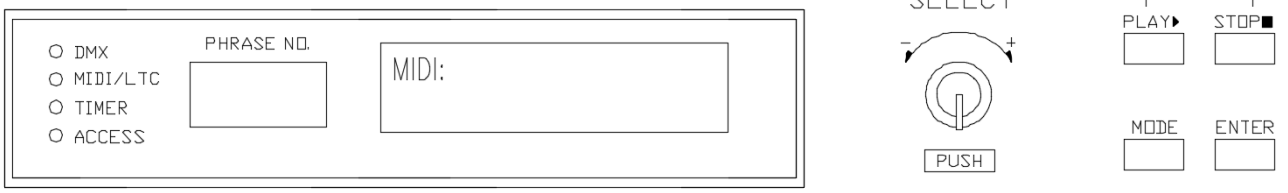
＜初期画面＞



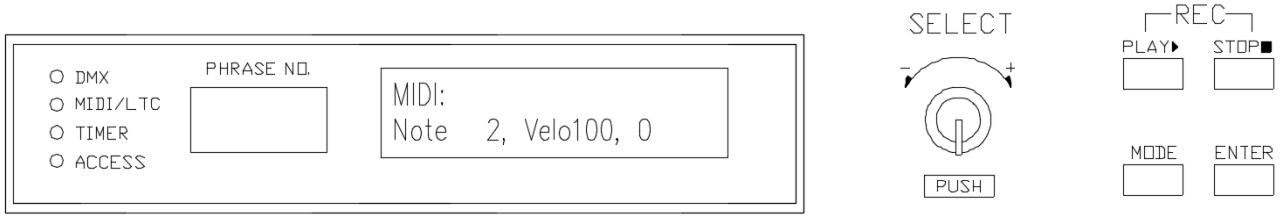
＜無電圧信号が入った時の画面＞

(4) MIDI

・MIDINOTE 信号の TEST を行います。

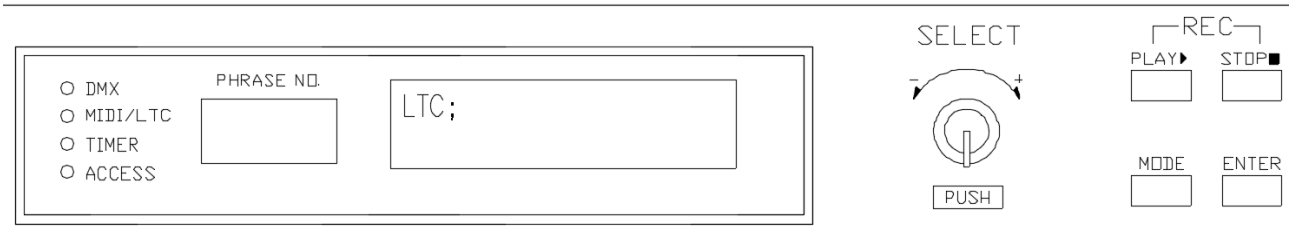


＜通常画面＞

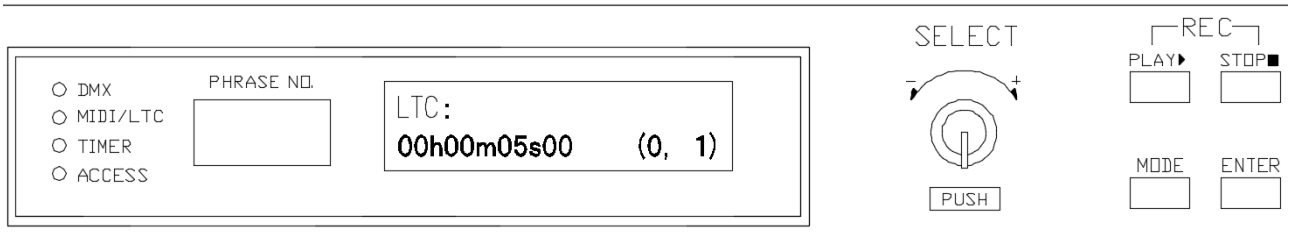


＜信号 TEST 画面＞

(5)LTC

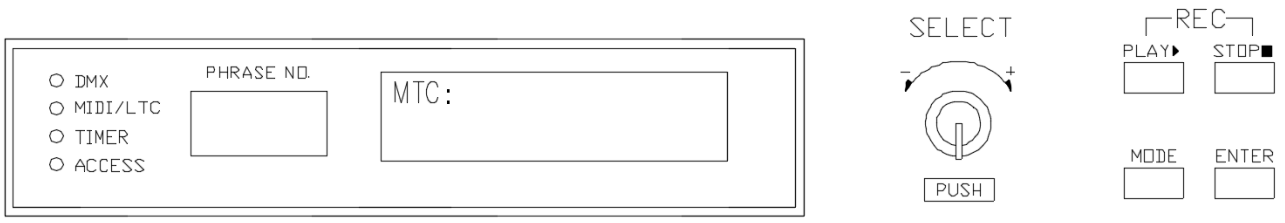


＜通常画面＞

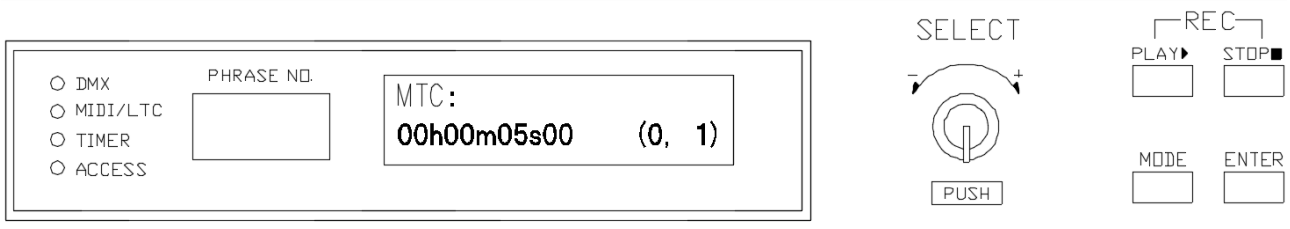


＜Timecode を受信している画面＞

(6)MTC



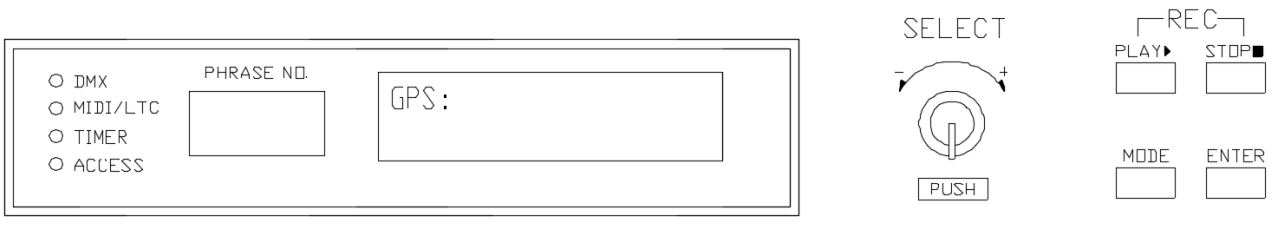
＜通常画面＞



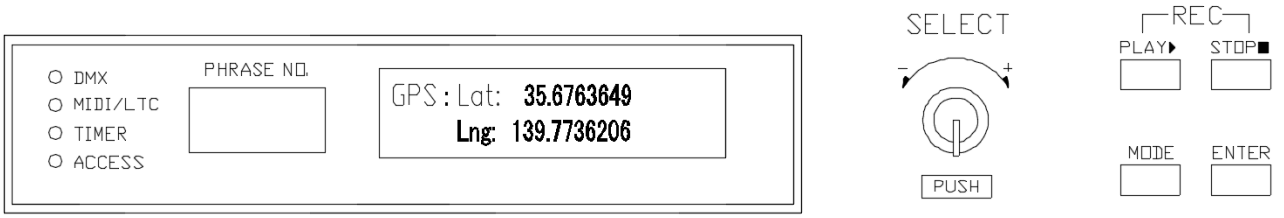
＜Timecode を受信している画面＞

(7)GPS

・GPS 受診状況を確認します。



＜通常画面＞



＜GPS 受診成功画面＞

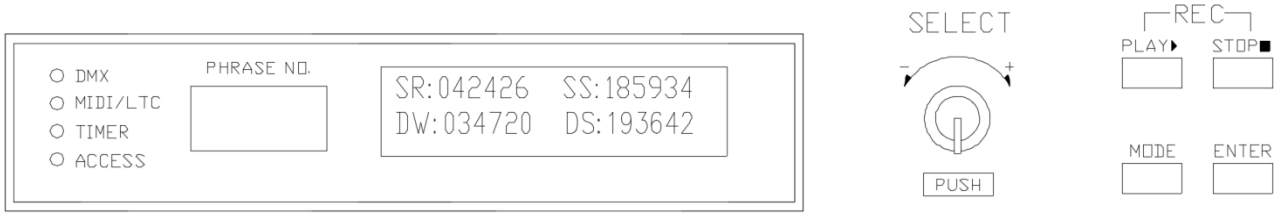
(8)Clock

・現在時刻(設定時間)の確認を行います。



(9)SR/SS/DW/DS 時間確認

・現状設定 GPS の各 SR/SS/DW/DS の時刻確認を行います。



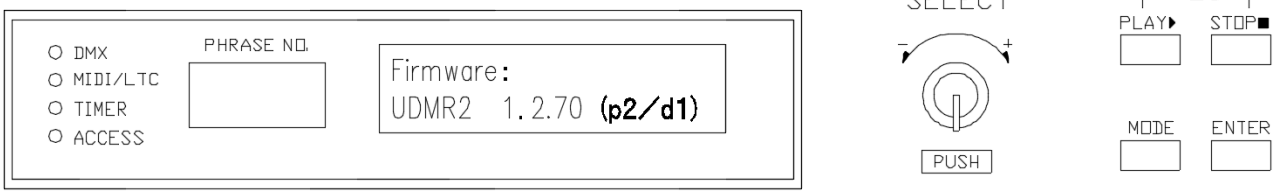
※SR：日の出、SS:日の入り、DW：夜明け、DS：日暮れ

※読み方の例)SR:042426 ⇒ 日の出の時間は 04 時 24 分 26 秒

※上記数値は Lat(緯度):35.6765289、 Lng(経度)：139.7734680 の場合となります。

(10)Firmware

・現在 Software の Ver を確認いたします。



＜よくある質問＞

□電源が入らない時
・電源ケーブルを確かめてください。
・テスター機で電圧を確認してください。

□SD カードを認識しません
・SD カードの Format を確認してください(FAT16/FAT32 対応)
・SD カードの損傷・破損などは無いか、パソコンを利用し確認してください。
・SD カードの破損の場合、新しい SD カードを購入しご使用ください。

□REC した後、再生ボタンを押しましたが、何も出力されません
・DMX ケーブルに問題は無いか確認してください
・REC する時 UDMR2 に DMX 信号が正常に入っているか、TEST モードで確認してください。
・照明器具に電源が入っているか確認してください。
・DMX 出力を DMX テスターで確認してください。
・REC プログラムに設定の問題が無いか確認してください

□再生したが、リピートしません
・リピート再生の設定変更を確認してください。

□シーンが変わる時、カット In/Out します。
・□Xfade　Time の設定を確認してください。

□付属の GPS を取り付けましたが、時間が変わりません。
・アンテナ接続端子を確認してください。
・アンテナが屋内の窓の近く(1m 以内)に設置されているのか確認してください。
・TEST モードで GPS 信号を確認してください。
・アンテナケーブルに損傷は無いか確認してください。

□UDMR2 の電源を入れたら自動的に再生させたい。
・AUTO 設定を参考してください

□BACKUP したいですが、
・本体に挿入されている SD カードの全データををパソコンなどに BACKUP(COPY)してください。

※その他、ご質問ございましら担当営業或いは、弊社にお問い合わせください。
メール：info@ushiolighting.co.jp
連絡先：03-3552-8267